

創立 70 周年
社団法人設立 40 周年

記念誌



平成 29 年 5 月 28 日

公益社団法人

大分県柔道整復師会

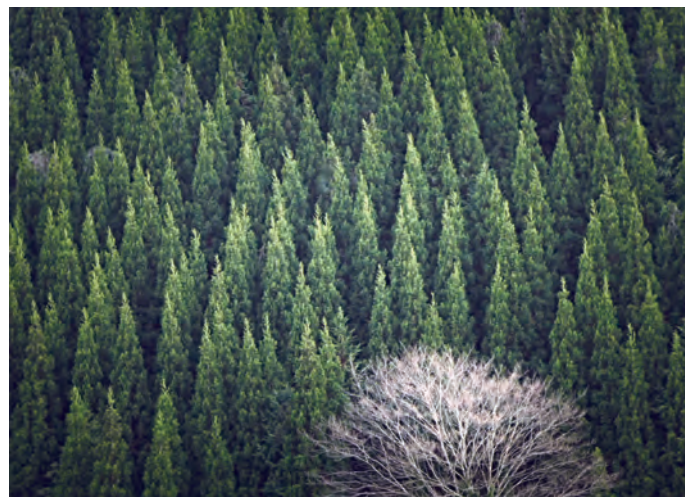
創立 70 周年
社団法人設立 40 周年
記念誌

公益社団法人
大分県柔道整復師会

整骨会館ギャラリー



「日田祇園の曳山行」



「日田美林」



「宇佐神宮」



「雪の豊後森機関庫」



「虹の放水」

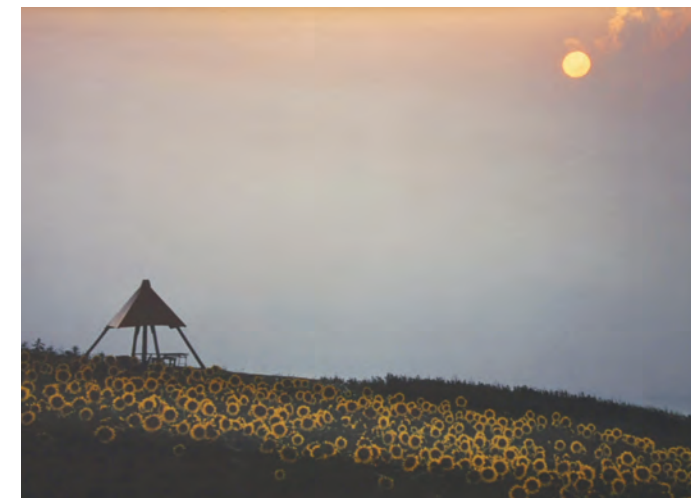
photo by 西邑伊三郎（相談役）

整骨会館ギャラリー

（大分県整骨会館所蔵）



「アシカ」



「斜陽」



「雪日」



「船頭」

photo by 西邑伊三郎（相談役）

目 次

会館全景	2
歴代会長	3
会長あいさつ	4
祝 辞	5
大 分 県 知 事	6
衆 議 院 議 員	7
衆 議 院 議 員	8
衆 議 院 議 員	9
内閣総理大臣補佐官参議院議員	10
農林水産副大臣参議院議員	11
日本柔道整復師会会長	12
寄 稿	13
顧問	14
副会長	15
経理部長	16
創立 70 周年社団法人設立 40 周年記念講演並びに記念式典 祝賀会	17 ~ 21
主な記録 総務部長	22 ~ 52
保険部のあゆみ 保険部長	53 ~ 54
学術のあゆみ 学術部長	55 ~ 73
○H25年度(大分大学大学院)修士論文	74 ~ 75
○H26年度(大分大学大学院)修士論文	76 ~ 77
福祉部活動について 福祉部長	78
大分県柔道整復師協同組合のあゆみ	79 ~ 80
生涯学習のあり方 生涯学習部長	81 ~ 82
会員の栄誉	83 ~ 97
日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会のあゆみ	98
大分県整骨旗争奪少年柔道大会 栄光の記録(団体・個人)	99
定 款	100 ~ 106
広報部10年のあゆみ 広報部長	107
整骨“夢”おおいたバックナンバー	108
会 員 紹 介	109 ~ 116
大分県柔道整復師会会員施術所	117
公益社団法人 大分県柔道整復師会 組織構成図	118
編 集 後 記	119
整骨会館ギャラリー	表 2・表 3・120



会館全景



リフォーム中の会館 平成 27 年夏

歴代会長



初代会長 **福田 洲 一**
(昭和21年7月～昭和27年10月まで)



2代会長 **清田 金 男**
(昭和27年10月～昭和40年5月まで)
昭和53年10月28日 厚生大臣表彰
昭和54年6月10日 帰 一 賞



3代会長 **酒 井 藤 平**
(昭和40年5月～昭和44年7月まで)



4代会長 **南 了 介**
(昭和44年7月～平成3年12月まで)
昭和53年10月28日 厚生大臣表彰
昭和58年6月4日 帰 一 賞
昭和63年6月11日 労働大臣表彰
平成4年1月14日 勲五等端宝章



5代会長 **坂 本 正 光**
(平成3年12月～平成12年4月まで)
平成15年3月31日 厚生労働大臣表彰



6代会長 **清 田 洋 一**
(平成12年4月～平成22年4月まで)
平成20年3月30日 厚生労働大臣表彰
平成25年6月23日 帰 一 賞
平成27年11月3日 旭日双光章

会長あいさつ

7代会長 加藤 和 信

(平成22年4月～)

平成25年3月24日 厚生労働大臣表彰
(労災補償行政関係功労者)



本日ここに大分県柔道整復師会創立70年社団法人設立40年を迎え記念式典を挙げるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

大分県知事 広瀬勝貞様を始め御来賓各位には、公私ともご多用にもかかわらずご臨席を賜り、かくも盛大に開催できますことは私どもにとりまして大きな喜びであります。厚くお礼申し上げます。

また式典に先駆け開催されました記念講演におきましては独立行政法人西別府病院馬見塚尚孝先生のご講演をいただきました。ありがとうございました。

本会は終戦間もない昭和21年7月25日、別府北小学校での創立総会から70年の歩みが始まりました。戦後の混乱期多くの県民は、疲弊した生活を立て直す事に奔走しておりました。

そうしたなか医療環境も不十分であり、多くの骨折・脱臼の患者が整骨院・接骨院で柔道整復師に治療を受けておりました。本会の先人たちは医師の指導協力のもと患者の社会復帰に取り組み県民医療に貢献して参りました。また患者の利便のため療養費の受領委任制度の協定の強化にも取り組んでいただきました。こうした先人の地道な努力活動で今日の私どもがあると思うと改めて感謝の念で溢れる思いであります。

県民に対する本会の公益性を高める目的で昭和53年には社団法人を設立し、社団法人大分県柔道整復師会として活動を開始してまいりました。公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律が施行されました折には、確かな公益活動をお認め戴き平成25年3月22日、広瀬勝貞大分県知事より公益社団法人の認定を受けることができました。

これも先人の努力足跡があったればこそと頭がさがる思いであります。

わたしたちは先人が築いた70年の意義ある歴史を汚すことなく、さらに前進して参る覚悟であります。

70年の節目の年に当たり公益社団法人大分県柔道整復師会会員一同、心を新たに超高齢化社会における医療の担い手として、地域社会へ密着し県民の福祉医療への貢献に努めて参りたいと決意しております。

関係各位におかれましては、これまでに倍するご指導をお願いする所存であります。

また平成24年6月5日には会員の福祉充実のため大分県柔道整復師協同組合を設立することができました。協同組合設立にあたりましては、大分県中小企業団体中央会様にはいろいろとご教授いただきました。安心して業務に精励できる環境こそ公益目的事業達成の大きな支えであります。有難うございました。厚く御礼申し上げます。

公益社団法人の目的を達成するための大きな柱、連盟活動も本日お越しの先生方の後押しで充実して参りました。先生方のさらなる後押しをお願いする所存であります。

関係各位のお力添えで斯業の将来を明るくできると確信しております。

会員各位と力を合わせ、これまで以上に精励し先人の築いた歴史を引き継ぎ、地域への密着と県民の信頼維持のため努力する所存であります。

本会としても会員が包括ケアシステム、地域医療に専心し柔道整復術をもって貢献できる環境整備に最大限努める覚悟であります。

御来賓の皆様方におかれましては、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう再度お願い申し上げます。式辞と致します。

平成29年5月28日

祝 辞



大分県知事 広 瀬 勝 貞

大分県柔道整復師会の創立 70 周年、社団法人設立 40 周年の記念式典が盛大に開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

大分県柔道整復師会は、「柔道整復術の進歩発展を図り、医学的研究を行うとともに、その資質を向上させる」ことを目的として、昭和 21 年に設立され、以来、県民の医療及び福祉の向上に努めてこられました。

また、昨年の熊本地震の際には、多くの会員の方を被災地に派遣されるなど、災害時におけるボランティア活動に取り組まれるとともに、各種スポーツ大会における救護活動や介護現場等での機能訓練指導など、多岐にわたる活動を積極的に展開されております。

これもひとえに、加藤会長をはじめ、会員の皆様方の地道なご努力と社会活動に対する崇高な志の表れであり、心から敬意を表するとともに、県政の推進に、多大なご支援、ご協力をいただいておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

県では、一昨年、長期総合計画「安心・活力・発展プラン 2015」を策定しました。その中で、「健康寿命日本一の実現」という大きな目標を掲げ、みんなで進める健康づくり運動の推進や安心で質の高い医療サービスの充実、地域包括ケアシステムの構築などを目指して各種施策を推進しています。

特に、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年には、医療や介護を必要とする方がますます増大することから、良質で適切な医療・介護サービスを地域で効率的かつ効果的に提供する体制の構築が必要となります。

このような中、県民の健康の維持増進等を目指し、活動しておられる大分県柔道整復師会の皆様方には、地域における医療・介護提供体制のさらなる充実に向けて、今後とも大いに貢献していただけるものと期待を寄せているところです。

皆様方におかれましては、この式典を契機に、これまで以上に研鑽を積まれ、県民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、ご尽力を賜りますようお願いいたします。

最後に、大分県柔道整復師会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



衆議院議員 衛 藤 征士郎

ここに『公益社団法人分県柔道整復師会』創立 70 周年・社団法人設立 40 周年の記念誌の発刊に寄せて一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

記念すべき年をお迎えになりました加藤和信会長様始め会員・準会員の皆様方のお慶び如何ばかりかと拝察申し上げます。

我が国の総人口は、昭和 50（1967）年に 1 億人を超えた後、平成 20（2008）年の 1 億 2,808 万人をピークに減少に転じており、平成 60（2048）年に 9,913 万人と 1 億人を割り込み、平成 72（2060）年には 8,674 万人まで減少すると見込まれています。

明治時代後半の 1900 年頃から 1 世紀（100 年）をかけて増えてきた我が国の人口が、今後再び同じ水準に戻ることが見込まれ、類例を見ない水準の人口減少社会の到来であり、人口減社会の中で我が国が成長を維持できるかが問われます。

「少子高齢化」により我が国の医療・介護・保険・年金・福祉等の各諸施策の見直しも迫られており制度の維持・発展に向け社会保障制度を皆さんとともに堅持すべく賢明なる対応をしていかなければなりません。

分県柔道整復師会の皆さんは、“県民の身近な健康のパートナー”であり、接骨術・整骨術を駆使され県民の健康増進に寄与されています。

県下 200 余名の会員・準会員の柔道整復師の皆様が国家資格取得後、開業、病院勤務、接骨院・整骨院のスタッフはもとより、スポーツ分野でのトレーナーや介護や福祉の分野で機能訓練指導員として活躍しています。皆さんの活動範囲は日本だけでなく世界にも広がっており、確かな知識と技術を備えたスペシャリストとして活躍しているそのお姿を垣間見るととき頼もしさを覚えます。

今後ともに知識と技術を活かし、地域密着の医療人としてご活躍されんことをご祈念申し上げますと共に各種スポーツ大会の救護活動をはじめ、地域住民の健康維持管理のための啓蒙活動、介護現場での機能訓練指導に大きな力を発揮して頂かんことをご祈念申し上げまして「公益社団法人分県柔道整復師会」創立 70 周年・社団法人設立 40 周年記念誌の発刊に寄せてのご挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 6 月 吉日

祝 辞



衆議院議員 岩 屋 毅

先般は大分県柔道整復師会創立 70 周年、合わせて社団法人設立 40 周年の記念式典が盛大に開催され、誠にありがとうございました。大分県柔道整復師会が創立以来、今日に至るまで 70 年の長きに亘って県民の健康の維持と回復のために多大なご尽力、ご貢献をなされてこられた事に対し、あらためて心より敬意を表し、感謝申し上げる次第です。

また、大分県柔道整復師会におかれては、「柔道」を通じて県下の青少年の健全育成に長きに亘って多大なご貢献をいただいてまいりましたことにも、心より敬意を表し、感謝申し上げたいと思います。

少子高齢化が進み、人口減少が続いている中であって、国全体にとっても地域にとっても「健康寿命」の延伸が大きな課題として浮上しています。直近に発表された調査によれば、現在の合計特殊出生率は 1.44 であり、政府の目標である 1.8 にはまだほど遠い状況です（ちなみに大分県は 1.55 と健闘しています）。また、一年間の出生数は約 97 万 7,000 人で初めて 100 万人を割った一方、死亡者数は約 130 万 7,000 人となっており、その差は 33 万人となっています。

2050 年までには再び人口が 1 億人を割るだろうとの予測もあり、そのような状況の中でいかにして国力を維持し、地域の活力を維持していくかが真剣に模索されています。それがゆえにこそ、「地方創生」が叫ばれ、生きとし生ける国民一人一人ができるだけ健康を保ち、可能な限り社会参加を続けていくことのできる「一億総活躍社会」の構築が求められているのです。

健康寿命の延伸のためには、国民、県民の一人一人が常日頃から健康の維持管理に意を用いることが必要であり、身近に医療や介護の専門家が存在することが必要です。柔道整復師の先生方には今後とも、国民、県民にもっとも身近な医療専門家として、地域包括ケアシステムになくてはならない存在として、益々、そのお力を発揮していただかなくてはなりません。

記念式典の当日、日本柔道整復師会の工藤会長よりお話がありましたように、目下、柔道整復師をめぐる様々な制度改革の議論が急ピッチで進んでいます。これらの改革を通じて、柔道整復師に対する国民の信頼がますます高まっていくことを心よりご期待申し上げているところです。

結びに、先生方の今後益々のご健勝とご活躍、そして大分県柔道整復師会の一層のご発展を心よりお祈り申し上げて、お祝いのご挨拶といたします。

祝 辞



衆議院議員 穴 見 陽 一

この度の、大分県柔道整復師会創立 70 周年・社団法人設立 40 周年記念誌の制作に対して、心よりお祝い申し上げます。

本事業に対してご尽力された加藤会長始め全ての関係者の皆様のご努力に対して敬意を表します。

柔道整復術は日本古来の武術の一つである「柔術」の技術の中の、傷ついた人を蘇生・治療する「活法」を基礎として「骨接ぎ」「接骨」として長い期間を伝承される中で「柔道整復術」となり今に受け継がれて来ており、非常に伝統と実績のある治療術であると言えます。

大分県柔道整復師会は“接骨院・整骨院は身近な健康のパートナー”を合言葉に地域の住人の皆様の健康増進に 200 余名の皆様が取り組まれています。

また柔道整復師の皆様は日々の活動の中で医学的研究を欠かすことなく実行し柔道整復術の進歩や柔道整復師の資質の向上に取り組まれています。

今後の高齢化が加速する日本社会において接骨院・整骨院としてだけではなく介護や福祉の分野で機能訓練指導員としてご活躍される柔道整復師会の皆様は今後の日本の健康寿命の更なる増進の為に無くてはならない存在となっています。

またスポーツの分野では大分県内の各地域において柔道大会を開催して、青少年の健全育成において多大なるご貢献をされているだけでなく、各スポーツのトレーナーとして日本のアスリートを足元から支えています。

2019 年のラグビーワールドカップや 2020 年の東京オリンピックで日本の選手達が活躍できるか否かは柔道整復師の皆様の双肩にかかっていると言っても過言ではありません。

このように地域や介護、福祉、スポーツの分野で大きく活躍されている柔道整復師の皆様の役割は益々大きくなってまいりますが大分県柔道整復師会の会員の皆様なら十分に役割を果たせると確信しております。

最後になりますが、大分県柔道整復師会の今後益々のご発展と会員の皆様方お一人お一人のご健勝とご活躍を祈念しお祝いのご挨拶と致します。

祝 辞

内閣総理大臣補佐官

参議院議員 衛 藤 晟 一



この度、公益社団法人大分県柔道整復師会が創立 70 周年・社団法人設立 40 周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

加藤和信会長はじめ大分県柔道整復師会の皆様におかれましては「接骨院、整骨院は身近な健康のパートナー」の言葉通りに、県民、市民の本当に身近な健康パートナーとして信頼されております。

また、青少年の健全育成を目的とした少年柔道大会の開催、会員相互の術理を高める講習会、学術公開セミナー、災害救護や防災訓練への協力等の幅広い活動を通じての社会貢献に対し深甚なる敬意を表する次第です。

さて、2019 年にはラグビーワールドカップ、2020 年には東京オリンピック・パラリンピックという世界規模のスポーツイベントが控える中、柔道整復術の重要性は更に高まっていくことと思います。

様々な分野で活躍する柔道整復術は「ジュウドウセラピー」として WHO（世界保健機構）に取り上げられるなど、世界的に注目され始めております。

古来より培われてきた技術に現代の医療技術を取り込みながら発展してきた日本の伝統医療が、世界規模で普及していることに日本人として大変誇らしく思います。

我が国は、医療費・社会保障費の増加が大きな国政課題となっております。柔道整復師の皆様がたには、国民の健康維持、増進、予防医学として医療分野において、重要な一端を担われております。今後とも皆様には国、地方が抱える医療・福祉の課題解決にもご支援くださいますようお願い申し上げます。

結びに、重ねて「公益社団法人大分県柔道整復師会」の益々のご発展と併せ、会員皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げまして祝辞とさせていただきます。

祝 辞

農林水産副大臣

参議院議員 礒 崎 陽 輔



大分県柔道整復師会創立 70 周年並びに社団法人設立 40 周年をお慶び申し上げます。

加藤会長を始め大分県柔道整復師会の皆様におかれましては、日頃から私どもの活動に対し、温かい御支援を賜り、感謝申し上げます。

柔道整復術は、約 300 年の歴史を持つ日本古来の医術であり、古くは骨つぎとして、現在では、整骨院、接骨院として、私たちにとっては、常に身近な医術であり、親近感と信頼を感じています。

また、先生方には、技術の更なる向上に日頃から研さんを積まれ、また、常に患者の皆さんの声に真摯に耳を傾け、理解し、手を差し伸べてくださる心温まる施術を御提供いただき、心から敬意を表します。

最近では、皆様の活躍の場は更に広がり、災害時やスポーツ大会での救援活動、青少年の健全な育成を目的とした少年柔道大会の開催、高齢者の介護予防における機能訓練指導など地域発展のために取り組んでいらっしゃいます。

2019 年には大分県などでラグビーワールドカップの、2020 年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、柔道整復師の皆様の御活躍がますます期待されています。

柔道整復術は、人と人とのつながりを大切にする医術であり、その根底には、日本古来の美しい思いやりの心を尊ぶ姿勢が感じられます。ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックで海外から訪れる皆様は、アスリートのコンディショニングトレーニングや救護活動を通じて、日本文化の一つである素晴らしい柔道整復術に触れ、施術を通じて、日本の「おもてなし」の心を感じてくださることと存じます。

また、我が国では、急速な少子高齢化が進み、これにより社会保障制度の見直しが必要になっていますが、柔道整復術は、優れた予防医術でもあり、今後、国民の健康の維持と増進において更に大きな役割を果たされることと存じます。

変わりゆく環境の中で、国民が安心して暮らしていけるよう、柔道整復師会の皆様には、何とぞ今後とも御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人大分県柔道整復師会の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



日本柔道整復師会

会長 工 藤 鉄 男

このたび大分県柔道整復師会が創立 70 周年、社団設立 40 周年を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。

この記念すべき節目の式典に、お招きいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

また、大分県知事感謝状をはじめとして、日整並びに大分県柔道整復師会の表彰を受賞されました会員の皆様、誠にありがとうございます。

公益社団法人日本柔道整復師会を代表して、お祝いを申し上げます。

創立 70 周年と一言に申しましても、それは大変厳しい道のりであったことは言うまでもありません。

加藤会長、そして歴代会長のご指導の下、執行部の先生方、そして会員の皆様方が一丸となって、このような大きな節目を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りでございます。

歴史ある大分県柔道整復師会が、ご発展を遂げられたことに大いに感銘いたしますと同時に、本日が、さらに大きく飛躍される契機になることを期待しております。

私ども、柔道整復業界も、来る 2020 年、東京オリンピックの年に柔道整復公認 100 周年という記念すべき年を迎えようとしております。

近年、我々柔道整復師の徒手整復術は、日本国内のみならず、医療設備が未整備な開発途上の諸外国の国民にとっても大変有効であることが、モンゴル国等において実証されており、その需要は益々深まりを見ております。

先達の先生方が命を懸けて残された柔道整復術、そして柔道整復業界の更なる発展のためにも、当会は今後も業界の将来を見据え、柔道整復師の積極的な社会進出と地位確立とを目指して参ることが必要であると考えており、執行部一同積極的に取り組んでおるところでございます。今後の日本柔道整復師会の活動に、ご理解とご支援をいただきたいと思います。

終わりに、本日もご参会いただきました関係各位の温かいご理解のもと、大分県柔道整復師会が、加藤和信会長を中心に益々結束され、ご発展されますことと、本日お集まりの皆様のご健勝とご活躍とを心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

「70 年という時の流れ」

顧問 清 田 洋 一



戦後間もなく、大先輩方のものすごいエネルギーによって立ち上げられた大分県柔道整復師会。社団法人となり、平成 25 年に公益社団法人となり現在に至る（会事務所に、創立当時の本会の木の看板、会報が残っている）。

全国の県がそうであったように、それぞれの時代、時代の会長、役員、会員の皆様には、保険の取り扱いを始めとして、筆舌に尽くしがたい苦勞の積み重ねがあったと思う。

現在本会は、加藤会長という優秀な船頭を頂き、日整のご指導のもと、相変わらず日々難題を抱えながらも組織として堅実な航海を進めている。

振り返ってみるに、私にもあの先生、あの先生とお顔がすぐ浮かんでくる個性的な先生が夫々の時代におられた。

柔整師の特徴は、一人ひとりの患者さんの、大げさに言えば人生を支える一人であり、また患者さんから支えてもらっている一人でもある、ということ。

指の捻挫であっても、痛みとともに「あの時 A 先生から治してもらった」という記憶は時には、一生忘れない。当然ケガをして「あそこの先生で治らなくて、どこどこに行って治った。」この記憶も同じくついて回るであろう。そんな仕事である。

患者さんにとっては無血で完治、本当に有難い存在である。が、自分の利益を中心に考えていると、この信頼の立ち位置は保てない。

今、現在も周りに腰、膝の損傷をはじめ、治してもらいたい人、人がいっぱい。

この人たちの期待に応えられるように、日々こつこつと努力せねばならないのは、歴史の変化の中で、変化しないことのひとつであろう。

行政、政界、医師会を始め、これまで本会、会員を支えて下さった方々を思い浮かべながら、感謝の気持ちを胸に、そして本会のさらなる隆盛を願い、この駄文を認める。



H29.4.9 ベっぶ鶴見岳一気登山大会救護活動



H28.2.21 旭日双光章受章祝賀会 清田先生ご夫妻

創立 70 周年社団法人設立 40 周年を記念して

副会長 河 野 靖 久



平成 29 年 5 月 28 日トキハ会館にて、お陰さまで盛大に創立 70 周年社団法人設立 40 周年記念式典が開催できます事を諸先輩、関係各位に心より感謝し厚くお礼申し上げます。

創立より 70 周年となり、今日の会発展の基礎を築いて頂きました初代福田洲一先生、清田金男先生、酒井藤平先生、南 了介先生、坂本正光先生、清田洋一先生、7 代目加藤和信現会長のもと公益社団法人として社会的にも認知されてきました。

本会は県民の医療保険の推進及び少子高齢化が進む中、保健、医療、福祉に対する公益性の高い社会貢献活動を果たしております。

現在、県民の健康志向はさらに高まっており、それに応えるためにも、尚一層の柔道整復術・スポーツ障害等の学術の研鑽を積み、災害被災地での支援活動に協力して参ります。

また私たち柔道整復師は WHO より Judo Therapist として認知されておりますが、日々努力を重ねて県民の健康維持に貢献できる団体として全会員ともに精進してまいります。

話は変わりますが、ひとつ私の夢について、お付き合いをお願い申し上げます。

本会の会館の件ですが、平成 13 年 3 月 28 日大分市長浜の前会館から移転し同年 4 月より現会館で業務を再開し、現在 16 年が経ちましたが今から次の会館について、考える事も意味の有る事ではないでしょうか？

次の会館は交通事情の発達した現在、いささか山側の方又は海側の方でも、適正な場所に移転し、余裕のある会館を建設するのはどうでしょうか。全会員が駐車場に困らない場所、道場にしても現在の倍広さ、会議室も現在は会員全員が座ると大変窮屈ですので余裕を持って座れる広さなど・・・

会員の英知を結集し今後の課題として素晴らしい計画の元、長時間吟味し、建設資金等、会員全員で協議し、設計、建築、交通事情等々様々の角度から検討して行く事もあながち、間違いでは無いではないかと愚考する次第です。もちろん以上は私の考えですので決して会員に強要するものではありません。むしろ会館は不要、何か集りが有る場合はホテル又集会場を借れば良いと考える方もいる事も承知していますが長期的な観点で考えて全会員の意見の集約が可能であれば、夢が正夢になり得るか？

私の夢について、お付き合い頂き有難う御座いました。

創立 70 周年 社団法人設立 40 周年を迎えて



経理部長 土 谷 恵 一

創立 70 周年社団法人設立 40 周年を迎えるに当たり、多くの関係者、会員各位のご尽力、ご理解の賜物と深くお礼申し上げます。

平成 22 年に社団法人大分県柔道整復師会役員に推薦していただき、生涯学習部長を経て、現在経理部長の任に着き、会長・副会長・顧問税理士森迫先生にご指導いただき乍ら今日に至っています。

本会は、平成 25 年 3 月 22 日、広瀬勝貞大分県知事より公益社団法人の認定移行を受けました。社団法人の財産は「役員や職員の私産・私物ではなく税制優遇を受けて形成されたいわば国民から託された財産」とあり、運営・管理にあたっては重責が伴うことは言うまでもありません。

経理部としては、会費収入等をもとに、予算を組み、公益事業、収益事業に割り当て、総会にて事業報告・事業計画とともに決算報告、予算説明が行われ会員各位より承認をいただいております。

私事ですが昭和 49 年に開業届を提出し開業しましたが、自由診療だけで施術していました。しかし患者さんの多い日もあれば少ない日、1 人も来られない日もあり、生活は苦しく家賃も払えない時もありました。

昭和 53 年に社団への入会が実現し、昭和 54 年から保険施術をさせていただくようになりました。

すると自由診療の時とは違い安定してきました。とはいえ、1 日 10 人から 20 人程の患者さんの来院でした。

しかし、私にとっては、保険施術により収入が安定している事は大変有り難いことでした。

大先輩方々の大変なご苦勞の結果、柔道整復師の保険施術の療養費委任払い制度が確立され全国の柔道整復師が保険施術が行えるようになった歴史を知るとこの制度に感謝し、大切にしなければ申し訳ないと思う次第です。

近年、柔整の療養費取扱いについては厳しい状況にありますが、ある意味、より信頼される柔整師を目指し、更なる質の向上、接骨技術の研鑽と継承を進める良い機会と捉えています。

日本に柔道整復術が有り、独立開業権が有り、保険施術を行うことが出来、国民の皆さんに必要とされるかぎり、今後後継者の育成も重要であろうと思います。

最後に、創立 70 周年社団法人設立 40 周年にあたり、諸先輩先生方々の御苦勞に感謝申し上げ、更に一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

創立 70 周年社団法人設立 40 周年 記念講演並びに記念式典 祝賀会

と き 平成 29 年 5 月 28 日(日)

ところ トキハ会館「ローズの間」

＜記念講演＞ 9 : 3 0

次 第

司 会 江崎博明理事

1. 開会の言葉 河野 靖久 副会長
2. 会長挨拶 加藤 和信 会長
3. 講師紹介 安東 鉄男 学術部長
4. 記念講演



講師：馬見塚 尚孝先生

演 題 「柔道整復師も知っておきたい野球医学」

講 師 独立行政法人国立病院機構西別府病院

スポーツ医学センター副センター長 馬見塚 尚孝先生

5. 会長謝辞 加藤 和信 会長
6. 閉会の言葉 河野 靖久 副会長



公益社団法人 大分県柔道整復師会

<記念式典> 11:00

次 第

司 会 鎌田実信理事
笠木美代子

1. 開 式 の 辞 河野 靖久 副会長
- 2 国 歌 斉 唱
3. 式 辞 加藤 和信 会長
4. 表 彰

- | | | | |
|-----------------|-------|-------|-------|
| ① 大分県知事感謝状 | 今村 昭紀 | 宇都宮育郎 | |
| ② 日 整 会 長 表 彰 | 江崎 博明 | | |
| ③ 日 整 会 長 感 謝 状 | 安東 鉄男 | 野田 光広 | |
| ④ 日 整 永 年 表 彰 | 清田 洋一 | 今村 昭紀 | 杉田 洋一 |
| | 手寫 重徳 | 佐藤えいき | 重石 一昭 |
| ⑤ 本会30年永年勤続表彰 | 帯刀 啓貴 | 首藤 文教 | 野田 光広 |
| | 渡辺 一夫 | 安部幸一路 | 国広 幸治 |

5. 受賞者代表者謝辞 宇都宮 育郎

6. 来 賓 祝 辞

大 分 県 知 事	広瀬 勝貞 様
衆 議 院 議 員	岩屋 毅 様
衆 議 院 議 員	穴見 陽一 様
内閣総理大臣補佐官参議院議員	衛藤 晟一 様
農 林 水 産 副 大 臣 参 議 院 議 員	磯崎 陽輔 様
公益社団法人日本柔道整復師会会長	工藤 鉄男 様

7. 来 賓 紹 介

8. 祝 電 披 露

9. 閉 式 の 辞 河野 靖久 副会長

<記念祝賀会> 12:00

次 第

司 会 鎌田実信理事
笠木美代子

1. 開会のことば 河野 靖久 副会長
2. 会長あいさつ 加藤 和信 会長
3. 来賓あいさつ 衆議院議員 衛藤 征士郎 様
4. 来 賓 紹 介
5. 乾 杯 自由民主党大分県支部連合会
会長 阿部 英仁 様
6. 開 宴 ☆余興 ルミエール・カルテット
7. 万 歳 三 唱 公益社団法人日本柔道整復師会
総務部長 豊嶋 良一 様
8. 閉会のことば 河野 靖久 副会長



衆議院議員 衛藤征士郎様



阿部 英仁様



ルミエール・カルテット



河野 靖久 副会長



豊嶋 良一様

御 来 賓 芳 名 (順不同)

大 分 県 知 事	広 瀬 勝 貞 様
衆 議 院 議 員	衛 藤 征 士 郎 様
衆 議 院 議 員	岩 屋 毅 様
衆 議 院 議 員	穴 見 陽 一 様
内閣総理大臣補佐官参議院議員	衛 藤 晟 一 様
農 林 水 産 副 大 臣 参 議 院 議 員	磯 崎 陽 輔 様
自由民主党大分県支部連合会会長	阿 部 英 仁 様
独立行政法人国立病院機構西別府病院	馬見塚 尚 孝 様
大 分 大 学 名 誉 教 授	島 田 達 生 様
大分県中小企業団体中央会課長	大 森 洋 一 様
(公社) 日本柔道整復師会会長	工 藤 鉄 男 様
(公社) 日本柔道整復師会総務部長	豊 嶋 良 一 様
(公社) 日本柔道整復師会保険部長	三 橋 裕 之 様

創立 70 周年 社団法人設立 40 周年 記念講演並びに記念式典 祝賀会



大分県知事代理 長谷尾 雅通様



衛藤 征士郎様



岩屋 毅様



穴見 陽一様



衛藤 晟一様



磯崎 陽輔様



阿部 英仁様



工藤 鉄男様

創立 70 周年 社団法人設立 40 周年 記念講演並びに記念式典 祝賀会



ご来賓



日整ご来賓



代表者 謝辞



阿部 英仁様・大森洋一様



日整総務部長 豊嶋 良一様



日整保険部長 三橋 裕之様



(衛藤征士郎先生・磯崎陽輔先生・工藤鉄男日整会長、加藤和信会長とともに)

(衛藤征士郎先生・磯崎陽輔先生・工藤鉄男日整会長、加藤和信会長とともに)



創立70周年・社団法人設立 40周年記念によせて

総務部長 江 崎 博 明



10年前の創立記念誌を拝読しますと私は学術部長でのご挨拶となっておりましたが早いもので今回は総務部長として迎えました。この10年間は業界にとって大変厳しい激動の時代となりました。しかし次の世代に繋がる公益社団の設立を始め大きな事業を成し遂げた10年間だったと思います。過去の記念誌を拝読し諸先輩方の多岐に亘るご苦勞、努力を想い総務部関係の主な記録をまとめてみました。

平成20年度「チャレンジ!おおいた国体」・第8回全国障害者スポーツ大会が開催され本会として大分国体には救護要員の派遣、障がい者大会で佐伯市総合体育館水泳大会会場にコンディショニングルームを設営し運営した。

平成21年度には会員の為の団体保険を締結し慶弔規定を変更し団体保険をスタートした。

大分市通所型介護予防事業に参入した。経理的には環境特別会計を会館修繕費等に会計処理的に名称を変更した。

平成22年度には加藤和信新会長にて新体制を構築し会の運営を始めた。ホストコンピュータの更新。災害ボランティア連絡協議会に参加した。

平成23年度3月に東日本大震災が発生した。当会としても様々な対応を上部組織と図り速やかな対応をした。社団会員の組織率の向上を図る為に準会員の増強を計画し62名の勤務柔道整復師の登録を進めた。

大分市萩原の新会館が建設10年を迎えてメンテナンスと備品の整理を実施する事とした。

平成24年度7月には九州北部豪雨が発生し当会として中津市の避難住民に公民館でのコンディショニングルームを開設、多くの会員がボランティア活動に従事した。第1回大分県スポーツ学会に参加し加入した。公益社団法人に移行した。大分県柔道整復師協同組合を設立した。本年は第41回九州学術大会「大分大会」を開催した。

平成25年度整骨会館の補修と維持管理費について大分県整骨会館維持管理費積立を新設した。会員のHP作成の為の本会ガイドラインの参考資料を作成した。公益社団法人移行・協同組合設立記念式典並びに祝賀会を開催した。

平成26年度第10回大分県整骨旗争奪少年柔道大会（中津ダイハツ九州アリーナ）記念大会として柔道教室を開催し講師に大分市出身ロンドンオリンピック出場の穴井隆将先生を招聘した。公益社団法人移行に伴い理事会・会議等の議事録書式を変更した。会館補修メンテナンス作業開始した。

平成27年度会館用の椅子、机、フロアシート等の備品購入を行った。

2019ラグビーワールドカップならびに2020東京オリンピック・パラリンピックの参加協力を表明した。

平成28年度4月に熊本大分地震が発生し当会としては様々な対応と会員の安否確認をしたのちに迅速に協議し加藤会長をリーダーとする災害ボランティアチームを熊本県阿蘇市に派遣しコンディショニングルームの開設と運営をした。

清田洋一顧問の旭日双光章受章祝賀会を開催した。第39回九州ブロック会柔道大会にて大分県が団体優勝した。公益社団法人移行後初めて県担当職員5名により立入検査が実施され無事終了し次回は3年後の実施予定となる。

以上、総務部関係での重要な件を記したが書ききれない事案は沢山あり各部報告になるものと思います。最後になりますが創立70周年社団法人設立40周年にあたり大分県会員の皆様、役員の皆さまのご協力に感謝しますと同時に公益社団法人大分県柔道整復師会の益々の発展を祈念いたします。

昭和21年7月から平成20年3月までの主な記録

(1946年)

(2008年)

昭和21年7月25日	創立総会（於 別府市北小学校）
23年3月7日	臨時総会、役員改選 会長・福田洲一、副会長・清田金男
5月25日	事務所移転、清田整骨院内（於 別府市下野口）
10月9日	秋季総会
11月29日	柔道整復師、資格試験施行（於 大分県）
12月26日	合格証授与（於 亀川今辨慶整骨院）
昭和24年4月2日	定期総会（於 別府市東洋軒）
4月2日	日接代議員選挙にて決定 代議員（現会長）福田洲一
10月26日	臨時総会（於 大分市教育会館2F）
昭和25年4月4日	定期総会（於 大分県農民保養所）
6月29日	労災事務打合せ会（於 大分労働基準局）
昭和26年5月15日	定期総会（於 大分市労働会館）
10月30日	総会 柔道講習・祓川先生（於 大分市旧武徳殿）
昭和27年4月2日	総会（於 大分県農協荘）
10月19日	総会（於 別府保健所2F）
昭和28年5月17日	総会（於 大分市労働会館）
昭和29年4月3日	総会（於 大分県職員会館）
11月28日	総会（於 大分県町村会館）
昭和30年5月8日	総会（於 別府市浜脇 松葉屋別館）
12月18日	緊急臨時総会（於 大分県警察会館）
昭和31年7月17日	総会（於 別府市桜屋旅館）
12月16日	総会（於 大分県警察会館）
昭和32年4月28日	総会（於 別府市永田別荘）
11月24日	総会（於 別府市北町公民館）
昭和33年11月16日	総会（於 別府市北浜 大平旅館）
昭和34年2月28日	総会（於 別府市下野口公民分館）
昭和35年12月11日	総会（於 別府市北浜 大平旅館）
昭和36年11月3日	総会（於 大分商業会議所）
昭和37年5月27日	総会（於 大分県町村会館）
昭和44年7月27日	臨時総会 新会長・南 了介、新副会長・住吉壽人、新顧問・酒井藤平 （於 別府市野口温泉会場）
8月25日	役員改選に伴う事務打合せ会（於 大分県国保連合会）
昭和45年4月18日	総会（於 別府市駅前 前田旅館）
昭和46年1月27日	療養費支給申請書改正が決定、県保険課長より（於 大分県国保連合会）
4月30日	総会 満70才以上の会員の優遇（総会費のみ免除）（於 別府市北浜 清風荘）
10月11日	杉田保雄先生46年10月11日逝去（於 別府市不老町）
昭和47年4月28日	総会（於 別府市北浜 ホテルニュー松実）
11月25日	臨時総会（於 別府市観海寺 杉乃井ホテル）
昭和48年4月28日	48年度総会（於 別府市餅ヶ浜 ホテル北泉）
10月20日	臨時総会（於 別府市前田旅館）
12月9日	西日本代表者会議、西邑伊三郎会員出席（於 神戸市六甲荘）
昭和49年4月27日	総会（於 別府市駅前本町 前田旅館）
10月26日	臨時総会（於 別府市駅前本町 前田旅館）
昭和50年1月15日	役員会 審査費については……審査費 $\frac{3}{100}$ を $\frac{2}{100}$ に改める （於 別府市駅前本町 前田旅館）



5月2日	定期総会（於 別府市駅前本町 前田旅館）
10月19日	臨時総会
	1. 申請用紙（施術録を含む）無料化
	2. 審査料 $\frac{2,000}{100\%}$ を $\frac{2,000}{100\%}$ とする
	57年4月1日より実施
	（於 別府市駅前本町 前田旅館）
昭和51年4月24日	定期総会
	役員改選、会長・南了介（留任）、副会長・重石一郎（新任）
	51年度予算に福祉費の項を設ける、担当者を建光行会員とする
	（於 別府市北浜 花菱ホテル）
昭和52年1月21日	理事（役員）会
	当会の社団法人設立について
	会員の福祉について（於 大分市金池町 金大寿司）
4月22日	理事（役員）会
	社団法人設立の経過報告
	理事の職務分担について（於 別府市駅前通り 前田旅館）
4月23日	定期総会 30年以上勤務会員の表彰（於 別府市駅前通り 前田旅館）
8月27日・28日	九州整骨師会昭和会大分大会（於 別府市北浜海岸 ホテル清風）
8月27日	臨時総会（於 別府市北浜海岸 ホテル清風）
12月17日	理事（役員）会、税務指導（於 別府市北浜海岸 ホテル清風）
昭和53年1月21日	九州整骨師会連合会理事会
	各県に税理士を置くことの指導（於 福岡県）
2月25日	税務指導研修会（於 大分市大手町3丁目2-43 大分市中村病院講堂）
3月24日	理事（役員）会
	社団法人前の整理と会認可後の出発について整頓をした本会である
	（於 別府市駅前通り 前田旅館）
4月1日	社団法人大分県柔道整復師会設立（宇佐市貴船町1丁目21番地）



S 53. 6 社団設立記念祝賀会

4月21日	定期総会並びに理事会、30年以上勤続会員表彰
	（於 別府市北浜2丁目 竹の井ホテル）
6月24日	臨時総会並びに社団法人大分県柔道整復師会設立祝賀会
	（於 別府市田ノ湯16 ホテル白菊）
12月9日	臨時総会 税務指導会（於 大分市荷揚町1 東洋軒）
昭和54年4月27日	理事会（於 別府市北浜 ホテル清風）
4月28日	通常総会（於 別府市北浜 ホテル清風）
6月16日	臨時総会（於 別府市観海寺 杉乃井ホテル）
昭和55年4月26日	通常総会（於 別府市中央町5-17 亀の井ホテル）

10月19日	臨時総会（於 別府市中央町5-17 亀の井ホテル）	
昭和56年 4月18日	通常総会（於 別府市中央町5-17 亀の井ホテル）	
6月14日	事務所移転記念式典（於 大分市荷揚町3-24 （社）大分県柔道整復師会）	
9月13日	臨時総会（於 臼杵市須崎 臼杵信用金庫本店）	
昭和57年 4月14日	通常総会（於 ホテル清風）	
12月 8日	臨時総会（於 別府市中央町5-17 亀の井ホテル）	
昭和58年 4月28日	通常総会（於 別府市北浜2-12 ホテル清風）	
12月10日	臨時総会（於 別府市田ノ湯16 ホテル白菊）	
昭和60年 4月27日	通常総会（於 別府市中央町5-17 亀の井ホテル）	
8月10日	臨時総会	
	会館及び事務用地の購入	
	定款第2条の変更について（於 別府市中央町5-17 亀の井ホテル）	
昭和61年 4月26日	通常総会（於 別府市中央町5-17 亀の井ホテル）	
11月16日	臨時総会（於 別府市観海寺 杉乃井ホテル）	
昭和62年 4月13日	平松守彦県知事当選祝賀会（於 大分市）	
4月16日	立木 勝前大分県知事告別式（於 別府市）	
4月17日	日本柔道整復師会、九州ブロック会理事会（於 熊本市）	
4月24日	理事会、役員会（於 別府市）	
4月25日	昭和62年度通常総会（於 別府市）	
5月 9日	柔道関係者の強化練習（於 大分市）	
5月13日	九州ブロック会大分県内学術担当者会議（於 大分市）	
5月24日	柔道関係者の強化練習（於 大分市）	
	理事会（於 大分市）	
5月29日	河野弘之相談役見舞い（於 大分市）	
5月31日	柔道関係者の強化練習（於 大分市）	
6月20日	鹿児島県社団法人10周年記念式典（於 鹿児島市）	
6月24日	河野弘之相談役の逝去（於 玖珠郡玖珠町）	
6月25日	第16回日本柔道整復師会九州ブロック会、大分大会打合せ（於 大分市）	
7月18日	第10回日本柔道整復師会、九州ブロック会柔道大会（於 大分市）	
7月19日	第16回日本柔道整復師会、九州ブロック学会（於 別府市）	
9月12日	佐賀県社団法人10周年記念式典（於 佐賀市）	
9月20日	理事会（於 別府市）	
10月29日	東 義夫顧問、祓川一郎相談役と40年の歩みについて（於 大分市）	
10月31日	熊本県柔道整復師会、社団法人設立10周年記念（於 熊本市）	
昭和63年 1月16日	福岡県柔道整復師会、創立62周年、社団法人設立10周年記念式典（於 福岡市）	
2月20日	大分県柔道整復師会、社団法人設立10周年記念（於 別府市）	



旧会館全景



S61. 4
通常総会役員紹介



S62. 7
九州ブロック学会（大分県）



S63.2.20 創立40社団10年記念式典(ホテル白菊)



S63当時執行部

4月28日	通常総会 役員改選他 会長 南 了介（留任） 副会長 重石一郎（留任）
5月14日	会宛、柔道整復師法一部改正決定の通知 1、免許を与える者を、都道府県知事から厚生大臣に改める 2、試験を実施する者を、都道府県知事から厚生大臣に改める 3、受験資格について、一定の養成施設等において高等学校卒業後三年以上必要な知識及び技能を修得することと改める 4、試験及び登録の実施に関する事務について、厚生大臣の指定する者に行わせることができることとする（平成2年4月1日施行）
5月22日	柔道関係者の強化練習（大分市）他4回実施
5月25日	東 義夫顧問の死去 昭和25年4月より15年に亘り副会長を歴任された
6月11日	日整・社団35周年記念式典・祝賀会（東京）
6月18日	大分県柔道整復師会柔道大会（佐伯市）
7月14日	保険者と社団会員以外の柔道整復師との取扱い通知（県、全国）
7月19日	審査委員会設置にかかる協議（大分市）
7月27日	日整代議員会・柔道整復師一部改正祝賀会（東京）
8月6日・7日	第17回日整九州ブロック会福岡大会（福岡市）
8月21日	九州ブロック会柔道大会（長崎市）
10月16日	学術講習会・税務相談室（コンパルホール）
10月30日	税務講習会（大分商工会館）
11月11日	臨時総会 日本柔道整復師協同組合設立について他・南 了介会長労働大臣表彰祝賀会
平成元年1月8日	新元号 平成と称す
2月26日	税務相談室（会事務所）
4月21日	平成元年度通常総会 施行細則の一部改正 他 建 光行理事退任、相談役に
5月14日	学術研究会・柔道関係者の強化練習（コンパルホール） 他4回実施
6月5日	阿部吉信会員の死去 九整連柔道大会審判他特に柔道家として多大の功績を残された（講道館八段）
6月24日・25日	九州ブロック会佐賀大会（佐賀市、大和町）
7月1日	鎌田 実理事の死去 40年に亘り理事として業界の発展に多大の功績を残された。元佐伯市議会議長文部大臣表彰 勲五等瑞宝章（講道館八段）
7月9日	学術研究会・大分県柔道整復師柔道大会（大分市）
9月23日	第18回日整九州ブロック会柔道大会（熊本）
11月28日	財団法人柔道整復研修試験財団設立 認可
12月10日	生涯学習会・学術研究会・税務相談室（県労働福祉会館）
平成2年1月19日	平成元年度臨時総会 故鎌田 実理事の後任理事の選出について他（鶴見園グランドホテル）
2月25日	税務相談室（会事務所）
4月19日	大分県柔道整復師柔道大会（大分市）
4月27日	平成2年度通常総会 役員改選 会長 南 了介 副会長 坂本正光（新任）
5月13日	学術研究会・柔道関係者の強化練習（大分市）他2回
6月1日	吉成隆治会員の死去 永く地域医療に、会員の指導に努められた
6月16日・17日	第19回日整九州ブロック会沖縄大会（那覇市）
6月19日	厚生大臣指定柔道整復師講習会都道府県実行委員長会議（東京）

10月7日 厚生大臣指定柔道整復師講習会・開講式（県婦人会館）
 10／21, 11／11, 11／18, 12／9,
 12／16, 1／20, 1／27, 2／10, 2／17の計10回の講習実施（数会場）



厚生大臣指定 柔道整復師講習会 H2.10～H3.2

平成3年2月10日	厚生大臣指定講習会 補講（大分市）（2／24共2回）
2月24日	平成2年度臨時総会（大分県労働福祉会館）
2月24日	税務相談室（会事務所）
4月26日	平成3年度通常総会 会館建設会計についての質疑応答など。（杉乃井ホテル）
5月11日	柔道関係者の強化練習（大分市）他4回実施
6月9日	日整会長に松本好司氏就任
6月21日・22日	第20回日整九州ブロック会長崎大会（長崎市）
11月1日	日本柔道整復師国民年金基金設立
12月21日	療養中の南了介会長死去（会務、坂本副会長が代行）
12月23日	南会長の社団・南家合同葬 宇佐市においてしめやかに取り行われる 南了介会長は昭和44年以来会長として本会の組織づくり、人づくりにその生涯をかけられ、本会のみならず、業界へ多大の業績をのこされた。
平成4年1月19日	平成3年度臨時総会 南会長死去に關しての役員会報告他 税務指導会（大分商工会館）
4月24日	平成4年度定期総会（杉乃井ホテル） 質疑に対し坂本会長代行が答弁、全議案承認さる 役員改選 会長 坂本正光（新） 副会長 清田洋一（新）
6月20日	大分県柔道整復師会柔道大会（別府市民体育館） 他4回強化練習
8月1日	第21回日整九州ブロック会熊本大会（熊本市）
9月15日	学術研究会・税務指導会・コンピューター関係説明会（コンパルホール）
11月22日	平成4年度臨時総会 申請書の改正について等（ホテル白菊）
12月5日・6日	第1回日本柔道整復・接骨医学会
平成5年1月31日	学術講演会・税務指導会（ホテル清風）
2月21日	平成5年・2月臨時総会 会館建設資金について・積み立てを継続することに決まる。
2月28日	税務相談室（会事務所）
3月26日	日整社団設立40周年記念式典（パレスホテル）
4月28日	平成5年度通常総会 新会館建設のため建設委員会の設置決まる 他（杉乃井ホテル）
5月6日	加藤 亨会員の死去

	教育者として柔道家として多くの人材を育てられた。
5月23日	九州ブロック会柔道大会強化練習（大分市）他3回
5月29日	現会館購入借入金（土地含）完済
7月31日・8月1日	第22回日整九州ブロック会鹿児島大会（鹿児島市）
11月21日	平成5年度臨時総会（ホテル望海）
	会館建設委員会規定（案）の承認
	会館建設委員の選出・住吉壽人会員ほか6名を選出
平成6年1月16日	税務指導会（コンパルホール）
2月27日	税務相談室（会事務所）
3月20日	第1回建設委員会（会事務所）
4月22日	平成6年度通常総会
	役員改選（ホテル白菊）
5月29日	九州ブロック柔道選手権大会・強化練習（別府市民体育館）（他に4回実施）
7月23日・24日	第23回日整九州ブロック会宮崎大会（宮崎市）
11月23日	平成6年度臨時総会
	平成7年度九州ブロック大会（大分）の担当等について他（ホテル白菊）
平成7年1月1日	大分県柔道整復師施術療養費審査委員3名 県より委嘱さる （坂本正光、清田洋一、河野靖久）
1月17日	阪神大震災
2月6日	第1回審査委員会（大分市）
	実審査は3月より実施
3月26日	第2回会館建設委員会（会事務所）
4月21日	平成7年度通常総会
	県年会費を20,000円から19,000円とする（九州ブロック会に関連して）
	九州ブロック大会関連審議ほか（別府湾ロイヤルホテル）
5月28日	大分県柔道整復師柔道大会（別府市民体育館・道場）他2回強化練習
6月24日・25日	第24回日整九州ブロック会大分大会
	本県として4巡目の大会。総会、学会、柔道大会、ゴルフ大会共に会員の総力にて成功裡に終了。懇親会には多数の来賓御出席。（日出町、別府市）
8月1日	重石一郎相談役の死去
	昭和51年より14年に亘り副会長として南了介前会長をよく補佐、本会の発展に大きな功績を残した
10月15日	日整全国柔道大会・少年柔道大会
	少年に於いて初めて大分県代表チームが参加
	清錬館道場チーム（九州代表）
10月17日	菰川一郎元相談役の死去
	創立時からの会員で柔道界の重鎮（九段）であられた。
11月23日	平成7年度臨時総会（別府パストラル）
	平成8年度新入会について
	同年4月1日より入会金を300,000円とする
平成8年2月25日	税務相談室（会事務所）
3月16日	第3回会館建設委員会（会事務所）
4月26日	平成8年度通常総会
	役員改選 建設委員改選他（別府パストラル）
5月25日	九州ブロック会柔道大会強化練習（大分市）他2回実施
7月20日・21日	第25回日整九州ブロック会福岡大会（福岡市）
10月29日	犬丸信明顧問税理士の死去
11月24日	平成8年度臨時総会（鶴見園グランドホテル）
	事務職員就業規則の改正に関する報告他
平成9年3月15日	第4回会館建設委員会（会事務所）



H7.6.23～24
日整九州ブロック会大分大会



深夜に及ぶ保険部（審査）会

- 4月25日 平成9年度通常総会
平成10年に「創立50年・社団20年記念式典」開催。4年制大学設置推進拠出金について、年1人6,000円を一括納入他（別府パストラル）
- 5月24日 九州ブロック会柔道大会強化練習（大分市）他3回実施
- 7月12・13日 第26回日整九州ブロック会佐賀大会（唐津市）
- 8月11日 県災害ボランティアセンターとの話し合い（大分市）他4回協議
- 10月27日 平成10年度より県災害ボランティアに有志会員参加がきまる
- 平成10年2月15日 臨時総会
「創立50周年・社団法人設立20周年記念式典ならびに祝賀会」
（※ 理事会、保険部会、審査委員会、九州ブロック会議、日整会議を除く）



創立 50 周年社団法人設立 20 周年記念式典

- 3月28日 第5回会館建設委員会
- 4月5日 九州ブロック会 親善ゴルフ大会（熊本）
- 4月26日 平成10年度通常総会・保険取扱い指導会
- 5月23日 大分県柔道大会
（九州大会出場選手の強化練習を以後2回実施）
- 6月27日 第27回日整九州ブロック会学会総会（沖縄）
第21回九州ブロック会柔道大会 優勝（沖縄）
- 7月11日 九州大会柔道優勝祝賀会
- 10月11日 厚生大臣旗争奪第22回日整全国柔道大会
文部大臣杯争奪第7回日整全国少年柔道大会
- 11月15日 理事会・日赤救急講習会
- 11月23日 平成10年度臨時総会
- 11月28日・29日 第7回日本柔道整復接骨医学会（静岡）
- 平成11年1月24日 平成10年度大分県災害ボランティア研修会
- 3月13日 第6回会館建設委員会
- 4月23日 平成11年度通常総会・保険取扱い指導会
- 5月22日 大分県柔道大会
（九州大会出場選手の強化練習を以後2回実施）
- 6月26日 九州ブロック会柔道大会・総会
- 6月27日 第28回九州ブロック学会（長崎）
- 7月18日 第7回会館建設委員会
- 8月8日 武原利雄会員葬儀
- 8月29日 第23回大分県総合防災訓練（臼杵）
- 10月11日 厚生大臣旗争奪第23回日整全国柔道大会
文部大臣杯争奪第8回日整全国少年柔道大会
- 11月23日 平成11年度臨時総会

平成12年 1月23日	赤十字救急法・救命員養成講習会
1月29日	第1回会館建設実行委員会
4月21日	平成12年度通常総会・保険取扱い指導会
5月13日	大分県柔道大会（九州大会出場選手の強化練習を以後2回実施）
6月18日	平成12年度・6月臨時総会・学術研修会・保険研修会 柔道強化練習・九州ブロック会柔道選手激励会
6月21日	福田道雄会員葬儀
6月24日・25日	第42回九州理学療法学会
7月8日	九州ブロック会柔道大会・総会
7月9日	第29回日整九州ブロック学会（熊本）
8月1日	生山佳雄会員葬儀
9月9日	第2回会館建設実行委員会
9月29日	第3回会館建設実行委員会
10月9日	厚生大臣旗争奪第24回日整全国柔道大会 文部大臣杯争奪第9回日整全国少年柔道大会
11月3日	新会館現地見学会
11月6日	新会館登記完了
11月14日	第4回会館建設実行委員会
11月19日	平成12年度11月臨時総会
12月7日	災害ボランティア・コーディネーター研修会
12月10日	第5回会館建設実行委員会
12月19日	コンピュータ初導入、設置
12月22日	老人一部負担金の説明会
12月25日	県高齢者福祉課へ定額の届け
平成13年 1月12日	新会館改修工事開始
1月14日	平成12年度1月臨時総会・税務講習会・学術研修会・老人医療費説明会
3月16日	現会館へ引渡し
3月20日	居宅介護支援事業所の準備会議
3月25日	新会館入魂式・第6回会館建設実行委員会
4月20日	平成13年度通常総会・保険取扱い指導会
4月21日	徳田靖之弁護士との顧問契約
5月6日	武道場完成記念大分県柔道大会並びに錬成会
5月14日	居宅介護支援事業所立ち上げ会議
5月27日	大分県柔道大会 （九州大会出場選手の強化練習を以後3回実施）
6月17日	新会館開館記念講演・記念式典・祝賀会
7月11日	指定居宅介護支援事業者認可（大整介護支援センター開設）
7月14日	九州ブロック会柔道大会・総会
7月15日	第30回日整九州ブロック学会（鹿児島）
9月7日	橋本保範会員葬儀
10月8日	厚生労働大臣旗争奪第25回日整全国柔道大会 文部科学大臣杯争奪第10回日整全国少年柔道大会
10月21日	第1回大分県柔道整復師会ソフトボール大会
11月18日	平成13年度臨時総会・原 健日整会長特別講演
2月20日	療養費算定基準説明会
平成14年 2月21日	高速インターネット回線（ADSL）接続
3月1日	ホームページ開設。
3月24日	平成13年度3月臨時総会 機能訓練指導員並びに保険講習会 役員・顧問相談役合同会議



新会館開館記念式典と祝賀会

4月19日	平成14年度通常総会・保険取扱い指導会
5月11日	大分県柔道大会（九州大会出場選手の強化練習を以後3回実施）
6月22日	事務局パソコンLAN構築
6月23日	学術研修会・IT教室
7月12日	九州ブロック会理事会
7月13日	第31回日整九州ブロック会総会・学会・柔道大会（宮崎）
9月16日	学術講演会・日赤救急講習会・カルテ記載指導会並びに老人医療再説明会
10月14日	大整介護支援センター会議
10月14日	厚生労働大臣旗争奪第26回日整全国柔道大会
	文部科学大臣杯争奪第11回日整全国少年柔道大会
10月20日	医療制度改正に関する再説明会
10月27日	第2回大分県柔道整復師会ソフトボール大会
11月23日	平成14年度臨時総会
平成15年1月26日	理事会
2月9日	学術研修会・保険研修会・パソコン講習会
3月8日	九州ブロック会大分大会第1回実行委員会
3月14日	大分統一申請書完成・配布
3月24日	九州ブロック会大分大会第2回実行委員会
3月31日	200万人署名（会員分）提出
4月6日	大分県柔道大会 （九州大会出場選手の強化練習を以後2回実施）
4月25日	平成15年度通常総会・保険取扱い指導会
6月29日	学術研修会並びに九州ブロック大会実行委員会
7月26日	第26回九州ブロック会柔道大会（大分）優勝 第32回日整九州ブロック会総会・学会・懇親会（大分）
7月27日	九州ブロック会ゴルフ大会・協賛つり大会（大分）
8月20日	日整少年柔道合同練習並びに選手選考会
9月13日	九州ブロック柔道大会優勝祝賀会・慰労会
9月27日	第3回大分県柔道整復師会ソフトボール大会
10月13日	厚生労働大臣旗争奪第27回日整全国柔道大会
	文部科学大臣杯争奪第12回日整全国少年柔道大会
12月14日	平成15年度臨時総会
平成16年2月7日	役員・顧問相談役合同会議
2月8日	学術及び保険研修会、ホストコンピュータ説明会並びに国政報告会
2月13日	各健保組合に会長委任要請文書発送
3月17日	ホストコンピュータシステム導入・テスト稼働
3月29日	大分県特殊災害対策訓練
4月23日	平成16年度通常総会・保険取扱い指導会
5月1日	ホストコンピュータシステム本格稼働
5月9日	九州ブロック会ゴルフ大会（熊本）
5月23日	大分県柔道大会（九州大会出場選手の強化練習を以後3回実施）
7月11日	学術研修会
7月18日	九州ブロック会柔道大会（福岡）
7月19日	第33回日整九州ブロック会総会・学会・懇親会（福岡）
7月22日	川辺 孝相談役葬儀
8月18日	日整少年柔道合同練習並びに選手選考
10月11日	厚生労働大臣旗争奪第28回日整全国柔道大会
	文部科学大臣杯争奪第13回日整全国少年柔道大会
10月16日	第4回大分県柔道整復師会ソフトボール大会
10月18日	大分県災害ボランティア体験型研修会



第32回日本柔道整復師会
九州ブロック会総会・学会

11月23日	平成16年度臨時総会
12月27日	国民皆保険制度を守る署名簿最終提出
平成17年 1月31日	大分県災害ボランティア体験型研修会
2月10日	パワープロジェクト導入
2月13日	学術研修会（パネルディスカッション含む）
2月18日	災害ボランティアコーディネーター研修会
3月13日	日赤AED講習会（第1回）
4月22日	平成17年度通常総会・保険取り扱い指導会
5月10日	少年柔道大会第1回実行委員会
5月15日	平成17年度大分県特殊災害対策訓練 大分県柔道大会（九州大会出場選手の強化練習を以後3回実施）
6月19日	審判講習会（少年柔道大会に向けて）
6月23日	少年柔道大会第2回実行委員会
7月10日	学術研修会・日赤AED講習会
7月16日	九州ブロック会理事会
7月17日	九州ブロック会柔道大会（佐賀）
7月18日	第34回日整九州ブロック会総会・学会（佐賀）
8月10日	県介護保険室訪問
8月18日	日整少年柔道大会合同練習並びに選手選考会
8月28日	福田晃臣会員葬儀
9月16日	日整少年柔道大会合同練習
9月24日	篠原信一先生を囲む会
9月25日	第1回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 並びに篠原信一先生柔道教室
9月28日	改正介護保険制度に関する研修会
10月10日	厚生労働大臣旗争奪第29回日整全国柔道大会 文部科学大臣杯争奪第14回日整全国少年柔道大会
11月23日	平成17年度臨時総会・少年柔道大会慰労会
平成18年 2月5日	学術研修会
2月20日	河野喜重相談役葬儀
2月25日	県内論文審査会・九州ブロック会役員OB会
3月21日	平成18年3月度臨時総会・機能訓練指導員講習会に関する説明会
4月14日	大分県柔道大会（九州大会出場選手の強化練習を以後3回実施）
4月16日	平成18年度通常総会
4月21日	理事会
5月7日	九州ブロック会親善ゴルフ大会（熊本）
5月11日	改正介護保険法の施行に伴う事務取り扱い説明会
5月20日	役員・顧問相談役合同会議並びに会務引継ぎ
6月17日	上野勝幸相談役葬儀
6月18日	学術研修会・柔道強化練習・理事会
6月30日	九州ブロック会総会
7月1日	第35回日整九州ブロック会柔道大会・学会（沖縄）
7月23日	第2回大分県整骨旗争奪少年柔道大会第1回実行委員会
7月28日	保険取り扱い指導会（今回より、通常総会と分離開催）
8月5日・6日	九州ブロック会機能訓練指導員講習会（福岡）
8月20日	第2回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 第15回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会選考会
8月26日	大分医学技術専門学校との意見交換会
10月9日	厚生労働大臣旗争奪第30回日整全国柔道大会 文部科学大臣杯争奪第15回日整全国少年柔道大会



第1回大分県整骨旗争奪少年柔道大会
（篠原信一先生の柔道教室）

11月9日	公益法人制度改革に関する説明会		
11月23日	平成18年度臨時総会		
11月30日	準会員初登録（3名）		
12月11日	大整介護支援センター新任ケアマネージャー着任		
平成19年 1月26日	日整本部と本県ほか7県とのテレビ会議リハーサル		
2月18日	学術研修会		
2月21日	大分県災害ボランティアネットワーク設立総会		
3月21日	会館にAED設置 会館3Fに県介護福祉士会が事務所開設		
4月8日	全国機能訓練指導者講習会		
4月9日	第20回べっふ鶴見岳一気登山大会で表彰を受ける		
4月21日	顧問相談役・役員合同会議		
4月22日	平成19年度通常総会・磯崎陽輔氏講演		
5月13日	大分県柔道大会（九州大会出場選手の強化練習を以後3回実施）		
5月16日	森 萬三相談役葬儀		
5月18日	I T委員会		
6月17日	学術研修会・日赤救急救命講習 少年柔道大会第1回実行委員会		
7月7日	川端昌智会員葬儀		
7月12日	大分合同新聞主催「人体の不思議展」を後援		
7月20日	九州ブロック会総会		
7月21日	九州ブロック会柔道大会		
7月22日	第36回日整九州ブロック会学会（長崎）		
7月29日	第3回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 第16回文部科学大臣旗争奪日整全国少年柔道大会選考会		
8月21日	日整少年柔道大会第1回合同練習		
9月29日・30日	第16回日本柔道整復接骨医学会		
10月13日・14日・15日	第7回全国障がい者スポーツ大会（秋田）視察		
10月14日	本会主催機能訓練指導員フォローアップ講習会 ボウリング大会		
10月23日	災害ボランティアネットワーク構築のためのブログ研修（事務長）		
11月15日	保険取扱い指導会		
12月9日	平成19年度臨時総会 日整会員証の「ピッピくん」による電子認証受付を開始		
平成20年 1月15日	創立60周年・社団30周年第2回実行委員会 その他 定例理事会・保険部会 公的審査委員会（政管・国保） 保険改正等への的確な事務的対応 会報発行 コンピュータハード・ソフトの順次改善 会館有効利用 専門学校との有効活用 大分国体関連会議 火災炎救難用具設置等 地域支援事業推進活動		
1月22日	理事会・30周年第3回実行委員会	大	分
1月26日	九州ブロック会学術部会	福	岡
1月29日	大分医学技術専門学校にて社団説明	大	分
2月9日	九州ブロック会理事会	大	分



第3回大分県整骨旗争奪少年柔道大会



創立60周年社団法人設立30周年記念式典（大分東洋ホテル）

2月13日	県内論文審査会	大	分
2月13日	大分県公益法人改革説明会	大	分
2月20日	日整保険部会	大	京
3月13日	大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3月20日	学術研修会・公益社団説明	大	分
3月29日	日整臨時代議員会・臨時総会	大	京
3月30日	「柔道整復学」構築プロジェクト完成報告会		
その他	日整社団法人設立55周年記念式典・祝賀会	東	京
	・定例理事会・保険部会・公的審査委員会		
	・居宅介護支援事業者会議		
	・災害ボランティア会議		
	・会報発行・準会員会報発行		
	・会館有効活用		
	・各種ボランティア活動		
	・卒後臨床研修制度への対応		
	・保険改正等への的確な事務的対応		
	・事務機能の合理化		
	・日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨		
	・専門学校との情報交換		
	・会HPの充実		
	・「人体の不思議展」の後援		
	・日整マーク使用申請書作成		
	・創立60周年・社団設立30周年記念誌発行		



平成20年当時執行部



車椅子マラソンでのスポーツトレーナー活動

（過去の創立記念誌より転載したもの）

平成20年度の主な記録

(2008年)

平成20年 4月15日	会計監査	大熊	分
4月10日	九州ブロック会学術部長会	大熊	本
	大分県柔道大会・九州ブロック会柔道大会選手選考会	大熊	分
4月22日	大分市保健所竣工記念式典	大熊	分
4月26日	理事会・顧問・役員・相談役合同会議	大熊	分
4月27日	平成20年度通常総会	大熊	分
5月9日	九州ブロック会柔道第1回柔道強化練習（第2回5.23 第3回6.21）	大熊	分
5月10日	九プロ理事会・生涯学習部会・保険部会	大熊	本
5月11日	第32回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	熊佐	本
5月16日	清家政宏会員葬儀	佐伯	伯
5月17日	第2回大阪ブロック学会並びに前夜祭	大佐	阪
5月25日	全国障がい者スポーツ大会リハーサル大会の見学	大佐	伯
5月27日	「整骨院・接骨院のしおり」「入会案内」作成、送付	大佐	分
6月1日	全国介護保険担当者会議	大東	京
6月8日	日整通常代議員会・通常総会	大東	京
6月27日	九州ブロック会理事会	熊本	本
6月28日・29日	第37回日整九州ブロック会熊本大会	熊本	山
7月6日	岡山県社団設立30周年記念式典	岡大	山
7月11日	県警交通課へ	岡大	分
7月20日	鍼灸マッサージまつり	大別	分
7月21日	池田京二先生の厚生労働大臣表彰受賞を祝う会	大別	府
7月23日	新公益法人制度に関する説明会	大別	分
7月27日	学術研修会	大別	分
8月10日	平成20年度「健康柔体操、指導者講習会」	大東	京
8月24日	第4回大分県整骨旗争奪少年柔道大会	大東	分
	第17回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会選考会		
8月24日	九州ブロック会広報部会	福東	岡
9月3日	全国会長会	福東	京
9月5日	日整少年柔道大会第1回合同練習（第2回9.17）	福東	分
9月12日	第8回全国障がい者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」 における第4回競技付帯サービス運営検討会	大佐	分
9月17日	障がい者スポーツ大会の打合せ	大佐	分
9月21日	学術研修会	大佐	賀
9月24日	大整介護センター業務改善会議	大佐	分
9月25日	平成20年度第2回学会評議員会	大東	京
9月27日	第63回国民体育大会（柔道他）	大東	分
9月27日・28日	九州ブロック会・理事会・保険部長会	福佐	岡
10月10日～13日	第8回全国障がい者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」	佐東	伯
10月12日	生涯学習講習並びに都道府県担当者会議・全国会長会議	東京	京
10月13日	文部科学大臣杯争奪第17回日整全国少年柔道大会	東大	分
10月21日	健康柔体操打合せ	東大	分
10月24日	IT委員会	東大	分
10月25日	本会共催テーピング講習会（一般向け）	東大	分
10月26日	学術研修会・大分県柔道整復師会ボウリング大会	東大	分
11月7日	理事会	大	分



健康柔体操

11月13日	平成20年度税務経営実態調査報告会・全国会長会議	東	京
11月16日	臨時総会	大	分
11月23日・24日	第17回日本柔道整復接骨医学会・総会	大	京
12月7日	日整IT担当者会議	東	府
12月7日	要援護者災害救護実地訓練	別	京
12月14日	日整保険部会・各部合同会議	東	分
12月22日	役員保険研修会	大	分
平成21年1月10日	青木敏夫会員葬儀	大	分
1月23日	大分医学技術専門学校講演	大	分
1月24日・25日	九州ブロック会学術部会	鹿	児
1月31日	九州ブロック会理事会	鹿	児
2月1日	林 岩男先生の旭日双光章並びに講道館柔道八段昇段祝賀会	鹿	児
2月11日	学術研修会	大	分
2月16日	平成20年度災害ボランティアセンター運営訓練開催	大	分
2月17日	カルテ検討会・県内論文審査会	大	分
2月20日	通所型介護予防事業（大分市元気はつらつ教室）業務受託事業所 応募説明会	大	分
2月21日	社団設立60周年記念式典並びに祝賀会	埼	玉
2月24日	大整介護業務改善会議 カルテ検討会	大	分
2月26日	理事会	大	分
3月1日	九州ブロック会理事会	福	岡
3月6日	通所型介護予防事業面接	大	分
3月12日	大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3月29日	日整臨時代議員会・臨時総会	大	分
その他	・会報発行・準会員会報発行 ・会館有効活用 ・各種ボランティア活動 ・卒後臨床研修制度への対応 ・保険改正等への的確な事務的対応 ・事務機能の合理化 ・日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・専門学校との情報交換	東	京
	・日整会議(保険部会) ・会HPの充実 ・「めじろん募金」協力 ・「柔道整復学」（日整発行）を県立図書館等へ寄贈 ・ボランティア活動用ポロシャツ製作		



H20.9.27 第63回 国民体育大会大分国体柔道競技



H20.10.13 第8回 全国障がい者スポーツ大会

平成21年度の主な記録

(2009年)

平成21年 4月12日	九州ブロック会学術部長会・論文審査	鹿 児 島
4月15日	会計監査・理事会	大 分
4月25日	理事会・顧問・役員・相談役合同会議	大 分
4月26日	平成21年度通常総会	大 分
5月7日	会員ファックス連絡網整備	大 分
5月9日	九プロ理事会・生涯学習部会・保険部会	熊 本
5月10日	第33回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	熊 本
5月22日	団体保険新規契約（全員）	大 分
5月23日・24日	京都社団法人設立55周年に伴う記念式典及び祝賀会及び夕食会	大 京 都
6月7日	全国介護保険担当者会議	東 京
6月14日	学術研修会・赤十字救急講習会・フォローアップ講習	大 分
6月27日・28日	第38回日整九州学会鹿児島県大会	鹿 児 島
7月4日	新潟国体救護活動研修会にて大分国体情報提供	新 潟
7月5日	鍼灸マッサージまつり	大 分
7月11日	「第5回大分県整骨旗争奪少年柔道大会」第1回実行委員会	別 府
7月20日	第5回大分県整骨旗争奪少年柔道大会	別 府
8月9日	機能訓練指導員認定本講習	福 岡
8月23日	社団法人日本柔道整復師会大阪学会	大 阪
9月4日	日整少年柔道大会第1回合同練習（第2回9・18）	大 分
9月5日・6日	九州ブロック広報部長会懇親会・広報部長会会議	福 岡
9月20日	九州ブロック会会長会・保険部長会懇親会	宮 崎
9月21日	九州ブロック会理事会・保険部長会	宮 崎
9月22日	第36回日整親善ゴルフ大会	宮 崎
10月11日	生涯学習講習会・全国会長会	東 京
10月12日	文部科学大臣杯争奪第18回日整全国少年柔道大会	東 京
	第33回日整全国柔道大会	
10月18日	学術研修会（池添先生特別講演）	大 分
	大分県柔道整復師会ボウリング大会	
10月20日	県公益法人説明会	大 分
10月22日	県警訪問（証明書の件）	大 分
11月11日	大整センター経営改善会議	大 分
11月12日・13日	中学柔道指導者講習会	大 分
11月20日	全国会長会	東 京
11月22日・23日	第18回日本柔道整復接骨医学会・総会・協同発表	大 阪
11月24日	理事会（公益法人関係）	大 分
	県市町村災害共済訪問	
11月29日	臨時総会・保険取扱講習会（九州厚生局）	大 分
12月6日	日整IT担当者会議	大 京
平成22年 1月8日	専門学校に講師派遣	大 分
1月23日・24日	九州ブロック会学術部会	鹿 児 島
1月30日	平成21年度県災害ボランティアコーディネーター研修会	大 分
2月6日	九州ブロック会長会	福 岡
2月13日・14日	九州ブロック理事会・宮崎県社団30周年記念式典行事	宮 崎
2月26日	市長村災害共済の条例改正公文書届く	大 分
2月28日	学術研修会・馴松先生特別講演・赤十字一般講習会	大 分

3月3日	平成21年度大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3月4日	大分県学術論文審査会	大	分
3月12日	専門学校優秀卒業生表彰	大	分
3月13日	おおいた減災フォーラム	佐	伯
3月19日	全国会長会	東	京
3月24日	県公益法人集中相談日	大	分
その他	・ 定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・ 居宅介護支援事業者会議 ・ 災害ボランティア会議 ・ 会報発行・準会員会報発行 ・ 会館有効活用（子ども会・スポーツ教室ほか公共活動） ・ 各種ボランティア活動（盲導犬協会への協力含む） ・ 卒後臨床研修制度への対応 ・ 保険改正等への的確な事務的対応 ・ 事務機能の合理化 ・ 事務員就業規則改正作製 ・ 日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・ 専門学校との情報交換	・ 会HPの充実 ・ 日整会議（保険部会7回、選管会議1回） ・ 機能訓練指導員認定本更新（52名） ・ 施術録の改良・作成 ・ 健保連並びに各組合との意見交換 ・ 広報誌「整骨“夢”おおいた」創刊	



H 21.4.26 総会風景



H 21.6.14 夏季学術研修会



H 21.10.18 秋季学術研修会



H 21.11.29 臨時総会

平成22年度の主な記録

(2010年)

平成22年 4月5日	大整業務改善会議	大	分
4月10日	顧問・相談役・役員合同会議	大	分
4月14日	会計監査・理事会	大	分
4月17日	九州ブロック会学術部長会・論文審査	大	分
4月22日	第1回公益法人認定準備委員会	大	分
4月25日	平成22年度通常総会	大	分
4月28日	理事会	大	分
4月29日	大分県柔道整復師柔道大会（選手選考）	大	分
5月8日	九プロ理事会・生涯学習部会・保険部会	大	分
5月9日	第34回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	大	分
5月18日	日整保険部会	大	分
5月22日	第2回柔道強化練習（6月6日、6月26日）	大	分
5月27日	第6回大分県整骨旗争奪少年柔道大会実行委員会	大	分
6月6日	全国保険部長会議	大	分
6月6日	学術研修会	大	分
6月13日	通常代議員会・通常総会	大	分
6月26日	第28回九州少年柔道大会	大	分
7月4日	第6回大分県整骨旗争奪少年柔道大会	大	分
7月7日	日整保険部会	大	分
7月10日	第33回九州ブロック会柔道大会	大	分
7月25日	首藤傳明先生叙勲受章記念祝賀会	大	分
8月1日	全国介護保険担当者会議	大	分
8月19日	第1回解剖見学実習	大	分
8月22日	保険部会	大	分
8月24日	日整保険部会	大	分
8月28日	(社)日本柔道整復師会第4回大阪学会	大	分
9月3日	日整少年柔道大会第1回合同練習（第2回9・24）	大	分
9月4日	九州ブロック会広報部長会議	大	分
9月19日	第19回日本柔道整復接骨医学会・学術大会	大	分
9月22日	日整保険部会	大	分
9月25日	退任役員慰労会並びに合同会議	大	分
9月29日	公益法人制度に関する各種説明会	大	分
10月10日	生涯学習講習会並びに都道府県担当者会議・全国会長会	大	分
10月11日	文部科学大臣杯争奪第19回日整全国少年柔道大会	大	分
	第34回日整全国柔道大会	大	分
10月23日	第6回大分県整骨旗争奪少年柔道大会会計監査	大	分
10月24日	九州厚生局集団指導会・東京接骨師会保険指導	大	分
10月30日・31日	九プロ保険部長会	大	分
11月13日・14日	(社)大阪府柔道整復師会法人設立50周年記念式典・祝賀会	大	分
11月14日	大分県地震減災、災害時要援護者対策講演会	大	分
11月21日	第19回日本柔道整復接骨医学会主催研修会	大	分
11月23日	臨時総会	大	分
11月25日	日整保険部会	大	分
11月28日	大分県地震減災、災害時要援護者対策講演会	大	分
12月5日	平成22年度大分県災害ボランティア体験型研修会	大	分



第6回大分県整骨旗争奪少年柔道大会

12月19日	日整保険部会	東	京
12月24日	大整介護業務改善会議	大	分
平成23年 1月1日	日整共通レセプト使用開始	大	分
1月26日	全国会長会	東	京
1月29日	平成22年度九プロ学術部会	福	岡
2月4日	九州ブロック会長会	福	岡
2月5日	九州ブロック理事会	石	川
2月20日	学術研修会・学術論文審査会・IT委員会	大	分
	大分県柔道整復師会ボウリング大会	大	分
2月26日・27日	平成22年度大分県災害ボランティアコーディネーター研修会	大	分
3月2日	平成22年度大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3月8日	日整保険部会	東	京
3月11日	専門学校優秀卒業生表彰	大	分
	東日本大震災		
その他	・定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・居宅介護支援事業者会議 ・災害ボランティア会議 ・会報発行・準会員会報発行 ・広報誌“夢おおいた”2号発行 ・会館有効活用 ・各種ボランティア活動 ・卒後臨床研修制度への対応 ・第39回九州学会宮崎大会中止	・保険改正等への的確な事務的対応 ・事務機能の合理化 ・日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・専門学校との情報交換 ・会HPの充実 ・「盲導犬募金」協力 ・日整会議（保険部会）	



H22.8.19 第1回解剖見学実習



H 22.9.19 第19回日本柔道整復接骨医学会学術大会



H 22.10.24 日整役員による研修会



H 22.12.5 大分県災害ボランティア体験型研修会

平成23年度の主な記録

(2011年)

平成23年 4月2日	理事会	大	分
4月9日	会計監査 顧問・相談役・役員合同会議	大	分
4月10日	九州ブロック会学術部長会・論文審査 大分県柔道整復師会柔道大会（選手選考・安全教育・青少年柔道指導教育）	福大	岡分
4月17日	理事会 大分県柔道連盟総会	大	分
4月22日	日整保険部会	大東	京分
4月24日	平成23年度通常総会	大東	京分
4月29日	代議員会臨時総会 (社)日本柔道整復師会萩原正会長を囲んでの東日本大震災被災県激励会	大東	京分
5月7日	九プロ理事会・生涯学習部会・保険部会	大東	京分
5月8日	第35回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	大東	京分
5月10日	厚生局による集団指導会（新入会員、前回欠席者対象）	大東	京分
5月28日	第1回柔道強化練習（6月5日、6月18日） （安全教育・青少年柔道指導教育）	大東	京分
5月28日	第7回大分県整骨旗争奪少年柔道大会実行委員会 （青少年柔道指導教育）	大東	京分
6月2日	九プロ緊急理事会	大東	京分
6月5日	平成23年度夏季学術公開セミナー	大東	京分
6月12日	通常代議員会・通常総会	大東	京分
6月13日	広報部会	大東	京分
6月19日	整骨旗準備会	大東	京分
6月26日	第7回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 （安全教育・青少年柔道指導教育）	大東	京分
7月3日	全国保険部長会議	大東	京分
7月9日	第34回九州ブロック会柔道大会	大東	京分
7月10日	(社)日本柔道整復師会第40回九州学会宮崎大会	大東	京分
7月10日	大分県柔道連盟主催大分県柔道教室 （安全教育・青少年柔道指導教育）	大東	京分
7月20日	ブロック広報部長会議	大東	京分
7月31日	全国介護保険担当者会議	大東	京分
8月6日	第5回日整柔道形講習会（武道必修）	大東	京分
8月18日	第2回解剖見学実習	大東	京分
8月20日	(社)日本柔道整復師会第5回大阪学会	大東	京分
8月30日	日整臨時総会	大東	京分
9月9日	日整少年柔道大会第1回合同練習（第2回 21日） （安全教育・青少年柔道指導教育）	大東	京分
9月10日	九州ブロック広報部長会議	大東	京分
9月25日	茂住延壮先生の旭日双光章受章を祝う会	大東	京分
10月9日	日整学術生涯学習講習会並びに国際部報告会	大東	京分
10月10日	文部科学大臣杯争奪第20回日整全国少年柔道大会 （安全教育・青少年柔道指導教育） 第35回日整全国柔道大会	大東	京分



第7回大分県整骨旗争奪少年柔道大会

	日整全国少年柔道形競技会		
10月15日	九州ブロック理事会	福	岡
10月16日	社団設立60周年・公益社団法人移行設立記念式典及び祝賀会	東	京
10月22日・23日	第20回日本柔道整復接骨医学会学術大会	千	葉
10月30日	機能訓練フォローアップ講習会	大	分
11月5日	第7回大分県整骨旗争奪少年柔道大会会計監査 役員・顧問合同会議	大	分
11月13日	介護予防、機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会	福	岡
11月16日	大分東洋ホテル開業20周年感謝の夕べ	大	分
11月21日	大分県国民健康保険団体連合会設立70周年記念式典	大	分
11月23日	臨時総会	大	分
11月27日	日整臨時総会	大	京
平成24年 1月15日	平成23年度大分県災害ボランティア体験型研修会	大	分
1月22日	(社)福岡県柔道整復師会保険研修会	大	岡
1月26日	大分県地域防災計画に係る関係者説明会	大	分
1月28日	九州ブロック会学術部長会議	大	岡
1月28日	大分県柔道連盟新年会	大	分
2月4日・5日	九州ブロック理事会・九プロ会長会・保険部長会	大	岡
2月12日	大分県柔道連盟職域会議	大	分
2月19日	平成23年度春季学術公開セミナー 大分県柔道整復師会ボウリング大会	大	分
2月27日	九プロ会長会	大	岡
3月3日・4日	平成23年度災害ボランティアコーディネーター研修会	大	分
3月8日	平成23年度大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3月9日	大分医学技術専門学校優秀卒業生表彰	大	分
3月25日	全国会長会	大	京
3月25日	県柔連支部職域事務局長会議	大	分
3月31日	九プロ学術部会	福	岡
その他	・ 定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・ 居宅介護支援事業者会議 ・ 災害ボランティア会議 ・ 会報発行・準会員会報発行 ・ 広報誌“夢おおいた”3号発行 ・ 会館有効活用 ・ 各種ボランティア活動 ・ 卒後臨床研修制度への対応	・ 保険改正等への的確な事務的対応 ・ 事務機能の合理化 ・ 日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・ 専門学校との情報交換 ・ 会HPの充実 ・ 「盲導犬募金」協力 ・ 第41回九州学術大会大分大会事前会議	



平成23年度春季
学術公開セミナー
参加会員



H 23.6.5 赤十字救急法講習



H 23.10.23 第20回日本柔道整復接骨医学会学術大会

平成24年度の主な記録

(2012年)

平成24年 4月3日	九州学会関連会議	大	分
4月7日	会計監査	大	分
	顧問・相談役・役員合同会議		
4月8日	保険指導会・理事会	大	分
	九州ブロック会柔道大会選手選考会		
4月22日	平成24年度通常総会	大	分
5月19日	九州ブロック会理事会・生涯学習部会	大	本
5月20日	第36回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	熊	本
5月26日	第8回大分県整骨旗争奪少年柔道大会実行委員会 (青少年柔道指導マニュアル)	熊	本
5月29日	厚生局による集団指導	大	分
6月5日	協同組合創立総会	大	分
6月9日	穴井隆将選手のロンドンオリンピック柔道100kg級出場壮行会	大	分
6月10日	平成24年度夏季学術公開セミナー	大	分
6月24日	通常代議員会・通常総会	大	京
7月1日	第8回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 (安全教育・青少年柔道指導教育)	大	分
7月8日～14日	九州北部豪雨災害ボランティア	中	津
7月15日	第35回九州ブロック会柔道大会	大	分
7月16日	公益社団法人日本柔道整復師会 第41回九州学会大分大会	大	分
7月28日	九州ブロック会保険部会		
7月28日	日整少年柔道大会第1回合同練習(第2回22日) (安全教育・青少年柔道指導教育)	福	岡
7月29日	九州ブロック会保険部会	大	岡
8月21日	第3回解剖見学実習	大	分
8月26日	中学校武道必修化に向けた日整柔道指導者講習会	大	京
8月28日	大分県スポーツ学会運営専門委員会	大	分
9月1日	九州ブロック会広報部長会議	福	岡
9月8日	役員会	大	分
9月22日・23日	公益社団法人北海道柔道整復師会会創立80周年 公益社団法人設立記念式典・祝賀会及び懇親会 記念式典・祝賀会	北	海
9月25日	協同組合設立	大	分
9月30日	全国保険部長会	大	京
10月7日	日整学術生涯学習講習会並びに国際部報告会	大	京
10月8日	文部科学大臣杯争奪第21回日整全国少年柔道大会 (安全教育・青少年柔道指導教育)	大	京
	第36回日整全国柔道大会		
	日整全国少年柔道形競技会		
10月13日	九州ブロック会理事会	福	岡
10月18日	大分県スポーツ学会運営専門委員会	大	分
10月23日	保険部会	大	分
10月27日・28日	日本社会医療学会	大	崎
11月17日・18日	公益社団法人 日本柔道整復師会 第6回大阪学会並びに夕食会	大	阪
11月24日	第21回日本柔道整復接骨医学会	福	岡



九州北部豪雨
災害ボランティア活動

11月29日	国保連合会との事務打ち合わせ	大	分
12月 1 日	第 8 回大分県整骨旗争奪少年柔道大会会計監査 役員、顧問合同会議	大	分
12月 2 日	臨時総会	大	分
12月23日	第 4 回大分県スポーツ学会学術集会	大	分
	大分県スポーツ学会運営専門委員会	大	分
平成25年 1 月26日	坂本正光顧問告別式	大	分
1 月26日	第22回福岡県生涯学習研修会	大	分
1 月27日	九州ブロック会学術部長会議	大	分
2 月 2 日・3 日	九州ブロック会理事会・会長会・保険部長会	大	分
2 月12日	大分県スポーツ学会運営専門委員会	大	分
2 月16日	学術セミナー講師との事前打ち合わせ	大	分
2 月17日	平成24年度春季学術公開セミナー	大	分
	大分県柔道整復師会ボウリング大会	大	分
2 月25日	アリーナ会議	大	分
3 月 2 日	平成24年度災害ボランティアコーディネーター研修会	大	分
3 月 8 日	大分医学技術専門学校優秀卒業生表彰	大	分
3 月13日	公益社団法人関連 大分県知事答申	大	分
3 月14日	大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3 月22日	公益社団法人関連 認定書受理	大	分
3 月23日	全国会長会	大	分
3 月24日	日整社団設立60周年記念式典・祝賀会	大	分
3 月29日	九州ブロック会会長会	大	分
3 月30日	総会前理事会	大	分
その他	・ 定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・ 居宅介護支援事業者会議 ・ 災害ボランティア会議 ・ 会報発行・準会員会報発行 ・ 広報誌“夢おおいた”4号発行 ・ 会館有効活用 ・ 各種ボランティア活動 ・ 卒後臨床研修制度への対応 ・ 保険改正等への的確な事務的対応 ・ 事務機能の合理化	 平成 24 年度春季学術 公開セミナー ・ 日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・ 専門学校との情報交換 ・ 会HPの充実 ・ 「盲導犬募金」協力 ・ 日整会議（保険部会）	



平成24年度春季学術
公開セミナー



H 24.7.16 第41回九州学術大会
大分大会特別講演 田淵健一先生



大分大会研究論文発表者一同

平成25年度の主な記録

(2013年)

平成25年 4 月 6 日	会計監査	大	分
	顧問・相談役・役員合同会議	大	分
4 月 7 日	九州ブロック会柔道大会選手選考会	大	分
4 月13日	日整九州学術大会応募論文審査会議	福	岡
4 月14日	九州ブロック会学術部会	福	岡
4 月21日	平成25年度定時総会	大	分
5 月 2 日	規程検討会議・保険部長会議	大	分
5 月11日	九州ブロック会理事会、研修指導会	福	岡
5 月18日	九州ブロック会理事会	福	岡
5 月19日	第37回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	熊	本
6 月 1 日	大分県柔道連盟臨時会議	大	分
6 月 3 日	大分県スポーツ学会会議	大	分
6 月 9 日	平成25年度夏季学術セミナー、IT委員会、実行委員会	大	分
6 月14日	九州ブロック会臨時理事会	大	分
6 月23日	通常代議員会・通常総会	福	岡
6 月25日	保険担当者会議	東	京
	市町村災害ボランティアネットワーク会議（豊肥）	大	分
6 月28日	九州ブロック会会長会	竹	田
	市町村災害ボランティアネットワーク会議（北部）	福	岡
6 月30日	保険部会及び合同部会	宇	佐
7 月 5 日	市町村災害ボランティアネットワーク会議（西部）	東	京
7 月 9 日	アリーナ会議	日	田
	市町村災害ボランティアネットワーク会議（中部）	別	府
7 月12日	市町村災害ボランティアネットワーク会議（東部）	大	分
7 月14日	穴井隆将選手の平成25年全日本柔道選手権大会優勝祝賀会	大	分
7 月21日	第9回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 （安全教育・青少年柔道指導教育）	大	分
7 月27日	第36回九州ブロック会柔道大会	福	岡
7 月28日	公益社団法人日本柔道整復師会第42回九州学術大会福岡大会	福	岡
8 月 3 日・4 日	第7回日整柔道形講習会	福	岡
8 月 4 日	第5回健康柔体操指導者養成講習会	東	京
8 月27日	第4回解剖見学実習	東	京
8 月31日・9 月 1 日	九州ブロック会保険部長会議	大	分
9 月 7 日	日整少年柔道大会第1回合同練習 保険会議・大整業務改善会議	大	分
9 月18日	柔道整復施術担当者の集団指導	大	分
10 月 6 日	全国保険部長会議	大	分
10 月11日	記念式典会場下見	大	分
10 月13日	平成25年度公益社団法人日本柔道整復師会学術講習会・ 生涯学習講習会	東	京
10 月14日	第22回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会	東	京
	第37回日整全国柔道大会	東	京
10 月24日	九州ブロック会会長会	福	岡
10 月26日	日本社会医療学会	宮	崎
11 月 2 日	財団法人設立25周年記念特別講演会・式典及び祝賀会	東	京



第4回解剖見学実習
参加会員

11月9日	第7回大阪学術大会	大	阪
	九州ブロックOB会	佐	伯
11月13日	第9回大分県整骨旗争奪少年柔道大会会計監査	大	分
11月16日	顧問・相談役・役員合同会議	大	分
11月19日	独立行政法人日本スポーツ振興センター、学校安全運営会議	大	分
11月23日	第22回日本柔道整復接骨医学会学術大会懇親会	大	京
11月24日	第22回日本柔道整復接骨医学会学術大会	東	京
11月28日	大分県スポーツ学会会議	大	分
11月30日	九州ブロック会理事会並びに懇親会	福	岡
12月1日	臨時総会	大	分
12月3日・9日	記念式典打ち合わせ	大	分
12月13日	記念式典・祝賀会第1回実行委員会	大	府
平成26年1月18日	記念式典打ち合わせ会議	別	府
1月24日	九州ブロック会会長会	福	岡
1月25日	九州ブロック会学術部長会議	福	岡
1月26日	大分県災害ボランティア体験型研修会	大	分
2月1日・2日	九州ブロック理事会・九プロ会長会・保険部長会	福	岡
2月8日	日整保険部長との保険勉強会	大	分
2月9日	公益社団法人移行・協同組合設立記念式典並びに祝賀会	大	府
3月6日	平成25年度大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3月7日	大分医学技術専門学校優秀卒業生表彰	大	分
3月19日	九州ブロック会広報部Web会議	九	州
3月23日	全国会長会	東	京
3月27日	経理会議	大	分
その他	・定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・居宅介護支援事業者会議 ・災害ボランティア会議 ・会報発行・準会員会報発行 ・広報誌“夢おおいた”5号発行 ・公益社団法人移行・協同組合設立記念誌発行 ・会館有効活用 ・各種ボランティア活動 ・卒後臨床研修制度への対応 ・保険改正等への的確な事務的対応	・事務機能の合理化 ・日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・専門学校との情報交換 ・会HPの充実 ・「盲導犬募金」協力 ・日整会議（保険部会）	



大分県災害ボランティア体験型研修会



H 25.4.21
平成 25 年度通常総会（トキハ会館にて）



H 26.2.9
公益社団法人移行・協同組合設立記念式典
（ホテル白菊）

平成26年度の主な記録

(2014年)

平成26年 4月3日	平成26年度第1回常任理事会	大分
4月12日	日整九州学術大会応募論文審査会並びに勉強会	福岡
4月13日	平成26年度大分県柔道連盟総会	大分
4月19日	九州ブロック会会長会	福岡
4月26日	会計監査 顧問・相談役・役員合同会議	大分
4月27日	九州ブロック会柔道大会選手選考会	大分
5月17日	九州ブロック会理事会	福岡
5月18日	第38回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	熊本
5月25日	平成26年度定時総会	大分
6月22日	日整通常総会	東京
6月29日	夏季学術公開セミナー	大分
7月5日	九州ブロック会柔道激励会 第43回北海道学術大会札幌大会	北海道
7月11日	日整理事、保険部長会	東京
7月11日	神奈川県柔道整復師会会長通夜	神奈川
7月20日	第37回日整九州ブロック会柔道大会	佐賀
7月21日	公益社団法人日本柔道整復師会第43回九州学術大会佐賀大会	佐賀
7月27日	第10回大分県整骨旗争奪少年柔道大会	中津
8月27日	第5回解剖見学実習	大分
8月28・29日	事務局ソフト入れ替え	大分
9月6日	日整少年柔道大会第1回合同練習	大分
9月20・21日	九州ブロック会保険部長会議	福岡
9月23日	吉田充孝会長「お別れの会」	神奈川
9月26日	九州ブロック会広報部長会議 web会議	九州
9月28日	秋季学術講習会 機能訓練フォローアップ講習会	大分
9月30日	九州ブロック会会長会	福岡
10月3日	柔道整復師施術担当者の集団指導	大分
10月5日	全国保険部長会議	東京
10月12日	平成26年度公益社団法人日本柔道整復師会学術講習会・生涯学習講習会	東京
10月13日	第23回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会 第38回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会	東京
10月17日	九州地域ヘルスケアビジネス推進フォーラム	福岡
10月18日・19日	第15回日本社会医療学会	宮崎
11月8日・9日	第8回大阪学術大会	大阪
11月15日	顧問・相談役・役員合同会議	大分
11月22日	九州ブロック会理事会	福岡
11月29・30日	第23回日本柔道整復接骨医学会学術大会	東京
12月7日	臨時総会	大分
平成27年 1月23日	九州ブロック会会長会	福岡
1月24・25日	九州ブロック会学術部会	福岡
1月25日	大分県災害ボランティア体験型研修会	大分
1月31日・2月1日	九州ブロック会保険部会 九州ブロック会理事会	福岡



穴井隆将先生による
柔道教室（第10回大会）

2月21日	松岡保氏「藍綬褒章」受章祝賀会	福	岡
2月22日	日本柔道整復接骨医学会主催研修会	熊	本
3月8日	春季学術研修会	大	分
3月8日	平成26年度本会ボウリング大会	大	分
3月15日	各職域、地域事務局長会議	大	分
3月22日	全国都道府県会長会	東	京
3月27日	九州ブロック会会長会	福	岡
その他	・定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・日整会議（保険部会） ・災害ボランティア会議 ・各種ボランティア活動 ・会報発行 ・広報誌整骨“夢”おおいた6号発行 ・会HPの充実 ・会館有効活用	・会館補修業者打ち合わせ ・保険改正等への的確な事務的対応 ・事務機能の合理化 ・卒後臨床研修制度への対応 ・日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・専門学校との情報交換 ・「盲導犬募金」協力	



H26.5.25 平成26年度定時総会風景



H26.7.27 第10回大分県整骨旗争奪少年柔道大会



H26.11.29
第23回日本柔道整復接骨医学会学術大会 参加会員



H26.12.7 平成26年度臨時総会風景

平成27年度の主な記録

(2015年)

平成27年 4月11日・12日

	日整九州学術大会応募論文審査会並びに学術部会	福	岡
4月19日	大分県柔道連盟総会	大	分
4月25日	顧問・相談役・役員合同会議	大	分
	九州ブロック会柔道大会選手選考会	大	分
	少年柔道指導者講習会		
5月6日	会計監査	大	分
5月10日	第36回大分県少年柔道錬成大会	大	分
5月16日	協会けんぽ保険部会	大	分
5月17日	第39回日整九州ブロック会親善ゴルフ大会	熊	本
5月24日	平成27年度定時総会	大	分
5月28日	中央会創立60周年記念式典	大	分
5月30日	九州ブロック会理事会	福	岡
6月21日	夏季学術公開セミナー	大	分
6月25日	九州ブロック会会長会	福	岡
6月28日	日整通常総会	東	京
7月2日	日整 各部会及び合同部会懇親会開催	大	分
7月3日	障がい者支援 現在国際・巨匠・絵画展、前夜祭	北	海
7月5日	公益社団法人日本柔道整復師会 第44回北海道学術大会札幌大会	中	津
7月19日	第11回大分県整骨旗争奪少年柔道大会	福	岡
8月1日・2日	機能訓練指導員、認定柔道整復師基礎講座	福	岡
8月9日	厚生労働大臣杯争奪第38回日整九州ブロック会柔道大会	大	分
8月16日	全日本柔道連盟公認指導者資格C指導員養成更新講習会	大	分
8月23日	第9回大阪学術大会	大	分
8月25日	第6回解剖見学実習	大	分
9月3日	九州ブロック会会長会	福	岡
9月5日	日整少年柔道大会第1回合同練習	大	分
9月13日	マイナンバー講習会	大	分
9月26日	原 健先生「偲ぶ会」	大	京
9月27日	公益社団法人日本柔道整復師会第40回近畿学会京都大会	京	都
9月29日	厚生局集団指導	大	分
10月8日	平成27年度独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議	大	分
10月11日	第23回日整全国学術、生涯学習講習会	東	京
10月12日	第24回日整全国少年柔道大会	東	京
	第39回日整全国柔道大会		
10月16日	大分市通所事業所勉強会	大	分
10月24日	第16回日本社会医療学会	宮	崎
11月1日	平成27年度全国保険部長会議	東	京
11月4日	平成27年秋の叙勲伝達式	大	分
11月6日	平成27年秋の叙勲受章拝謁	東	京
11月7日・8日	第24回日本柔道整復接骨医学会学術大会	新	潟
11月14日	九州ブロック会理事会	福	岡
11月15日	(社)大分県鍼灸マッサージ師会創立100周年記念大会	大	分
11月28日	第11回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 会計監査	大	分



第39回日整九州ブロック会
親善ゴルフ大会 準優勝

	顧問・相談役・役員合同会議		
11月29日	臨時総会		
平成28年 1月 8日	九州ブロック会会長会	福	岡
1月17日	平成27年度技術講習会（柔道整復研修試験財団）	福	岡
2月 5日	柔道整復師養成学校在校生に対する業界説明会	大	分
2月 7日	平成27年度春季学術公開セミナー	大	分
	平成27年度大分県柔道整復師会ボウリング大会		
2月13日・14日	九州ブロック会学術部長会議	福	岡
2月21日	清田洋一先生「旭日双光章」受章祝賀会	大	分
2月27日・28日	九州ブロック会会長、保険部長会議	福	岡
3月 5日	公益社団法人日本柔道整復師会第44回九州学術大会沖縄大会	沖	縄
3月13日	大分県柔道連盟 各戦域、地域事務局長会議	大	分
3月17日	平成27年度大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会	大	分
3月27日	全国都道府県会長会	東	京
その他	・ 定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・ 日整会議（保険部会） ・ 災害ボランティア会議 ・ 各種ボランティア会議 ・ 会報発行 ・ 広報誌整骨“夢”おおいた7号発行 ・ 会HPの充実 ・ 会館有効活用	・ 保険改正等への的確な事務的対応 ・ 事務機能の合理化 ・ 卒後臨床研修制度への対応 ・ 日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・ 専門学校との情報交換 ・ 「盲導犬募金」協力 ・ 会館補修工事	



H27.5.24 平成27年度定時総会 参加会員



H27.11.7
第24日本柔道整復接骨医学会学術大会 参加会員



H27.11.29 平成27年度臨時総会会場 清掃風景



H28.3.5 第44回九州学術大会沖縄大会 参加会員

平成28年度の主な記録

(2016年)

平成28年 4月14日、16日	熊本大分地震		
4月16日	平成28年度大分県柔道連盟理事会総会	大	分
4月23日	顧問・相談役・役員合同会議		
	九州ブロック会柔道選手選考会		
	第12回大分県整骨旗争奪少年柔道大会 第1回実行委員会	大	分
	社団会計監査		
	熊本大分地震災害ボランティア活動会議		
4月24日～29日	熊本大分地震災害ボランティア活動	熊	本
5月14日	九州ブロック会理事会	福	岡
5月17日	日整工藤会長・豊嶋総務部長来県（地震関連）	大	分
5月22日	定時総会	大	分
6月12日	平成28年度夏季学術公開セミナー	大	分
6月26日	日整通常総会	東	京
7月2日・3日	公益社団法人日本柔道整復師会 第45回北海道学術大会札幌大会	北	海
7月17日	第12回大分県整骨旗争奪少年柔道大会	中	津
7月24日	第32回はり灸マッサージふれあいフェスタ	大	分
7月27日	平成28年度加盟競技団体スポーツ医科学活用連絡協議会	大	分
7月30日	厚生労働大臣杯争奪第39回九州ブロック会柔道大会 優勝	長	崎
7月31日	公益社団法人日本柔道整復師会第45回九州学術大会長崎大会	長	崎
8月21日	公益社団法人日本柔道整復師会 第10回大阪学術大会	大	阪
8月25日	九州ブロック会会長会	福	岡
8月30日	法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査	大	分
9月16日	柔道整復施術担当者の集団指導	大	分
9月18日	大山時彦先生・旭日双光章受章ならびに帰一賞受賞祝賀会	大	宮
9月25日	公益社団法人日本柔道整復師会 第35回東京学術大会	東	京
9月28日	第7回解剖見学実習	大	分
10月8日	第24回日整全国学術・生涯学習講習会	東	京
10月9日	第25回日整全国少年柔道大会		
	第6回日整全国少年柔道形競技会	東	京
	第40回日整全国柔道大会		
10月23日	社団法人設立65周年公益社団法人設立5周年記念式典及び祝賀会	東	京
10月29日	日本社会医療学会第17回学術大会	宮	崎
11月3日	平成28年度全国保険部長会議	東	京
11月19日	第25回日本柔道整復接骨医学会学術大会	宮	城
11月22日	日本伝統治療（柔道整復術）普及事業祝賀会	大	分
	第12回大分県整骨旗争奪少年柔道大会会計監査		
11月23日	臨時総会	大	分
	顧問・相談役・役員合同会議		
11月27日	萩原正和先生藍綬褒章受章祝賀会	北	海
11月30日	九州ブロック理事会	福	岡
12月5日	平成28年度第2回加盟競技団体スポーツ医科学活用連絡協議会	大	分
平成29年 1月14日	国保公的審査委員会審議検討会	大	分
1月18日	柔道整復療養費検討専門委員会	東	京
1月21日・22日	九州ブロック会学術部長会議	福	岡
1月29日	保険講習会	熊	本

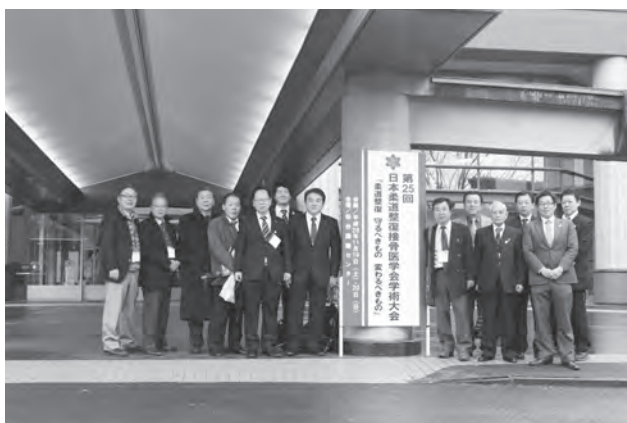
2月4日・5日	九州ブロック会会長会並びに保険部長会議	福	岡
2月8日	業界説明会	大	分
2月11日	平成28年度春季学術研修会	大	分
	平成28年度大分県柔道整復師会ボウリング大会	大	分
2月26日	平成28年度第3回常任理事会（大分県柔道連盟）	大	分
3月4日	九州ブロック会理事会	福	岡
3月5日	第25回福岡県整骨医学会	福	岡
3月6日	子ども医療の件で大分市役所へ	大	分
3月12日	各職域・地域事務局長会議（大分県柔道連盟）	大	分
3月19日	柔道整復師卒後臨床研修指導者のための技術講習会	福	岡
3月26日	全国会長会	東	京
3月28日	保険指導会	大	分
3月30日	九州ブロック会会長会	福	岡
その他	・ 定例理事会・保険部会・公的審査委員会 ・ 日整会議（保険部会） ・ 災害ボランティア会議 ・ 各種ボランティア活動 ・ 会報発行 ・ 広報誌整骨“夢”おおいた8号発行 ・ 会HPの充実 ・ 会館有効活用	・ 保険改正等への的確な事務的対応 ・ 事務機能の合理化 ・ 卒後臨床研修制度への対応 ・ 日整個別機能訓練指導員講習会への参加推奨 ・ 専門学校との情報交換 ・ 「盲導犬募金」協力	



H 28.4.25 会長による救護ボランティア活動風景



H28.5.22 平成28年度定時総会 総会風景



H28.11.19
第25回日本柔道整復接骨医学会学術大会 参加会員



H28.11.23 平成28年度臨時総会 参加会員

「保険部のあゆみ」



保険部長 鎌 田 実 信

保険部の10年をふりかえると、保険業務のめまぐるしい変化に振り回された本当に大変な激動の10年であったと思います。

この間に開業者が毎年のように増加し、本会も平成20年に126名だった会員数も平成28年には174名になっています。

しかし会員数、扱い件数は増えているものの個々の施術所の収益はかなり減少しており大変厳しい現状となっています。

他団体を含め開業整復師の異常な増加はもちろんであるが、保険者や審査代行業者による患者照会等に伴う申請書の返戻が状況を尚悪化させています。

これを真摯に受ける事もせず、交通事故の自賠責保険や外傷性以外のものに重点を置く施術所も多くなり、協定外の施術内容や過激な患者獲得の手段が問題視される様になりました。

この様な状態が続く中、平成28年10月、日整と厚労省との間で料金改定の内容が決まり、骨折・脱臼の整復料や後療料が大幅に上がりました。

この料金設定は「本来の業務をしっかりと念頭に置きなさい」と言う事を意味していると思います。

しかしながら骨折・脱臼は応急処置以外「医師の同意」が必要であり、この同意を得る事が困難となるケースも多く、これがまた取り扱い減少の大きな要因になっているようです。

それも含めて現在に至るまで骨折、不全骨折、脱臼の扱い件数は減り続け、今では全国では全負傷数の僅か0.1%、本県でも0.2%となっている有様です。

しかし、調査の結果、その僅かな中でも骨折・脱臼等を少しでも扱う施術所は急性の捻挫、打撲、挫傷の症例が多い事がわかっています。

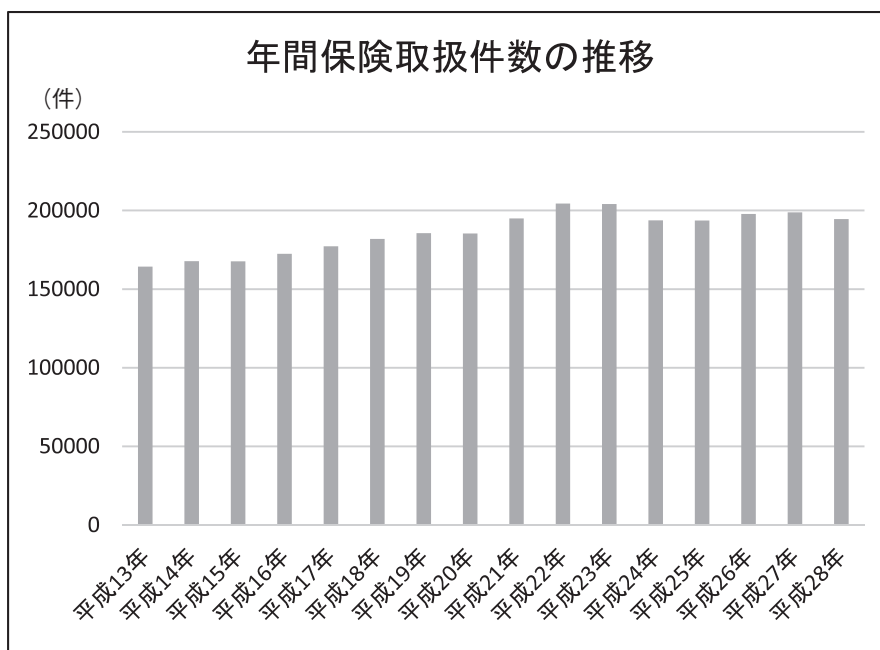
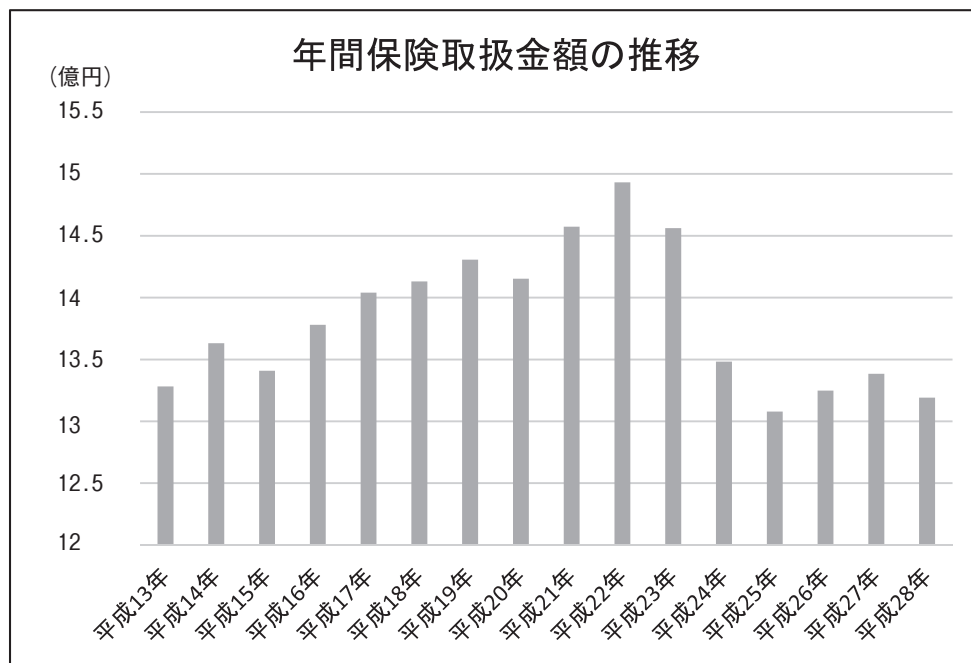
これらを鑑み、急性・亜急性疾患を多く扱い、また柔整業界が末永くその業態を維持していく為には、やはり日整が以前より提唱している「医接連携」を実現していくしかないと考えます。

特に臨床整形外科との関係は重要で、まず「連携」を作る業界相互の関係環境を早急に構築しなければならないと思っています。

柔整の技術を医療の一部として活用して頂ければ、医科の手の届かない事を補完するという役目を大いに担う事になるのではと思います。

今後、日整を中心に一丸となって諸問題に取り組み、次の世代へこの素晴らしい伝統医療が引き継がれます様、皆様のご協力を切にお願い致します。

過去 15 年間の保険取扱の推移



大分県柔道整復師会 創立 70 周年を迎えて

学術部長 安 東 鉄 男



大分県柔道整復師会創立 70 周年を迎え、長年にわたり柔道整復術や柔道等を通し地域の発展と住民の健康に貢献される傍ら、学術及び技能の研鑽を積まれてきた業界の先達や関係の皆様にご心より敬意を申し上げます。

学術関係のこの 10 年の歩みを振り返り、主な活動を列挙したいと思います。

例年の日本柔道整復師会九州学術大会や日本柔道整復接骨医学会において多数の本県会員の発表がありました。さらに平成 24 年に大分市で開催した第 41 回九州学術大会大分大会において田淵整形外科クリニック院長で東京有明医療大学客員教授の田淵健一先生による「足関節捻挫～足関節ねんざの新しい考え方」と題しての特別講演、ポスター特別展示（講演）として大分大学名誉教授の島田達生先生が「大分が生んだ 3 人の偉大な医学者」と題して前野良沢、三浦梅園、田原 淳を紹介しました。

また、例年の研修会では、県内の著名な整形外科医の先生方による講演および救急法講習会等を行っています。

活動の中でも特筆すべきは、大分大学医学部生体構造医学講座の先生方のご厚意により、平成 22 年から毎年、人体解剖見学を行っていることであります。運動筋骨系、内臓器系、血管・神経系のモデル体に、約 10 名を 1 組とし合計 4 組をローテーションで丁寧に解説していただいております。実習は肩関節や膝関節の構築および神経・血管の走行をより鮮明に知らしめました。人体のしくみを深く理解することで、治療法の改善や健康寿命の増進に役立っております。毎年、県内外から約 40 名の会員の参加もあり、参加人数の調整が必要なほど盛況であります。

このように充実した学会活動や研修会を開催する一方、日本柔道整骨接骨医学会の入会者数や論文の提出数の低迷等があります。将来に向けては、エコーによる画像検査の技能向上と普及、亜急性問題の解決等が、今後の課題であります。

現在、業界を取り巻く環境は厳しくはありますが、学術及び技能の研鑽は医療人としての基本であり、これをさらに発展せしめ、次世代へ継承されることを祈念申し上げます。



第 41 回大分大会での田淵健一先生



第 7 回秋季解剖見学実習参加会員

学術のあゆみ

(昭和23年(1948年)9月から平成29年(2017年)3月までの主な記録)

昭和23年9月19日	実務研究会 講師・衛生部長、医務課長 AM10:00より5時間	
11月19日	柔道整復師会資格試験施行 願書締切日・昭和23年11月15日…保健所へ提出	(大分県)
12月26日	合格証授与	(於 亀川今辨慶整骨院)
昭和24年4月2日	実務講習会	(於 別府市東洋軒)
10月26日	実務講習会	(於 大分市教育会館2F)
昭和25年4月4日	実務講習会	(於 別府市保健所前 大分県農民保養所)
10月13日	実務講習会 (会員86名中整理により22名脱会して64名となる)	(於 大分市旧武徳殿)
昭和26年5月15日	実務講習会 講師・団野県立病院長、永富技官 PM2:30~4:00	(於 大分市労働会館)
10月30日	実務講習会 柔道の講習・祓川一郎	(於 大分市旧武徳殿)
昭和27年4月2日	実務講習会 団野県立病院長講演	(於 大分県農協荘)
10月19日	実務講習会 永富技官講義外	(於 別府市別府保健所2F)
昭和28年5月17日	実務講習会 永富技官の指導により実施	(於 大分市労働会館)
5月24日	実務講習会 鎌田 実「膝蓋骨々折について」	(於 大分市旧武徳殿)
10月18日	実務講習会 講師・県立病院長 団野医学博士外3名	(於 大分市労働会館)
昭和29年4月3日	実務講習会 講師・衛生部長	(於 大分県職員会館)
10月10日	第5回接骨医学会 研究発表者・清田金男「清田式大腿骨々折固定法」	(於 広島市)
11月28日	実務講習会	(於 大分市町村会館)
昭和30年5月8日	実務講習会	(於 別府市浜脇 松葉屋別館)
昭和31年7月17日	保険課共催実務講習会 (PM13:00より保険関係実務講習会)	(於 別府市桜屋旅館)
12月16日	実務講習会	(於 大分県警察会館)
昭和32年4月28日	実務講習会	(於 別府市永田別荘)
11月24日	実務講習会	(於 別府市北町公民館)
昭和33年11月16日	実務講習会	(於 別府市北浜 大平旅館)
昭和34年2月28日	実務講習会 (共済組合との協定内容説明)	(於 別府市下野口公民分館)
昭和35年4月	実務講習会 研究発表者 川辺 孝「上腕骨捻転骨折について」	(於 別府市前田旅館)
12月11日	実務講習会 永富、井手先生による保険講座	(於 別府市大平旅館)
昭和36年11月3日	実務講習会 全日顧問 喜多一雄先生講演、全日常務理事 竹木寅之助先生と懇談会	(於 大分商業会議所)
昭和37年5月27日	実務講習会	

昭和44年 7 月27日	県保険課長 井手先生の保険業務、大分基準局労災補償課長・労災協定の締結と運営の質疑応答 (於 大分県町村会館)
昭和40年 9 月	昭和37年 5 月27日～昭和44年 7 月27日まで7年間、記録等の皆無のため調査不能 実務講習会
昭和45年 1 月25日	研究発表者・川辺 孝「肋骨々折について」 実務研究会 発表者・住吉壽人「橈骨下端骨折の理論と実技」 南 了介「ギブスシーネの作り方実技」 (於 別府市ホテル清風)
10月11日	研究会開催 鎖骨々折の整復及びギブス固定実技 (於 別府市駅前 松野屋旅館)
昭和46年 3 月15日	新入会予定者の指導研修会実施 予定者(福田、北崎、吉成、野仲、建、住吉)
9 月24日	46年度研修会 健保の近況報告並びに技術研修 (於 別府市北浜 大光園)
昭和47年11月25日	第1回九州整骨師会連合会学会開催について協議 (於 別府市観海寺 杉乃井ホテル)
11月26日	学会研究発表者表彰される 川辺 孝「前腕両骨々折整復について」 (於 別府市観海寺 杉乃井ホテル)
昭和48年10月24日	研究会 川辺 孝会員講習及び研究発表 (於 別府市駅前本町 前田旅館)
昭和50年 5 月 2 日	(1)新入会員の研修規定(案)一部修正して決定 (2)新部新設・学術部・部長 西邑伊三郎会員 (於 別府市駅前本町 前田旅館)
5 月25日	学術研究会 発表者・西邑伊三郎会員「基礎医学」 (於 日田市日田信用金庫2F)
10月19日	学術研究会 発表者・西邑伊三郎「上腕骨顆上骨折」 (於 別府市駅前本町 前田旅館)
昭和51年 7 月19日	第5回九州整骨師会連合会総会学会 発表者・西邑伊三郎、助手 金枝、建、坂本の各会員 (於 佐賀県唐津シーサイドホテル)
昭和52年 5 月21日	学術研修会 講師・県保険課長、清水係長、西邑伊三郎 「西日本研修者、指導者養成講習会報告及び日整の研修目的と柔整師の定義について」 (於 大分市荷揚町 東洋軒)
7 月17日	学術研修会 発表者・川辺 孝「上腕骨螺旋状骨折一症例」 五反田邦男「上腕骨々幹部骨折」 他3会員発表 (於 別府市北浜 ホテル清風)
8 月27日・28日	第6回九州整骨師会、昭和会大分大会 (於 別府市北浜 ホテル清風)
10月30日	学術研修会 講師・北出利勝先生 会員発表者「レントゲン線の危険性について」 重石一昭 「低周波ツボ表面療法」外 (於 臼杵市洲崎 臼杵信用金庫本店2F)
昭和53年 2 月25日	学術研修会並びに税務指導 講師・大分中村病院長 (於 大分市大手町3-2-43 中村病院講堂)
4 月 1 日	社団法人大分県柔道整復師会設立 (於 大分市荷揚町 大分県林業会館)
6 月17日	第7回九州整復師会連合会学会 発表者・清田洋一「幼小児の鎖骨々折固定法の一例」 (於 宮崎市)
8 月19日	学術研修会 日整講師 中村利文先生 (於 別府市中央公民館)
11月24日	学術研修会 税務指導研究会、保険取扱い研修会 (於 大分市荷揚町 東洋軒)

昭和54年 2月18日	保険取扱い、税務学術研究会 発表者・手寫重徳「整形外科療法について」 鼻和廣夫「2種の低周波併用による複合波形の試験」 (於 大分市荷揚町 東洋軒)
6月17日	第8回九州整骨師会連合会学会 学術研究発表者 (大分県)住吉幸助「ヘキサライトの上肢各種損傷に対する応用特にX型肩固定帯」 特別講演・(鹿児島)野畑住則、(長崎)中村英昭 大分中村病院 畑田和男医学博士 訪中報告・(熊本)猪原豊隆会長 (於 別府市杉乃井ホテル)
7月28日	学術研修会 発表者・住吉壽人「鎖骨々折について」 五反田邦夫「苦心した上肢骨々折」 鎌田 実「大腿骨々折について」 特別講演・講師 日本超音波工業会長 岩井利康先生 (医学博士) 時局講演会開催・参議院議員 後藤正夫先生 (於 別府市ホテル清風)
10月12日	九連学術部長会議 大分県学術部長 清田洋一出席 (於 福岡市九連事務所)
昭和55年 2月20日	九連学術部長会議 大分県学術部長 清田洋一出席 (於 福岡市九連事務所)
6月22日	第9回九州整骨師会連合会学会 研究発表者・大分県 金枝徳広「第1中手骨基底部斜骨折の介達牽引固定法による治験例」 (於 福岡市 ニューオータニ博多)
10月19日	学術研修会開催 研究発表者・末広修司会員「橈骨々折の整復法」他数名 (於 別府市中央町 亀ノ井ホテル)
昭和56年 2月22日	学術研修会開催 講師・和才理学博士「九州リハビリ大学教授」 (於 大分市東洋軒)
6月14日	学術研修会 研究発表者・鎌田 実「整復牽引器について」 (於 大分市大分県林業会館)
6月21日	第10回九州整骨師会連合会長崎学会 研究発表者・鎌田 実「鎌田式整復牽引器について」 (於 長崎市)
9月13日	学術研修会開催 会員研究発表・桑原次夫・手寫重徳による発表実技 重石一昭、発表鎌田 実による牽引器の説明 その他2社による商品説明 (於 臼杵市洲崎 臼杵信用金庫)
10月25日	日本柔道整復学会 学会発表者・(大分県)鎌田 実「鎌田式牽引器について」 (於 神奈川県県民会館)
昭和57年 2月21日	学術研修会並びに保険取扱い研修会 会員研究発表者・末広修司「運動療法と体のアライメント」 鼻和廣夫「腰痛あれこれ」 (於 別府市北浜 ホテル望海)
5月23日	明柔会、学術研究発表会 鎌田 実「垂直牽引について」 吉成隆治「鎌田式牽引整復器による利用実技」 (於 別府市北浜 ホテルニューツルタ)
7月11日	学術研究会 講師・柏木秀之先生「テーピングの基本と具体的使用法について」 石橋富司先生「新しいキャスト・プリントン80について」 (於 大分市大分県林業会館)

昭和58年 5 月15日	学術研究会 発表者・清田洋一「小児の外傷性股関節脱臼の一症例」他数名 (於 大分市大分県林業会館)
7 月24日	学術研究会の開催 会員研究発表者 末広修司「下腿骨々折の偽関節」 島藤富美雄「陸上競技選手における負傷部位の考察 (I)」 矢黒直義「野球肘のテーピング」 木谷智一「前腕骨々折について」 (於 別府市北浜 ホテル清風)
12月10日	学術研究会 発表者・渡辺了祐「膝の疾患について」 土谷恵一「膝関節捻挫の症状と治療について」 鈴木朝夫「当整骨院に来院する腰部治療例により私見」 (於 別府市ホテル白菊)
昭和59年 3 月25日	学術研修会 講師・日整学術委員 菅原勇勝先生 I B M. KKより派遣「レセプトのコンピューターによる作成について」 (於 別府市中央町 亀ノ井ホテル)
7 月29日	学術研究会 会員研究発表者 清田洋一「顎関節脱臼の整復、一般的な場合」 加藤和信「橈骨下端部の骨折、竹節状骨折、2例その診断と治療」 鎌田実信「肩鎖関節脱臼の考察」 小原範俊「肘関節を構成する骨の年齢による変化」 今村昭紀「スライドの発表と説明」 (於 別府市中央町 亀ノ井ホテル)
昭和60年 1 月27日	学術研修会 講師・大島製作所々長 大島久直氏 「ユニレーザー臨床その他検討」 鼻和広夫「ラジウム鉱石使用による治験例 I」 (於 別府市北浜 ホテル清風)
5 月12日	学術研究会 加藤和信「高年齢者に於ける橈骨下端骨折」(固定法と後療について) 鎌田実信「マレットフィンガー骨折の考察」 鼻和廣夫「ラジウム鉱石使用による治験例 II」 (於 大分市荷揚町 大分県林業会館)
9 月29日	学術研究会 講師・森 剛士(理学療法士)「コールドエアーの使用例」 会員研究発表(テーマ・足部の損傷について) 土谷恵一「足関節捻挫について所見と治験例」 佐保隆司「足部捻挫の一症例」 奥田哲也「足関節捻挫とテーピング」 津崎周治「足関節捻挫の症例報告」 (於 別府市亀ノ井ホテル)
昭和61年 5 月18日	学術研究会 研究発表会員 島藤富美雄「足部の後療について」 奥田哲也「踵骨々折の一症例」 萱嶋 哲「足関節捻挫に於ける一考察」 矢黒直義「足関節について」 小原範俊「背部挫傷の治療経験」 飯田 尊「肋骨々折」

9月13日	今村昭紀「スライド説明」 学術研究会 研究発表会員・今村昭紀「スライド説明」 他数名	(於 大分市城崎町 大分県婦人会館)
11月16日	学術研修会 講師・大分県理学療法士会々長 野上貞夫先生	(於 大分市城崎町 大分県婦人会館)
昭和62年 2月22日	学術研究会並びに保険取扱い指導 研究発表会員 安東常富「野球肩における捻挫起因性について」 奥田哲也「脛骨顆間隆起骨折の一症例」 島藤富美雄「陸上競技選手における負傷部位の考察Ⅱ」 (大分女子高陸上競技部の例) 鎌田実信「上腕骨顆上骨折の持続牽引」 萱嶋 哲「下腿骨々折に於ける螺旋状骨折の整復法及び歩行固定法Ⅰ」 渡辺了祐「仙腸関節捻挫について」	(於 別府市観海寺 杉乃井ホテル)
3月29日	学術研究会 研究発表会員 小原範俊「肩関節運動に於ける肩甲骨の役割」 千房克彦「腰部捻挫（突発性腰痛症）に対する治療法」 佐保隆司「幼児の中へ鎖骨々折の一症例」 帯刀啓貴「低周波による移動治療法」 河野靖久「足関節捻挫の私見」	(於 大分市長浜町 大分商工会館)
5月13日	九州ブロック大会、大分県内学術担当者会議 第16回九州ブロック学会役割分担決定	(於 大分市大分県柔道会館)
6月21日	学術研修会 講師・日本医科工業株式会社々長 小西光久 「レーザー治療器について」	(於 大分市大分商工会館)
7月19日	第16回九州ブロック学会大分大会 発表者・(大分県) 萱嶋 哲「下腿骨々折に於ける螺旋状骨折の整復法及び歩行 固定療法」 特別講演・永富整形外科院長 医学博士 永富整彦先生 「スポーツ整形外科における外傷と障害について」	(於 別府市観海寺 杉乃井ホテル)
9月20日	学術研修会 講師・大分県理学療法士会々長 野上貞夫先生	(於 別府市杉乃井ホテル)
10月25日	第20回日本柔道整復師学会、大分より15名学会に出席	(於 大阪市厚生年金会館)
12月13日	学術研究会 会員研究発表者・藤田孝次「膝関節痛の起因について」 安東常富「スライド・X-Pの読影」 相良英人「母指ベンネット骨折の固定法」 重石一昭「腰痛（滑り症）について治験例」 野田光広「当院に於ける治験例について」	(於 大分市長浜町 商工会館)
昭和63年 5月22日	学術研究会 (株)ダイヤによる固定材料の発表 日健医療器(株)による低周波治療器の説明	(大分県婦人会館)
7月17日	学術研究会 鎌田実信「いわゆる突指について」	(臼杵市公民館)

	安東常富「捻挫とストレス」	
	杉田 壽「厚紙副子固定法」	
	塩井卓広「大腿部挫傷・四頭筋断裂の治験例」	
8月7日	第17回九州ブロック会学会	(福岡市)
10月16日	学術講習会	(コンパルホール)
	加瀬建造先生(全国キネシオテーピング協会会長)	
	「脊柱支柱不定論に基づく治療法」	
	(キネシオテーピング法、クライオ療法などの講演)	
10月23日	第1回日本接骨学会(通算21回)	(仙台市)
平成元年2月19日	学術研究会	(大分県婦人会館)
	北出利勝先生(明治鍼灸大学助教授)	
	「肩膝関節疾患について」	
	河野雅宏「四肢の骨折症例について」	
5月14日	学術研究会	(コンパルホール)
	平木治朗先生(星ヶ丘厚生年金病院理学療法士)	
	「肩関節の傷害に対するアプローチ」	
6月11日	学術研究会	(コンパルホール)
	鎌田実信「冷圧器使用による頸部捻挫の治験例」	
	安東鉄男「柔道特有のスポーツ傷害と外傷及びその予防・肘関節傷害を中心として」	
	清田洋一「人体の構造に関する研究 (1)骨格構造の強度の簡易検査法」	
	武原 誠「上腕骨骨折の整復固定」	
	矢黒直義「X-Pスライド説明」	
6月25日	第18回 九州ブロック会学会	(佐賀県医師会センター)
	安東鉄男・鎌田実信両会員が上記論文を発表	
10月28日	第2回日本接骨学会・総会(通算22回)	(京都)
12月10日	学術研究会	(大分県労働福祉会館)
	安坂静登先生(柔整師、鍼灸師)	
	「光灸療法(温熱療法)」	
	加藤和信「頸部捻挫」	
平成2年5月13日	学術研究会	(コンパルホール)
	研究発表	
	堅田兼實「膝痛の治療について」	
	藤田孝次「腰部痛の分類」	
	首藤文教「柔整領域における大腿部挫傷の一考察」	
	内尾政明「大腿部挫傷について」	
	森山文洋「膝関節捻挫について」	
	講演 北出利勝先生「末梢神経刺激鎮痛法」	
6月17日	第19回 九州ブロック会学会	(那覇市)
8月19日	学術研究会	(大分県看護研修センター)
	研究発表	
	清田洋一「顎関節脱臼の口外整復法について」	
	小串道広「肩関節周囲の損傷」	
	安部幸一路「筋力検査をつかって」	
10月7日	厚生大臣指定柔道整復師講習会・開講式	(大分県婦人会館)
	当日より平成3年2月17日まで計10回に亘り12名の委嘱講師と7名の会員講師により実施された(他に2回補講あり)。	
10月28日	第3回日本接骨学会(通算23回)	(埼玉県大宮市)
	鎌田実信会員発表	
	「シリコン材料利用による大腿部挫傷の圧迫療法」	

平成3年5月26日	学術研究会	(コンパルホール)
	1、研究発表 藤川敏行「姿勢分析と全体性」 清水 薫「リハビリテーションにも使えるスポーツ筋力トレーニング」 伊藤富美男「中高年の頸肩腕痛」 内尾政明「当院の治療法と実技」 2、ソーマダイナミクス及びサーモグラフィの説明及び実技 3、骨・関節の代謝傷害について 4、コンピュータのデモンストレーション (レセプト・ワープロ・青色申告書等の作成)	
6月23日	第20回九州ブロック学会	(長崎市)
9月29日	学術研究会	(コンパルホール)
	1、スパイラル・テーピングの理論と実際 2、整骨院経営セミナー	
平成4年5月17日	生涯教育講演会・学術研究会 講演 情和園園長 土師忠義先生 研究発表 首藤彰典「距骨整復による足部捻挫の治験例」 鼻和廣夫「柔道整復師から見たインフォームド・コンセント」 江藤正男「アキレス腱部分断裂の治療法」 安部幸一路「肩部における軟部組織損傷の一考察（ストレスとの関係）」 飯田 尊「五十肩の運動療法について」 衛藤智恵子「五十肩に於ける運動通電療法」 首藤文教「小児の鑑別を要する股関節痛」 サイトウ医療器・低周波の効果ある使い方	(コンパルホール)
8月1日	第21回九州ブロック学会	(熊本ニュースカイホテル)
9月15日	学術研究会 研究発表 芝崎啓司「スポーツにおける凹足痛」 林宗一郎「下肢痛に対するストレッチ運動の有効性について」 実技研修 鎌田実信学術部長 「副子、湿布、ギプスの作成実技」	(コンパルホール)
12月5・6日	第1回日本柔道整復接骨医学会 西原 清「早期に死に至った筋萎縮性側索硬化症の一症例」	(北とぴあ東京)
平成5年1月31日	学術講演会 武田 功先生(京都大学医療技術短期大学部助教授) 「柔道整復師の現状と今後の課題及び対策」	(ホテル清風)
6月27日	学術研究会 講演 織部和宏先生(織部内科クリニック院長) 「成人病について」 研究発表 武原 誠「膝の固定法の一考察」 利光 正「膝関節の治療」 白川雅章「弾撥指とその周辺筋」 村上俊雄「膝関節損傷(捻挫)の治験例」 清家政宏「膝痛から考える事」 武原修造「膝内障害」 清田洋一「最近の骨折症例」	
7月31日	第22回九州ブロック学会	(鹿児島)
	武原 誠「膝の固定法の一考察」	
12月4日	第2回日本柔道整復接骨医学会	(北とぴあ東京)

平成6年2月20日	武原 誠「膝の固定法の一考察」	
	西原 清「上肢拳上障害の一症例」	
	学術研究会	
6月26日	講演 勘座 充雄先生（日整学術部長）	
	「柔整の現状と将来」	
	学術講座	
	1. コンピューターを使つての記帳の仕方	
	2. 「細胞学からみた治療」中村仁四郎先生	
	3. 「光線治療理論」日健医療(株)担当者	
	講演会・学術研修会	(コンパルホール)
	講演 岩田利彦（株式会社サンメディカル社長）	
	「接骨院経営の将来展望とそのハウツー」	
	研究発表	
7月23日	加藤和信「スリッパ式ヒール板による下肢の肉離れの治験例」	
	清水 薫「ボクシングの試合で使用するエンスウエル（腫れ止め金具）の効果」	
	千房克彦「足反射区の治療法について」	
	野田光広「斜角筋の負傷による寝違いに対するスパイラルテープ」	
	伊藤富美男「私の提言」	
	第23回九州ブロック会学会	(宮崎)
	加藤和信「スリッパ式ヒール板による下肢の肉離れの治験例」	
	11月26日 第3回日本柔道整復接骨医学会	(大阪国際交流センター)
	加藤和信「スリッパ式ヒール板による下肢の肉離れの治験例」	
	平成7年2月19日 学術研究会	(県生涯教育センター)
6月25日	講演 千賀富士敏先生（伊藤超短波株式会社メディカル事業部長）	
	「正しい電気生理学に基づいた新しい物理療法について」	
	第24回九州ブロック会学会	(日出町)
	西原 清「肩板不全断裂に対する保存療法の考察」	
	8月20日 学術研修会 会員発表	(コンパルホール)
	藤川敏行「骨盤を出発点に」	
	手寫重徳「外傷性膝蓋骨脱臼」	
	千房克彦「微弱電流治療器の治療効果について」	
	林宗一郎「マジックベルトでの固定法について」	
	友松義治「寒冷鎮痛療法について」	
10月22日	森山文洋「上腕骨顆炎（外側）における一考察」	
	花田秀昭「経験した下腿骨骨折」	
	山内 一「登山における傷病」	
	学術講演会	(ニューツルタホテル)
	輿水昌一先生（こしみず接骨院院長）	
	「明日から即実践できる低周波治療」	
	12月9日 第4回日本柔道整復接骨医学会	(北とぴあ東京)
	重石一昭「腰椎分離症の痛みに対する超音波療法の効果」	
	西原 清「肩板不全断裂に対する保存療法の考察」	
	平成8年1月28日 第4回西日本理学療法研究会	(コンパルホール)
3月20日	鎌田実信学術部長が講演	
	「橈骨下端骨折及び上腕骨外側上顆炎へのアプローチ」	
	学術研究会	(皇輝堂治療センター)
	特別講演会 衛藤晟一先生	
	「国会の社会部会における柔整関係について」	
	学術セミナー 清水純一先生	
	7月25日 第25回九州ブロック会学会	(福岡市)

8月25日	学術研究会	(大分商工会館)
	加藤和信会員(ソニーアスレチックトレーナー資格者)を講師に 「基礎テーピングの実技と柔整応用テーピング」の研究会	
平成9年6月15日	学術研修会	(ビーコンプラザ)
	講演 阿南 盛先生(前国保連合会局長) 「保険制度の将来について」	
	会員発表	
	園田 洋「上腕二頭筋長頭腱の障害(投球動作による)について」	
	堅田兼實「心が身体をだめにする」	
	江藤正男「アキレス腱断裂の治療例と考察」	
	鼻和廣夫「スポット型近赤外線治療器の口中照射の経験」	
	古長三恵一「足部の趾骨脱臼の治療経験」	
	吉成 章「肩関節周囲炎(五十肩)」	
	前川羊介「膝の内側側副靱帯損傷での一考察」	
7月13日	第26回九州ブロック会学会	(唐津ロイヤルホテル)
11月29日	第6回日本柔道整復接骨医学会	(幕張メッセ)
平成10年6月13日	学術研修会	(大分県総合社会福祉会館)
	帯刀啓貴会員「温罨法・冷罨法について」	
	堅田兼實会員「手技の考え方と仙腸関節の整復方法」	
6月27日	第27回九州ブロック会学会	(那覇市)
	加藤和信会員「肩の機能的運動療法について・肩板断裂観血手術後の運動療法を症例に」	
	鼻和廣夫会員「ピンポイント通電療法」	
11月28日・29日	第7回学術大会・日本柔道整復接骨医学会	(静岡市)
	鼻和廣夫会員「狭域通電療法の試み」	
	西原 清会員「長期透析患者に発生する骨・関節の脆弱化に関する文献的検討」	
	加藤和信会員「肩の機能的運動療法について・肩板断裂観血手術後の運動療法を症例に」	
平成11年6月13日	学術研修会	(大分県総合社会福祉会館)
	住吉壽人会員「手指関節の副金固定」	
	清田洋一会員「『大分県災害ボランティア』事業と柔整師」	
	加藤和信会員「大腿前面部打撲の治療」	
	三代晃久会員「柔道整復師とコンピューター」	
	林宗一郎会員「局所冷却材の効率的使用について」	
	清家政宏会員「柔道整復師に現在思う事」	
	鼻和廣夫会員「急性腰部捻挫に対する筋通電整復」	
6月27日	第28回九州ブロック会学会	(佐世保市)
	鼻和廣夫会員「急性腰部捻挫に対する筋通電整復」	
平成12年6月18日	学術研修会	(大分県総合社会福祉会館)
	今村昭紀会員「傾斜型索引台の製作について」	
	鎌田実信会員「外傷に起因する難治性関節拘縮の一考察」	
	古賀丈寛会員「あしのさき」	
	林宗一郎会員「知的所有権の利用法について」	
7月9日	第29回九州ブロック会学会	(熊本市)
	鼻和廣夫「坐骨神経領域に対する双極電流賦活通電」	
平成13年1月14日	学術研修会	(大分県総合社会福祉会館)
	三代晃久会員「整骨院におけるコンピューターの活用法」	
	その他	
6月23日	学術研修会	(大分県総合社会福祉会館)
	鼻和廣夫会員「圧痛計と下腿筋操作によるラセーグ症候が消失し治癒した症例」	

	堅田兼實会員「タイ式マッサージを応用して治療する手技療法」 安東茂富会員「姿勢の重要性とインフォームドコンセント」 古賀丈寛会員「足の治療法」	
7月15日	第30回九州ブロック会学会 塩井卓広会員 「地域スポーツ選手への整骨院認識調査とスポーツ分野へのPR活動後の来院患者数の変化」	(鹿児島市)
平成14年6月23日	学術研修会 西原 清会員「高齢者の筋力トレーニング」 鼻和廣夫会員「いわゆる弾撥指に対する温冷療法の効用」 野田克之会員「カルテ整理の一アイデア」 武原修造会員「筋肉と精神の関係」 藤本正高会員「柔整手技療法を見直す」	(大分県整骨会館)
7月13日	第31回九州ブロック会学会	(宮崎市)
12月23日	第11回日本柔道整復接骨医学会 西原 清会員「高齢者の筋力トレーニング」 鼻和廣夫会員「いわゆる弾撥指に対する温冷療法の効用」	(大阪市)
平成15年2月9日	学術研修会 講師 柘植道夫先生「アスヴェイン治療法（筋肉からのアプローチ）」 手寫重徳会員「肩関節前方脱臼整復（実技）」 重石雄大会員「手技療法の重要性とGate-control理論」 江崎博明会員「肩関節の一治療法（実技）」	(大分県整骨会館)
6月29日	学術研修会 講師 小野政則先生（救急救命士）「救急・応急手当・心肺蘇生法について」 西原 清会員「膝関節の徒手検査法」 佐保隆司会員「仙腸関節の生理的整復装置の考察」	(大分県整骨会館)
7月26日	第32回九州ブロック会学会 佐保隆司会員「仙腸関節の生理的整復装置の考察」	(日出町)
10月12日	第6回日整学術実技研修会 佐保隆司会員「仙腸関節の生理的整復装置の考察」	(東京ビッグサイト)
11月24日	第12回日本柔道整復接骨医学会 鼻和廣夫会員「PNFによる弾撥指の手技療法」	(東京都)
平成16年2月8日	学術研修会 講師 山本郁榮先生（日本体育大学教授） 講師 野田哲由先生（アビスパ福岡チーフトレーナー） 「トータルコンディショニング・テーピングテープ編（実技含む）」 入江政樹会員「自宅療養についての一考察」 江藤公博会員「スポーツ愛好者におけるアイシング浸透度」 野田克之会員「カルテ整理のアイデア」 衛本祥二郎会員「筋繊維の再生・増殖について」	(大分県整骨会館)
3月13日	第1回日赤AED講習会 講師に日赤救急法指導員を招聘。	(大分県整骨会員)
7月11日	学術研修会 講師 日高 啓先生（中津市民病院放射線科医師） 「画像診断一般」 堅田兼實会員「治療考察」 西邑幸一郎会員「湿布に用いられる成分と効能」	(大分県整骨会員)
7月19日	第33回九州ブロック学会	(福岡市)
平成17年2月13日	学術研修会 講師 谷村勝宏先生（中津胃腸病院・臨床検査技師） 「画像診断・診断一般（超音波検査を中心に）」	(大分県整骨会館)

	野田克之会員「アルフェンスと熱可塑性プラスチックとの比較」	
	大谷直人会員「肘関節脱臼の一症例」	
	江藤公博会員「インソールの治験例」	
	会員協同検証「新キャスト材検証」	
	紹介「メストアングル2（左右兼用サポーター）」	
7月10日	学術研修会	(大分県整骨会館)
	講師 平尾修恭先生（平尾内科医院院長・医学博士）	
	「いきいき健康講座 内臓・血管が元気になる食品」	
7月10日	第2回日赤AED講習会	(大分県整骨会館)
	講師 村上美義先生（日赤救急法指導員）認定試験含む	
7月18日	第34回九州ブロック学会	(唐津市)
	江藤公博会員「足底板を使った腰痛治療の一症例」	
12月4日	第14回日本柔道整復接骨医学会	(東京都)
	江藤公博会員「足底板を使った腰痛治療の一症例」	
平成18年2月5日	学術研修会	(大分県整骨会館)
	前川羊介会員「打撲・捻挫での固定法の一考察」	
	鎌田実信会員「橈骨下端部骨折に対する金属副子の重要性」	
	杉田修一郎会員	
	「アキレス腱炎に対するテーピング・ヒールパッドを用いた治療効果の検討」	
	野田克之会員「頸椎牽引器製作記録」	
	講師 西原 清先生（大分県会員）「パワーポインターの活用」	
	(株)梅宮産業による発表	
	「足圧力中心線からみた過回内・過回外と足の矯正器具での処置の分析」	
6月18日	学術研修会	(大分県整骨会館)
	講師 市ヶ谷 学先生（市ヶ谷整形外科院長）	
	「骨関節疾患の診断と治療」	
	清田洋一会員「臨床経験から（反省点を含めて）」	
	江崎博明会員「骨折等の症例報告」	
	西原 清会員「パソコンの便利な機能」	
6月25日	学術研修会	(大分県整骨会館)
	足底板を用いた治療法（サイトウ医療器）	
7月1日	第35回九州ブロック会学会	(那覇市)
10月29日	学術研修会	(大分県整骨会館)
	講師 大分医学技術専門学校 宮迫宏治先生「睡眠について」	
	重石雄大先生「骨の生理学」	
	住吉壽人会員「肩関節脱臼の整復法＜槓杵法を応用した整復＞」	
	野田克之会員「足関節固定の一考察」	
	尾林大生会員「陈旧性橈骨頭前方脱臼の症例報告」	
11月25日	第15回日本柔道整復接骨医学会	(京都)
平成19年2月18日	学術研修会	(大分県整骨会館)
	駒松義啓先生（松岡メディカルクリニック院長・整形外科医）	
	「一般に遭遇する四肢外傷」	
	学術部特別企画「パネルディスカッション」	
6月17日	学術研修会	(大分県整骨会館)
	大阪市民病院看護師を招聘「生活習慣病と水」	
	住吉壽人会員	
	「マレットフィンガーの一症例報告の治療（副金ネット固定の治療）」	
	清田洋一会員「デイスボストレッチャーについて」	
	日赤救急救命講習会	
	桑原千代美先生（日赤講師）「改正された救急法（AEDを含む）」	

- 7月22日 第36回九州ブロック学会 (長崎市)
江藤公博会員「セルフモビライゼーションによる頸部回旋障害の治療法」
野田克之会員「距骨滑車不全損傷固定の一考察」
- 9月29日 第16回日本柔道整復接骨医学会 (札幌市)
江藤公博会員「セルフモビライゼーションによる頸部回旋障害の治療法」
野田克之会員「距骨滑車不全損傷固定の一考察」

(昭和23年(1948年)9月～平成19年(2007年)9月までのものは過去の創立記念誌より転載したもの。)

平成20年(2008年)

- 平成20年3月20日 平成19年度春季学術研修会
日常生活で発症するジャンパー膝(実技含む) 住吉 壽人
外側上顆骨折を伴う左肘後方脱臼の一症例 江崎 博明
橈骨下端屈曲骨折(Smith氏骨折)の温浴療法 藤本 正高
交通事故による脳脊髄液減少症の一症例 木谷 充良
狭窄性腱鞘炎の症例報告 尾林 大生
- 6月28日・29日 第37回日整九州ブロック会 熊本大会 (熊本)
「De Quervain 病の保存療法について」 尾林 大生
- 7月27日 平成20年度夏季学術研修会
「障害者のスポーツ」 指宿 立 講師
- 8月10日 平成20年度「健康柔体操指導者講習会」 (東京)
9月21日 学術研修会 (佐賀県)
「股関節の人工関節について」
- 10月26日 平成20年度秋季学術研修会
「健康柔体操伝達講習会」 加藤 和信
河野 靖久理事
- 11月23日・24日 「現場で役立つデニバンテクニック」本会共催テーピング講習会
第17回日本柔道整復接骨医学会 学術大会
De Quervain病の保存療法について 尾林 大生

平成21年(2009年)

- 平成21年2月11日 平成20年度春季学術研修会
＜頸椎、腰椎疾患について＞ 馴松 義啓先生
＜電気的神経ブロック療法＞龍雲堂堀越接骨院院長 町田雅美先生
会員発表
副金作りの要点と実際 住吉 壽人
中手指関節の新しい固定具 林 宗一郎
第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいだ大会」でのコンディ
ショニングルーム利用者のアンケート集計 安部良太郎
内側上顆骨折の一症例 薬師寺政充
- 6月14日 平成21年度夏季学術研修会
「機能訓練時のリスクマネジメント」 加藤和信理事
「赤十字救急法講習」
- 6月26日～28日 第38回日整九州ブロック会鹿児島大会
「第8回全国障害者スポーツ大会から考察するコンディショニングルームの有
効性について」 安部良太郎
- 10月18日 平成21年度秋季学術研修会
「肩周辺の臨床診断並びに計測検査法」 池添祐彬日整講師
「赤十字救急法講習会」

第18回 日本柔道整復接骨医学会 学術大会

「第8回全国障害者スポーツ大会から考察するコンディショニンググループの有効性について」
安部良太郎

平成22年(2010年)

平成22年 2月28日	平成21年度春季学術研修会 日常遭遇する上肢の疾患（外傷を含む） ＜機能訓練指導員フォローアップ講習会＞ 会員発表	馴松義啓先生 加藤和信理事
	下肢に症状をきたす腰部疾患の治療（腰部のストレッチを応用して） 顎関節症に対する口外整復法の応用 股関節安定性向上の一考察 後足部15cmスタビリティテーピングとパフォーマンス変化	住吉 壽人 鎌田 実信 野田 克之 江藤 公博
6月6日	平成22年度夏季学術研修会 「急性、亜急性について」 「赤十字救急法講習」	安東 鉄男学術部長
7月	第39回日整九州ブロック大会 宮崎大会…中止	
8月19日	第1回解剖見学実習	（大分大学医学部）
8月22日	療養費算定基準の一部改正についての研修会	鎌田 実信保険部長
9月19日・20日	第19回日本柔道整復接骨医学会学術大会 「股関節安定性向上の一考察」 「後足部の安定化テーピングとパフォーマンス変化」	（於 富山国際会議場） 野田克之 江藤公博
10月24日	日整役員による研修会 公益法人について 「今後の柔道整復師の療養費について」	森本賀津雄講師 （日整代議員・都柔接総務部長） 三橋 裕之講師 （日整保険部・都柔接保険部長）

平成23年(2011年)

平成23年 2月20日	平成22年度春季学術研修会 「心臓のリズムを解明する」「筋肉の収縮機構と発達・老化」 「認知症サポーター制度について」 会員発表	島田達生先生（大分大学医学部名誉教授） 清田洋一顧問
	橈骨下端骨端線離開の治療 中足間関節と下肢の不安定 中足骨多発骨折症例報告 スミス骨折症例報告	住吉 壽人 園田 智恵子 安部 良太郎 薬師寺 政充
6月5日	平成23年度夏季学術公開セミナー 講演①：「赤十字救急法講習」 講演②：「股関節内旋（O脚、X脚）の実際」 講演③：「国際柔道連盟試合審判規定及び安全管理」	安東鉄男理事
7月10日	第40回九州学会宮崎大会（於 宮崎市 シーガイアコンベンションセンター） 特別講演『変形性膝関節症の病態と治療』 ＜日本柔道整復接骨医学会 守屋陽繁会長＞ 「中足骨多発骨折におけるDYJOCTレーニングの一考察」 「くまでテープを用いた中足間関節の施療法－足関節、膝関節捻挫の予防と施療－」	安部良太郎 園田智恵子
8月18日	第2回夏季解剖見学実習	（大分大学医学部）
10月22日	第20回日本柔道整復接骨医学会学術大会（於 千葉県 幕張メッセ国際会議場）	

「くまでテープを用いた中足間関節の施療法－足関節、膝関節捻挫の予防と施療」 園田智恵子
「中足骨多発骨折によるD Y J O Cトレーニングの－考察」 安部良太郎
「レオナルド・ダ・ビンチが描いた足骨、小指骨の中節骨はあるか否か？」
安東鉄男会員、島田達生先生（大分医学技術専門学校）

10月30日 機能訓練講習会・介護研修会
保険部介護対策課 三谷 誉講師
午前 介護研修会（公開講座）
午後 機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会

平成24年(2012年)

平成24年 2月19日 平成23年度春季学術公開セミナー
柔道整復業務の再検証 加藤和信会長
療養費支給申請における留意点 鎌田実信保険部長
変形性膝関節症を予防する靴の可能性について 塚原裕二講師
会員発表
高齢者の骨折を考える 住吉 壽人
内反肘を伴う後外側回旋不安定症（PLRI）の症例報告 重石 雄大
肩甲下滑液包の閉鎖のある肩関節周囲炎への手技療法の有効性 尾林 大生

6月10日 平成24年度夏季学術セミナー
午前 「赤十字救急法講習」公開セミナー
午後 「最新のデジタル超音波診断装置の画像と症例について」
S S B 本社 富田 孝治
鎌田実信保険部長
「保険取り扱い研修」
「柔道指導者安全教育講習会」
全日本柔道連盟Aライセンス審判員 安東鉄男理事

7月16日 第41回九州学術大会大分大会 （於 大分市レンブラントホテル）
足関節捻挫『足関節ねんごの新しい考え方』田淵健一先生
（田淵整形外科クリニック院長）
『柔道整復師と介護保険』三谷 誉・川口貴弘先生（日整保険部介護対策課）
『大分が生んだ三人の偉大な医学者』島田達夫先生（大分大学医学部名誉教授）
会員発表
内反肘を伴うPLRIに類似した動揺性疾患の1症例 重石 雄大
運動制限を伴う肩関節疾患の手技療法の有効性 尾林 大生

8月22日 第3回夏季解剖見学実習 （大分大学医学部）

11月24日・25日 第21回日本柔道整復接骨医学会 福岡大会
内反肘を伴うPLRIに類似した動揺性疾患の1症例 重石 雄大
運動制限を伴う肩関節疾患の手技療法の有効性 尾林 大生
走査電子顕微鏡が捉えた膝関節軟骨の加齢的形態変化
島田 達生 重石 雄大 安東 鉄男
（大分医学技術専門学校）

平成25年(2013年)

平成25年 2月17日 平成24年度春季学術公開セミナー
「柔道整復師が対象とする柔整捻挫、軟武組織損傷の捉え方－軟部組織損傷のメカニズムと柔整対象疾患としての整合性について－」酒井重教先生（医学博士 富山大学大学院柔道整復学講座主任研究員 富山県柔道整復師会理事）
会員学術論文
骨折治療の要点 住吉 壽人
有痛性分裂膝蓋骨の治験例 江崎 博明 河合 竜之介

- 「保険部最新情報」 鎌田実信保険部長
- 6月9日 平成25年度 夏季学術公開セミナー
 午前の部 「赤十字救急法講習」
 午後の部 「国際柔道連盟試合審判規定及び安全管理」
 「青少年柔道育成指導者講習会」 安東鉄男 7 段
 全日本柔道連盟 A ライセンス審判員
- 7月28日 第42回九州学術大会福岡大会 (於 福岡市 ホテルニューオオタニ博多)
 『柔道で脳を守る』 永廣信治先生 (徳島大学医学部脳神経外科教授)
 『柔道整復師と介護保険について－機能訓練指導員として現場で直ぐに実践できる運動実技を含めた必要なskill－』
 三谷 誉・川口貴弘先生 (日整保険部介護対策課)
- 8月27日 会員発表
 「シニア世代のスポーツ科学」 今道昭哉先生 (九州ブロック会学術部長)
 「有痛性分裂膝蓋骨の治験例」 江崎博明 (大分大学医学部)
- 11月23日・24日 第4回夏季解剖見学実習
 第22回日本柔道整復接骨医学会
 会長講演
 足とアシクビの解剖序説 佐藤 達生先生 (東京有明医療大学)
 特別講演
 足関節内反損傷 田淵 健一先生 (田淵整形外科クリニック)
 果部骨折と距骨の亜脱臼における整復および固定法
 根本 恒夫先生 (日本柔道整復専門学校)
 一般発表
 膝関節十字靱帯の微細構造とコラーゲンの三次元構築
 島田 達生先生 (大分医学技術専門学校)
 有痛性分裂膝蓋骨の治験例 河合竜之介

平成26年(2014年)

- 平成26年 2月9日 創立65周年記念講演
 「地域に生きる－地域包括ケア－」 森 照明先生
 社会医療法人 敬和会大分岡病院院長
- 6月29日 会員発表
 厚紙副子固定の要点 住吉 壽人
 「動きの基礎づくり」トレーニング 西原 清
 平成26年度夏季学術公開セミナー
 公開セミナー「赤十字救急法講習」
 青少年柔道育成指導者講習会 安東鉄男 7 段
 全日本柔道連盟 A ライセンス審判員
- 7月21日 会員発表
 前距腓靱帯損傷のモビリゼーションの有効性 尾林 大生
 肩鎖関節脱臼のreposition maintenance 安部 良太郎
 第43回九州学術大会佐賀大会 (於 唐津市 唐津シーサイドホテル)
 特別講演
 『股関節の機能解剖及び股関節疾患に対する手術の現状』
 馬渡正明先生 (佐賀大学医学部整形外科主任教授)
 『「国際部活動報告」－草原に架かる虹を追ってモンゴルでの記録』
 本間琢英・根来信也先生 (日整国際部)
 『柔道整復師と介護保険について－生活目標を達成する運動とは－』
 三谷 誉・川口 貴弘先生 (日整保健部)
 研究論文発表

- 『肩鎖関節脱臼のreposition maintenance』 安部良太郎
 ポスター発表論文
 『前距腓靭帯損傷のモビリゼーションの有効性』 尾林大生
 8月27日 第5回夏季解剖見学実習 (大分大学医学部)
 9月28日 平成26年度秋季学術講習会
 「サービス提供体制から柔道整復師に期待するもの」
 大分県高齢者福祉課参事 前田耕作先生
 「地域包括ケアシステムでの柔道整復師のあり方について」
 日本柔道整復師会介護対策班 三谷 誉先生
 「機能訓練指導員実務者フォローアップ研修」
 10月18・19日 日本社会医療学会 第15回記念大会
 柔整師の視点からー地域の活性化から日本の医療と介護を元気にしよう
 ～柔道整復師は医療と介護（機能訓練指導）の身近なパートナー～
 加藤 和信（公益社団法人 大分県柔道整復師会会長）
 11月29・30日 第23回日本柔道整復接骨医学会学術大会 (大田区産業プラザPio)
 会長講演
 内科医の立場から『みる』（視・観・診・看）を考える
 冲永 寛子先生（帝京平成大学学長）
 特別講演
 高齢者の急性腰背部痛に対する有効的な体幹ギプスの巻き方
 栗原 友介先生（栗原整形外科）
 重症外傷診療の進歩と課題 坂本 哲也先生（帝京大学医学部救急医学講座）

口頭発表

肩鎖関節脱臼のreposition maintenance 安部良太郎

平成27年(2015年)

- 平成27年3月8日 平成26年度春季学術公開セミナー
 特別講座
 「柔道整復師の明日を考える」三橋裕之先生 日整保険部長
 「認知症サポーター養成講座」清田洋一顧問
 会員発表
 上腕骨外側上顆炎の治療法 住吉 寿人
 肩鎖関節脱臼の定期的X線撮影検査と固定法 安部 良太郎
 「急性腰部捻挫」における下腿三頭筋手技療法の有効性 河合 竜之介
 6月21日 平成27年度夏季学術公開セミナー
 講演1「交通事故に関する法律実務の実情」
 <講師>弁護士 佐々木淳夫先生（本会顧問：弁護士法人徳田法律事務所）
 講演2「赤十字救急法講習」
 <講師>松村真志・高橋留美先生（赤十字救急法指導員）
 講演3「国際柔道連盟試合審判規定及び安全管理」
 <講師>7段 安東鉄男先生（全日本柔道連盟Aライセンス審判員）
 8月25日 第6回夏季解剖見学実習 (大分大学医学部)
 9月13日 平成27年度秋季学術講習会
 ①日整報告…加藤和信会長
 ②マイナンバー講習会…佐藤睦典労務管理士
 ③保険部報告…鎌田実信保険部長
 11月7日・8日 第24回日本柔道整復接骨医学会学術大会
 （於 新潟県 「朱鷺メッセ」新潟コンベンションセンター）
 会長講演

「災害医療について」吉川恵次先生（新潟医療技術専門学校）
 特別講演
 「心因性偽脊髄障害」
 本間時雨先生（亀田第一病院 新潟脊椎外科センター）
 口頭発表：固定法
 「肩鎖関節脱臼の定期的X線撮影検査と固定法」 安部良太郎
 「一般学生および柔道経験者の足型と感覚に関する研究」 安東 鉄男
 「ヒト下腿三頭筋腱（Achilles腱）構成線維束の形態学的特徴」
 －アキレス腱炎発症機序の解剖学的再検討－ 重石 雄大

平成28年(2016年)

平成28年2月7日 平成27年度春季学術公開セミナー
 「日整が推進する改革」 日整迫田光基参事
 会員発表
 操体法の要点 住吉 壽人
 骨折等の症例報告 江崎 博明
 不安定型鎖骨遠位端骨折に対する固定法 安部 良太郎
 Roland骨折の独自の枕子を用いた保存療法による一症例 河合 竜之介
 3月5日 第44回九州学術大会沖縄大会（於 那覇市 パシフィックホテル沖縄）
 特別講演
 「持続的収縮筋由来と思われる症状の解釈とその治療の考え方」
 倉田繁雄先生 仙台徒手療法研究会会長
 会員発表
 「肩鎖関節脱臼の定期的X線撮影検査と固定法」
 安部良太郎
 「『急性腰部捻挫』における下肢三頭筋手技療法の有効性」
 河合竜之介
 6月12日 平成28年度夏季学術公開セミナー
 「野球医学～投球肘障害～」 馬見塚尚高先生 西別府病院整形外科医
 「赤十字救急法講習」 吉田・高橋指導員
 「国際柔道連盟試合審判規定及び安全指導」
 安東鉄男先生 7段、全日本柔道連盟公認Aライセンス審判員
 7月31日 第45回九州学術大会長崎大会（於 長崎市 ホテルニュー長崎）
 特別講演Ⅰ「2019年ラグビーワールドカップのキャンプ地長崎誘致への取り組み」
 「日常よくみかける成人の肩関節疾患の鑑別と治療」
 済生会長崎病院院長 衛藤正雄先生
 特別講演Ⅱ「2016柔道整復師と介護保険について」
 日整保険部 藤田正一先生
 会員発表
 「難治性鎖骨骨折のoutcome」…安部良太郎
 「Roland骨折の非観血的療法による一症例」…河合竜之介
 9月22日 療養費改定講習会
 講演1「保険指導会」講師：鎌田実信保険部長
 講演2「療養費改定について」講師：加藤和信会長
 9月28日 第7回秋季解剖見学実習（大分大学医学部）
 11月19・20日 第25回日本柔道整復接骨医学会（於 宮城県仙台国際センター）
 会長講演
 症例研究と単一事例実験計画法について
 佐藤 捷（元帝京大学医療技術学部教授）

シンポジウム

九州北部豪雨・熊本大分地震：二つの災害を体験して

加藤 和信（本会会長）

口頭発表

「難治性鎖骨骨折のoutcome」…安部良太郎

「Roland骨折の非観血的療法による一症例」…河合竜之介

平成29年(2017年)

平成29年 2月11日

平成28年度春季学術公開セミナー

「柔道整復師のエビデンス」－特に柔道整復療養費の問題と対策－

酒井重数先生

（医学博士 富山県柔道整復師会常務理事 富山大学大学院柔整学講座主任研究員）

会員発表

高齢者 肩関節疾患の臨床

住吉 壽人

Iselin病の治験例と鑑別診断の重要性

河合 竜之介

特別講演

「脱臼の一人整復法」

鎌田実信保険部長

3月19日

卒後臨床研修会

〔指導者のための技術講習会〕

（於 福岡医療専門学校）

。基本技術講習

「脱臼と骨折の一人整復法」

講師：鎌田 実信・江崎 博明理事



平成22年度通常総会 学術表彰者



平成23年度通常総会 学術表彰者



平成24年度通常総会 学術表彰者



平成28年度定時総会 学術表彰者

一般学生および柔道経験者の 足型と感覚に関する研究

大分大学大学院 医学系研究科
修士課程 医科学専攻
神経生理学講座 安東 鉄男(学術部長)

要約 二足歩行をとるヒトの足は、26対の骨からなり、全体重がここにかかる。特に、前足部の足指は、運動性に富み、生活や行動にも重要な役割をはたしている。近年、履物による圧迫や運動不足による筋力低下等が原因で、足部の痛みや疲労を訴える人が増加している。また、足部のアライメントの異常も発症するとされている。現在、それらを改善するための研究が行われているが、具体的な足型や足底の感覚については未解明の部分が多い。一般の人と裸足で運動を行う人とのアライメントの比較はない。また、国内外の医学書には、足の第5指（小指）は基節骨、中節骨、末節骨からなると記載されているが、中には互いに癒合したり、指骨の数に増減があると記載されている。皮膚感覚においても、一般の人の第1～5手指のデータはあるが、第1～5足指までを調べたデータは見当たらない。そこで、一般学生と裸足で長時間の運動を行う柔道の経験をもつ学生（経験年数3年以上の有段者）を対象に足部のアライメントや足底部の皮膚感覚について、調査し、比較検討した。足型測定器「Foot Grapher」を用いてアライメントの異常である①浮き指、②凹足、③扁平足、④外反母趾等が認められたが両者に有意差は認められなかった。超音波画像診断装置を用いて第5指の中節骨があるか否かを調べた結果、中節骨がある者の割合が両群ともに3割前後しか存在しなかった。二点間弁別器を用いて足底部の二点弁別閾を調べた結果、左の第1指、第3指、第4指、第5指、土踏まず、右の第1指については一般学生群の方が二点弁別閾が有意に小さかった。



本文抜粋 1

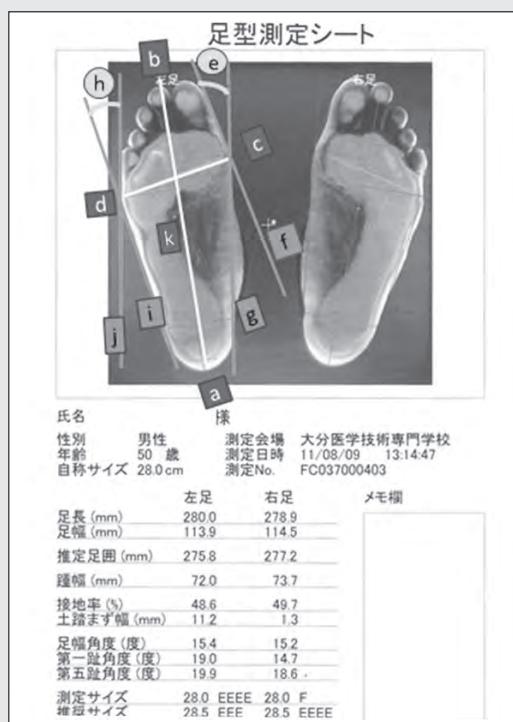


図3 「Foot Grapher」によりプリントされた足型シートと各測定値

接地部分が黄色に映し出され、自動的に足型が測定される。

第1指側角度(e)は足の内側接線(g)と第1指接線(f)とのなす角度である。第5指側角度(h)は足の外側接線(i)と第5指接線(j)とのなす角度である。土踏まず幅は足長線(aとbを結ぶ線)と土踏まず境界との距離(k)である。

Comparisons of the shape and cutaneous sensation of feet of judo practitioners and non-practitioners

Abstract

Humans support their body weight supported on two feet, each of which contains 26 bones. Feet and toes are rich in movement and play important roles in daily activities. However, inadequately fitted shoes and lack of exercise can contribute to foot pain and misalignment alignment of the bones. Study into the frequency of misalignment and impaired cutaneous sensation remains sparse, and there are no studies into the alignment of feet of judo wrestlers and reports on cutaneous sensation of the feet is sparse compared with that of hands. The author compared the alignment of feet and cutaneous sensation of judo practitioners of at least three years experience with those of a control population (non-practitioners of judo). Foot Grapher® (an automated foot-shape measurement tool designed for shoe makers) demonstrated impaired alignment such as pes planus (flatfeet), pes cavus (high-arched foot) and hallux abducto valgus in both the *judo* wrestlers and the control group with no significant difference. Ultrasonography of the fifth phalanges revealed that the middle row is absent in about 30% in both groups. Two-point thresholds in soles were significantly shorter in the control than in the *judo* wrestlers

本文抜粋2

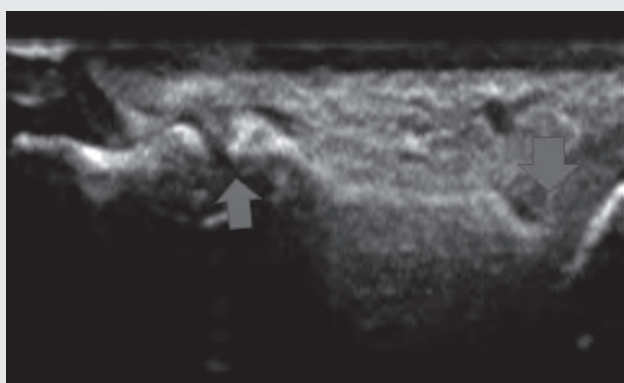


図18 中節骨がない第5指
(↑は指節間関節、↓は中足指節間関節)

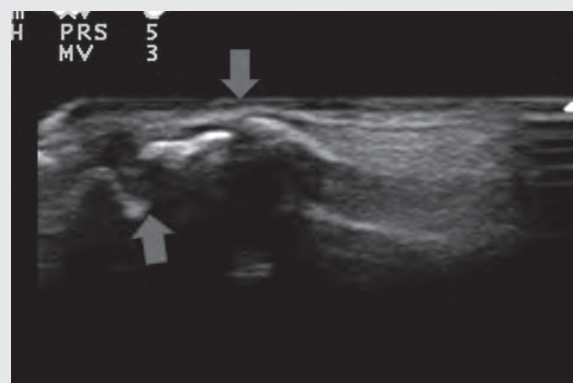


図19 指骨が3つある第5指(↑は遠位指節間関節、
↓は近位指節間関節)
指節間関節が2か所あるので、基節骨、中節骨、末節骨
の3個の指骨があることが分かる。

ヒト下腿三頭筋腱(Achilles腱)構成線維束の形態学的特徴 － アキレス腱炎発症機序の解剖学的再検討 －

大分大学大学院 医学系研究科

修士課程 医科学専攻 生体構造医学講座 重石 雄大(本会学術部員)

要約 ヒトの踵骨腱（アキレス腱）には、「線維束のねじれ」が生じると考えられているが、その詳細な構造は不明である。また、アキレス腱炎の発症機序の一つとして、足底筋腱との解剖学的位置関係も注目されている。本研究では、アキレス腱構成線維の解剖学的特徴と足底筋腱の走行・停止形態を明らかにし、腱障害の発症機序の検討を試みた。



解剖検索には大分大学と鹿児島大学所有の解剖体53体87下肢を用いた。そのうち5例から肉眼的にアキレス腱の線維束を剖出し、線維束の走行と付着部の様相を調べた。腱線維走行の画像解析には超音波エコーを用いた。足底筋の停止形態については、Daseler and Anson 分類（Ⅰ～Ⅳ）に従った。

肉眼解剖と超音波エコー検索にて、アキレス腱に生じる線維束の捻れは、約90°内旋する様式が全例で観察された。捻れは腱狭小部から起こり、内側と外側の腓腹筋由来の腱線維束は、共に外側領域に回旋しながら走行した。ヒラメ筋由来の腱線維束は腱内部の狭い領域にて僅かなねじれを伴いながら内側方向に走行した。線維束が比較的容易に分離できるアキレス腱踵骨付着部で、発達した滑膜ヒダが線維束間に一部認められた。また、足底筋腱の停止部位について、アキレス腱の内側に付着するDaseler and AnsonのⅢ型が最も多く観察された。

本検索結果から、アキレス腱内部には内旋する腱線維束が顕在していた。アキレス腱遠位部の線維には、ねじれが存在することから、足部の運動に伴い線維束間での「Saw like action」による発症機序には解剖学的根拠があることが示唆された。また、アキレス腱前面において、腱線維束間に嵌入する滑膜ヒダの存在は、付着部炎を誘発する重要な所見である。さらに、足底筋腱の走行および停止部での形態変異もアキレス腱炎を誘発する原因の一つと考えられる。

Abstract The form of "fascicles twisting" is believed to occur in the human calcaneal tendon (Achilles tendon) . However, few studies accurately and thoroughly describe this structure. Recently, the anatomical relationship between the Achilles and plantaris tendons as a pathogenic mechanism of Achilles tendonitis has gained increasing interest. In the present study, the pathogenic mechanism of Achilles tendon injury was studied by identifying the detailed anatomical characteristics of the tendon fibers, including those that form attachments with the plantaris tendon.

An anatomical study was conducted on 87 legs of 53 cadavers belonging to Oita University and Kagoshima University. Five of these cadaver legs were examined in a gross analysis of tendon fibers. Ultrasound was also used in an imaging analysis. Tendons that formed attachments with the plantaris muscle were also assessed by the classification method of Daseler and Anson (Type I ~ Type IV) .

When the extent of fascicle twisting in the Achilles tendon was examined in the gross anatomical and ultrasound studies, medial rotation was determined to be approximately 90° in all cases. The twisting began from the narrow part of the tendon and the lateral fascicles that originated from the gastrocnemius, which continued to twist as they coursed together

through the peripheral region. The fascicles originating from the soleus muscle coursed medially through the narrow region inside the tendon and twisted slightly. Some of the fascicles originating from both muscles could not be definitively classified in the fiber analysis. At the calcaneal attachment of the Achilles tendon that fascicles were relatively easy to isolate, the developed synovial folds were observed in some cases. The most frequently observed type of insertion in the plantaris tendon was Daseler and Anson's Type III.

The results of this study confirm that medially rotating fascicles are evident in the internal Achilles tendon. The fascicle twisting, which was found among the fascicles of the distal Achilles tendon, provides anatomical evidence for a pathogenic mechanism of a saw-like action with the motion of foot. In addition, the presence of invaginated synovial folds between the tendon fascicles in the posterior calcaneal surface is an important finding that is closely related to synovial fringes, which trigger inflammation at the attachment site. Furthermore, Form variations of the insertion sites in plantaris tendon may be related to the structures that trigger Achilles tendonitis.

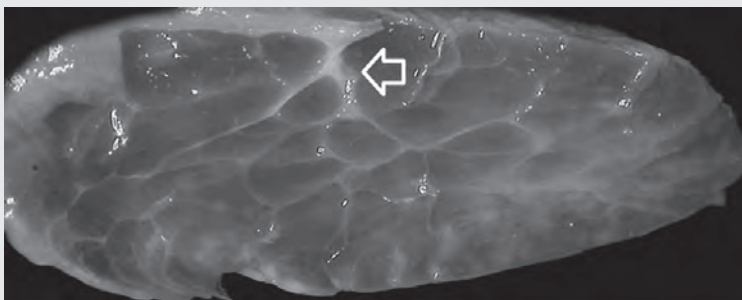


図1 ヒトアキレス腱の横断面の実体顕微鏡像。腱線維束は明瞭に識別できる。矢印は腱線維束間の結合組織を示す。

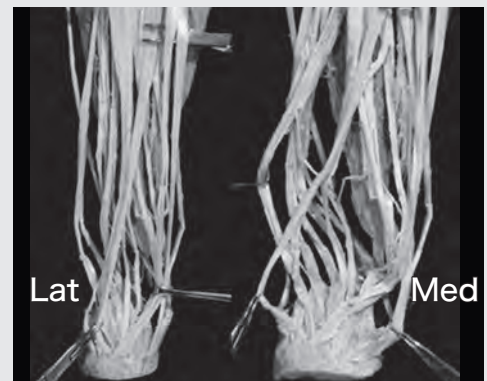


図3 腱膜と腱周膜を取り除いたアキレス腱。個々の線維束が踵骨に付着している。

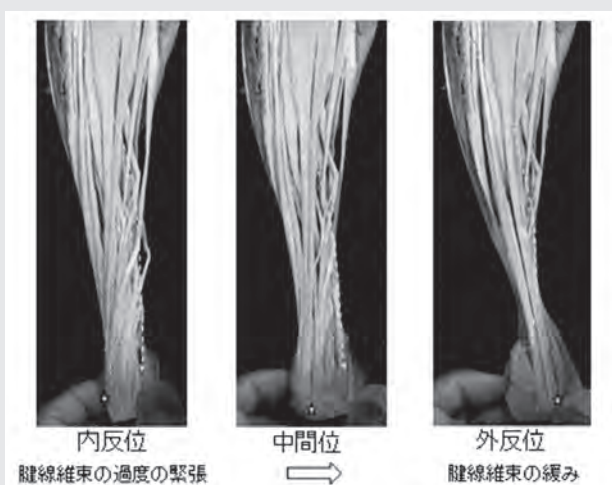


図4 内反および外反させた左アキレス腱の後面。点線は足底筋腱の走行。

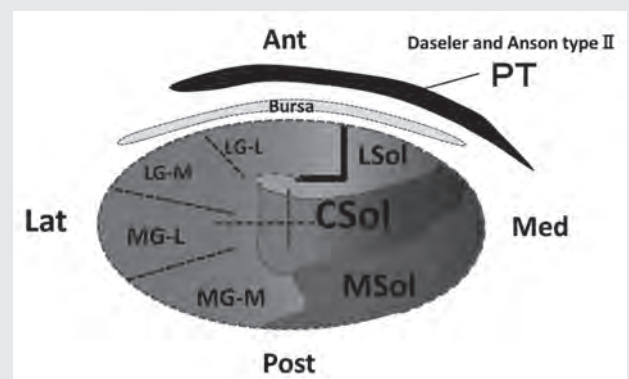


図10 検索1における左アキレス腱停止部横断面の模式図

MG：腓腹筋内側頭由来の腱線維，LG：腓腹筋外側頭由来の腱線維，Sol：ヒラメ筋由来の腱線維，M：内側，C：中央，L：外側

福祉部活動について

福祉部長 首 藤 彰 典



創立 70 周年、社団法人設立 40 周年を会員の皆様と共に迎えることのできる喜びと、これまで研鑽してこられた諸先輩の方々に敬意と感謝を申し上げます。

私が福祉部長になって 4 年になります。前任者は福田祐司先生でした。就任当初は福祉部についての知識が少なく、どう活動して行こうか戸惑いを感じていましたが、諸先生方のご指導、ご協力により活動内容を把握することができました。

福祉部は本会の中で唯一、共益事業を担当する部で、「会員の福祉増進並びに相互扶助に関する事業」を行います。具体的に本会でどのような活動（計画）をしているか列記します。

- 1、会員の業務経営について調査、研究し、その充実向上をはかる。
- 2、税務に関する実態調査及び研究を行う。
- 3、柔道整復師賠償責任保険・所得補償保険、団体生命保険等を拡充し、推進する。
- 4、日本柔道整復師国民年金基金に協力する。
- 5、日本柔道整復師協同組合の活動に協力する。
- 6、大分県柔道整復師協同組合の活動に協力する。
- 7、会報並びに準会員報を発行する。
- 8、会員相互の親睦をはかるため、レクリエーション大会を企画、開催する。

先生方の仕事に即、役に立つというよりも、将来の安心または何か問題が起きたときに、先生方、従業員、家族、施術所を守るために役立つ為の情報提供または、会員相互の親睦と情報交換を図る為の事業を行います。

ここ数年は新入会の先生が以前より増えています。今まで以上に会員の福祉増進並びに相互扶助に役立つよう努めたいと思います。会員・準会員の先生方も今まで以上に福祉部活動に、ご協力いただきますようお願い致します。



H21.10.18 球技大会
(タワーボウル萩原店)



H 28.3.27 大整会ゴルフコンペ
第 60 回 別府の森 G C

大分県柔道整復師協同組合のあゆみ

組 合 長 河野 靖久

副組合長 江崎 博明

理 事 首藤 彰典

平成 29 年 5 月 21 日現在

大分県柔道整復師協同組合が設立して 4 年 7 か月が経過しました。設立当初は12名から始まりましたが、組合員数も増え、組合運営も組合員・賛助会員のご協力と大分県中小企業団体中央会様のご指導、ご助言により、順調に運営されています。皆様のご協力に感謝申し上げますと共に、今後も益々のご指導、ご鞭撻のほどお願い致します。

最後になりましたが、協同組合の設立までの流れと、設立後のあゆみを列記致します。

【平成23年】

11月23日 平成23年度 社団法人大分県柔道整復師会 臨時総会で協同組合の設立を承認

【平成24年】

6 月 5 日 大分県柔道整復師協同組合 創立総会開催
(設立同意者12名・設立発起人 4 名含む)
※創立総会終了後、理事会を開催し、代表理事・副理事長を選任

8 月 1 日 大分県に設立認可申請を提出

8 月10日 大分県より設立認可が下りる

9 月25日 大分地方法務局に登記完了（設立）

10月 5 日 大分県柔道整復師協同組合 臨時総会を開催
(理事 3 名・監事 1 名・組合員 8 名の設立時組合員12名)

12月 2 日 平成24年度 社団法人大分県柔道整復師会 臨時総会で賛助会員、第 1 号のダイヤ工業株式会社の担当者が契約後の流れを説明

12月 4 日 ダイヤ工業株式会社に組合員（賛助会員）名簿を送信

12月 5 日 ダイヤ工業株式会社と契約を締結
(推薦事業者業務契約書・機密保持契約書)

12月10日 ダイヤ工業株式会社と協同組合としての取引を開始
(15日締め翌月10日までの一括払い)

【平成25年】

4 月 1 日 有限会社サイトウ医療器と契約を締結
(推薦事業者業務契約書・機密保持契約書)

4 月 6 日 平成24年度分 会計監査

4月7日 レイジン インターナショナルトレード株式会社と契約を締結
(推薦事業者業務契約書・機密保持契約書)

4月24日 第1回通常総会開催

11月1日 株式会社トキハ会館と契約を締結(推薦事業者業務契約書)

【平成26年】

2月9日 公益社団法人移行・協同組合設立記念式典並びに祝賀会(ホテル白菊)
記念講演(社会医療法人敬和会大分岡病院 院長 森 照明 先生)

4月26日 平成25年度分 会計監査

5月6日 第2回通常総会

【平成27年】

3月8日 講習会(公益社団法人日本柔道整復師会 保険部長 三橋 裕之 先生)

5月6日 平成26年度分 会計監査

5月24日 第3回通常総会(トキハ会館)

11月11日 払込済出資総額の変更登記(大分地方法務局)

11月29日 臨時総会(大分県整骨会館)

【平成28年】

2月7日 講習会(公益社団法人日本柔道整復師会 参事 迫田 光基 先生)

4月29日 平成27年度分 会計監査

5月22日 第4回通常総会(トキハ会館)

【平成29年】

2月11日 講習会(富山大学大学院柔整学講座 主任研究員 酒井 重数 先生)

4月15日 平成28年度分 会計監査

5月21日 第5回通常総会(大分県整骨会館)

【その他】

毎月一回、例会を開催し事業経過報告を行っています。



H 24.6.5 協同組合創立総会



H 26.2.9 記念講演 森 照明 先生

生涯学習のあり方

生涯学習部長

前 川 羊 介



創立 60 周年 記念誌の中で、当時の生涯学習部長 安東鉄男先生の「生涯学習のあゆみ」が明確に語られています。

今年 70 周年と 10 年の歳月が経ちました。そこで今一度 生涯学習のあり方を記念誌に掲載したいと思えます。

平成 18 年 学術実技研修会が「日本柔道整復接骨医学会」に移管により生涯学習委員会の単独開催となり「生涯学習のあり方」の編集が始まりました。

当時の日整生涯学習委員長 刈辺吉博先生が 3 年間、練りに練って今の本質体勢である「生涯学習のあり方Ⅳ」が平成 21 年完成されました。

完成当時、政権は民主党政権に代わり局面を開くべきツールとして、一人ひとり日々自覚・誇り・責任力を高めるために努める事がもてられ、更に『生涯を通し心の潤い・豊かさ等を身につける“人格の陶冶・資質の向上”への努力も必要不可欠です』と申しておられます。

当時の日整会長 萩原 正先生は、公益社団に向けて『「生涯学習のあり方Ⅳ」は医療人として生涯を通じて学習し“人格の陶冶・資質の向上”に努めることを目的とした未来を築くための礎です』と述べられております。

平成 25 年 公益社団法人に認定されました。「生涯学習のあり方Ⅳ」が、見えない形ではありますが一翼を担ったのではないのでしょうか。

生涯学習のあり方から、世界情勢を学び・日本から学び・業界から学び・地域から学び・次世代から学び・自然から学ぶ。まさしく全てが一つというあり方を垣間見られるのではないのでしょうか。

我が国を襲う自然災害から、人として業界として成せる技を学び、多くのボランティア活動の報告で胸が熱くなります。改めて生涯学習のあり方を学ばされました。

皆様の存在そのものが、私にとって人類にとってかけがえのない命と思えてなりません。

生涯学習高単位取得被表彰者

20年度	記載なし					
21年度	認定該当者はありません					
22年度	記載なし					
23年度	記載なし					
24年度	5年連続高単位表彰	清 田 洋 一	安 東 鉄 男			
25年度	高単位取得被表彰者	清 田 洋 一	河 野 靖 久	江 崎 博 明		
26年度	高単位取得被表彰者	清 田 洋 一	河 野 靖 久	江 崎 博 明		
27年度	高単位取得被表彰者	安 東 鉄 男				

★ 20年度以降被表彰者（会員番号順）	12. 清田 洋一	36. 河野 靖久	62. 安東 鉄男	80. 江崎 博明
---------------------	-----------	-----------	-----------	-----------

生涯学習ボランティア活動高単位取得被表彰者

20年度	優良会員表彰	加 藤 和 信	西 原 清	西 邑 幸一郎		
21年度	優良会員表彰	南 徳 泰	田 崎 尚 武	尾 林 大 生		
22年度	ボランティア表彰	南 徳 泰	田 崎 尚 武	尾 林 大 生		
23年度	記載なし					
24年度	5年連続高単位表彰	安 東 鉄 男	南 徳 泰	尾 林 大 生		
25年度	高単位取得被表彰者	西 原 清	南 徳 泰	田 崎 尚 武	尾 林 大 生	江 崎 悟
26年度	高単位取得被表彰者	西 原 清	南 徳 泰	田 崎 尚 武	尾 林 大 生	江 崎 悟
27年度	高単位取得被表彰者	安 東 鉄 男	森 政 彦	南 徳 泰	江 崎 博 明	田 崎 尚 武
		尾 林 大 生	佐々木 昭 仁			

★ 20年度以降被表彰者（会員番号順）	34. 加藤 和信	62. 安東 鉄男	80. 江崎 博明	89. 西原 清
	92. 南 徳泰	133. 尾林 大生	136. 田崎 尚武	148. 森 雅彦
	168. 佐々木昭仁	244. 西邑幸一郎	江崎 悟	

会員の栄誉

南 了 介 厚生大臣 S53. 10. 28

婦 一 賞 S58. 6. 4

住 吉 壽 人 日整会長 S46. 6. 6

日整会長 S53. 10. 28



南 了 介

祓 川 一 郎 (社)大分県柔道整復師会 S52. 4. 23
30年勤務記念表彰

鎌 田 実 " S52. 4. 23

上 野 勝 幸 " S52. 4. 23

菊 力 雄 " S52. 4. 23

川 辺 孝 " S53. 4. 22

河 野 喜 重 " S53. 4. 22



祓 川 一 郎



鎌 田 実



上 野 勝 幸



菊 力 雄



川 辺 孝



河 野 喜 重

◇柔道(日 整)

上 野 勝 幸 日整会長 S58. 6. 4

鎌 田 実 日整会長 S58. 6. 4

橋 本 保 範 日整会長 S59.10.27



橋 本 保 範

◇柔道(九州ブロック会長)

上 野 勝 幸 S61. 7. 26

今 村 昭 紀 "

岡 部 義 人 "

橋 本 保 範 "

宇 都 宮 育 郎 "

加 藤 亨 S62. 7. 18



加 藤 亨

講道館柔道 高段者(八段以上)

九段 祓 川 一 郎

福 田 道 雄

八段 上 野 勝 幸

阿 部 吉 信

加 藤 亨

鎌 田 実

武 原 利 雄



福 田 道 雄



阿 部 吉 信



武 原 利 雄

(創立40周年社団法人設立10周年記念誌より転載したもの)

会員の榮譽

【昭 63. 1. 1～平 9 .12.31】

叙勲、大臣表彰

鎌 田 実 (故)	勲五等瑞宝章 (自治)	H元. 7. 1
南 了 介 (故)	勲五等瑞宝章 (医療)	H 4. 1. 14
	労働大臣表彰	S 63. 6. 11

大分県知事表彰、知事感謝状



重 石 一 郎

重 石 一 郎 (故)	H 5. 11. 3
上 野 勝 幸	H 7. 11. 3
	S 63. 2. 20 感謝状
鎌 田 実 (故)	S 63. 2. 20 感謝状

※ 地方自治において、S 62. 11. 3 知事表彰を受彰されている

別府市長表彰

福 田 晃 臣	H 5. 11. 23
福 田 道 雄	H 6. 11. 23
清 田 洋 一	H 9. 11. 23

津久見市長表彰

上 野 勝 幸	H 5. 11. 3
---------	------------



福 田 晃 臣

日整会長表彰、会長感謝状

河 野 喜 重	S 63. 6. 11	
川 辺 孝	S 63. 6. 11	
重 石 一 郎 (故)	S 63. 6. 11	
清 田 洋 一	H 5. 3. 26	西 邑 伊三郎 H 5. 3. 26 感謝状

柔道 [九州ブロック会長表彰]

橋 本 保 範	H 8 . 7 .20	(15 回以上出場)
今 村 昭 紀	H 8 . 7 .20	(15 回以上出場)
宇都宮 育 郎	H 8 . 7 .20	(15 回以上出場)
岡 部 義 人 (退)	H 2 . 6 .16	(10 回以上出場)
小 林 三 二	H 5 . 7 .31	(10 回以上出場)
狭 間 智 一	H 5 . 7 .31	(10 回以上出場)
田 辺 順	H 6 . 7 .24	(10 回以上出場)
重 石 一 昭	H 6 . 7 .24	(10 回以上出場)
森 萬 三	H 9 . 7 .12	(10 回以上出場)
河 野 実	H 9 . 7 .12	(10 回以上出場)
国 廣 幸 治	H 9 . 7 .12	(10 回以上出場)
矢 黒 直 義	H 元 . 9 .24	(5 回以上出場)
安 東 鉄 男	H 2 . 6 .16	(5 回以上出場)
武 原 誠	H 4 . 7 .31	(5 回以上出場)
江 崎 博 明	H 6 . 7 .24	(5 回以上出場)
青 木 敏 夫	H 8 . 7 .20	(5 回以上出場)
秋 吉 昇	H 8 . 7 .20	(5 回以上出場)
江 藤 正 男	H 9 . 7 .12	(5 回以上出場)
安 松 宏 幸	H 9 . 7 .12	(5 回以上出場)



森 萬 三

※ 最高出場表彰
のみ掲載



青 木 敏 夫

(社)大分県柔道整復師会 30 年勤務記念表彰

金 枝 徳 広	H 4 . 4 .24
福 田 晃 臣	H 5 . 4 .28
重 石 一 郎 (故)	H 5 . 4 .28
西 邑 伊三郎	H 5 . 4 .28
住 吉 壽 人	H 8 . 4 .26

(社)大分県柔道整復師会会長感謝状

福 田 晃 臣	S 63. 2 .20 (社団 10 周年にあたり自作絵画贈呈) (※ S 61.11.16 会務功労に対し感謝状歴)
川 辺 孝	S 63. 2 .20 (社団 10 周年にあたり会務功労に対し)
重 石 一 郎 (故)	S 63. 2 .20 (同)
住 吉 壽 人	S 63. 2 .20 (同)

(創立50周年社団法人設立20周年記念誌より転載したもの)

会員の荣誉

(H10.1.1~H19.12.31)

大臣表彰

上野 勝幸 (故)	平成11年 3月26日	労働大臣表彰
坂本 正光	平成15年 3月31日	厚生労働大臣表彰



坂本 正光

大分県知事表彰、知事感謝状

坂本 正光	平成14年11月 3日	表彰
清田 洋一	平成17年11月 3日	表彰
鎌田 実信	平成19年11月 3日	表彰
金枝 徳広	平成10年 2月15日	感謝状
西邑伊三郎	平成10年 2月15日	感謝状

日整会長表彰、会長感謝状

坂本 正光	平成11年 3月26日	表彰
上野 勝幸 (故)	平成11年 3月26日	永年表彰
河野 喜重 (故)	平成11年 3月26日	永年表彰
川辺 孝 (故)	平成11年 3月26日	永年表彰
福田 晃臣 (故)	平成15年 3月31日	永年表彰
金枝 徳広	平成15年 3月31日	永年表彰
西邑伊三郎	平成15年 3月31日	永年表彰
森 萬三 (故)	平成10年 2月15日	感謝状
河野 靖久	平成10年 2月15日	感謝状
鎌田 実信	平成10年 2月15日	感謝状
金枝 徳広	平成15年 3月31日	感謝状
杉田 洋一	平成15年 3月31日	感謝状
重石 一昭	平成15年 3月31日	感謝状



金枝 徳広

(社)大分県柔道整復師会30年勤務記念表彰

坂本 正光	平成12年11月19日
金枝 徳広	平成14年 4月19日
清田 洋一	平成19年 4月22日
森 萬三 (故)	平成19年 4月22日
今村 昭紀	平成19年 4月22日
福光 文夫	平成19年 4月22日
杉田 洋一	平成19年 4月22日

(社) 大分県柔道整復師会会長表彰・感謝状

今村 昭紀	平成10年 2月15日	(特別功労)
杉田 洋一	平成10年 2月15日	(特別功労)
森 萬三 (故)	平成13年 4月20日	(役員表彰)
西邑伊三郎	平成14年 4月19日	(役員表彰)
今村 昭紀	平成19年 4月22日	(役員表彰)
安東 常富	平成19年 4月22日	(役員表彰)
加藤 和信	平成10年 2月15日	(学術功労感謝状)
武原 誠	平成10年 2月15日	(学術功労感謝状)
森 政彦	平成10年 2月15日	(柔道功労感謝状)



第21回九州ブロック会柔道大会
沖縄大会 優勝



第26回九州ブロック会柔道大会
大分大会 優勝

日整柔道功労者表彰

H11年10.11

重 石 一 昭 (日整大会五回以上出場)



重 石 一 昭

H16年10.11

森 政 彦 (日整大会五回以上出場)



森 政 彦

柔道九州ブロック会長表彰

※最高出場表彰のみ掲載

今 村 昭 紀	H16・7・18	25回以上出場
宇都宮 育 郎	H17・7・17	〃
狭 間 智 一	H15・7・26	20回以上出場
田 邊 順	H16・7・18	〃
重 石 一 昭	H19・7・21	〃
河 野 実	H19・7・21	〃
国 廣 幸 治	H19・7・21	〃
江 崎 博 明	H18・7・1	15回以上出場
青 木 敏 夫	H13・7・14	10回以上出場
安 東 鉄 男	H13・7・14	〃
安 松 宏 幸	H14・7・13	〃
江 藤 正 男	H16・7・18	〃
興 田 尚 玄	H12・7・8	5回以上出場
森 政 彦	H13・7・14	〃
酒 井 裕 治	H16・7・18	〃
永 竿 茂 男	H18・7・1	〃
大 谷 直 人	H18・7・1	〃

(創立60周年社団法人設立30周年記念誌より転載したもの)

会員の栄誉 (H20.1.1 ~ H29.5.31)

叙 勲

清 田 洋 一	H27. 11. 3	旭日双光章
河 野 靖 久	H29. 4. 29	旭日单光章



清 田 洋 一



河 野 靖 久



旭日双光章 清田洋一先生(右)
旭日单光章 河野靖久先生(左)



H28.2.21

大臣表彰

清 田 洋 一	H20. 3. 30	厚生労働大臣表彰
加 藤 和 信	H25. 3. 24	労災補償行政関係功労者賞
河 野 靖 久	H25. 3. 24	柔道整復業務功労者賞



加藤和信 河野靖久

大分県知事表彰・知事感謝状

住 吉 壽 人	H20. 2. 10	感謝状
河 野 靖 久	H20. 11. 3	表彰
杉 田 洋 一	H23. 11. 3	表彰
加 藤 和 信	H24. 11. 3	表彰 (社会福祉保健功労)
重 石 一 昭	H26. 2. 9	感謝状 65 周年
石 邑 伊 三 郎	H26. 11. 3	表彰
西 村 昭 紀	H27. 11. 3	表彰
宇 都 宮 育 郎	H29. 5. 28	感謝状 70 周年
	H29. 5. 28	感謝状 70 周年



創立 70 周年 県知事感謝状
H29.5.28



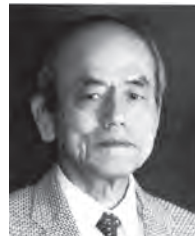
住 吉 壽 人



杉 田 洋 一



重 石 一 昭



西 村 昭 紀



今 村 昭 紀



宇 都 宮 育 郎

日整会長表彰・会長感謝状

住 吉 壽 人	H20. 2. 10	永年表彰
河 野 靖 久	H20. 2. 10	表彰
杉 田 洋 一	H20. 2. 10	表彰
加 藤 和 信	H20. 2. 10	表彰
安 東 常 富	H20. 2. 10	感謝状
野 上 博 祐	H25. 3. 24	表彰 (役員表彰)
江 崎 博 明	H25. 3. 30	永年表彰
住 吉 幸 助	H25. 3. 30	感謝状 (役員)
	H25. 3. 30	感謝状 (役員)
	H25. 6. 23	帰一賞 (功労賞)
	H26. 2. 9	永年表彰 65 周年
	H26. 2. 9	感謝状 65 周年
	H29. 5. 28	表彰 70 周年



鎌 田 実 信



安 東 常 富



福田祐司 江崎博明



住 吉 幸 助

安野清
今杉手
佐重

東田村
田寫藤
石

鐵光洋
昭洋重
えい一
昭

男
一紀一
徳き
昭

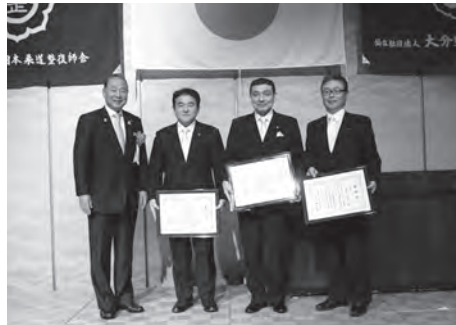
H29. 5. 28
H29. 5. 28
H29. 5. 28
H29. 5. 28
H29. 5. 28
H29. 5. 28
H29. 5. 28
H29. 5. 28

感謝状
感謝状
永年表彰
永年表彰
永年表彰
永年表彰
永年表彰
永年表彰

70周年
70周年
70周年
70周年
70周年
70周年
70周年
70周年



手 寫 重 徳



創立 70 周年 日整会長表彰感謝状



創立 70 周年 日整永年表彰

(公社) 大分県柔道整復師会会長表彰・感謝状

重
清
杉

石
田
田

一
洋
洋

昭
一
一

H21. 4. 20
H23. 4. 24
H23. 4. 24

役員表彰
役員表彰
役員表彰



宇都宮育郎 重石一昭 池田茂男



杉田洋一 清田洋一

(公社) 大分県柔道整復師会 30 年永年勤続記念表彰

手
末
佐
重
野
宇
都
田
土
小
藤
吉
加
奥
福
河

寫
廣
藤
石
田
宮
邊
谷
林
川
成
藤
田
野

重
修
え
い
一
健
育
恵
三
勝
和
輝
祐
靖

徳
司
き
昭
治
郎
順
一
二
雄
章
信
重
司
久

(退)

(故)

H20. 4. 27
H20. 4. 27
H20. 4. 27
H20. 4. 27
H21. 4. 26
H21. 4. 26
H22. 4. 25
H22. 4. 25
H23. 4. 24
H23. 4. 24
H23. 4. 24
H23. 4. 24
H23. 4. 24
H23. 4. 24
H23. 4. 24
H23. 4. 24



末 廣 修 司



野 田 健 治



藤 川 勝 雄



H22.4.25
田邊 順 土谷恵一



H23.4.24

鎌田	田原	実	信誠	H23.	4.	24	
武渡	辺	了	祐	H23.	4.	24	
狭間	智		一	H24.	4.	22	
杉田	周		壽	H24.	4.	22	
津崎	茂		治	H24.	4.	22	
池田	卓		男	H24.	4.	22	
塩藤	敏		(退)	H25.	4.	21	
清井			広	H25.	4.	21	
後水			行	H25.	4.	21	
安藤		俊	進	H26.	2.	9	65 周年
奥部		哲	男	H26.	2.	9	65 周年
山内			也	H26.	2.	9	65 周年
堅田	兼		一	H26.	2.	9	65 周年
飯田			實	H26.	2.	9	65 周年
萱嶋			尊	H26.	2.	9	65 周年
安東	鉄		哲	H27.	5.	24	
菅三	治		男	H27.	5.	24	
藤孝			次	H28.	5.	22	
江正			男	H28.	5.	22	
安常			富	H28.	5.	22	
千克			彦	H28.	5.	22	
河智			実	H28.	5.	22	
園恵			子	H28.	5.	22	
帯啓			貴	H29.	5.	28	70 周年
首文			教	H29.	5.	28	70 周年
野光			広	H29.	5.	28	70 周年
渡一			夫	H29.	5.	28	70 周年
安路			治	H29.	5.	28	70 周年
国幸				H29.	5.	28	70 周年



奥田輝重



藤川敏行



安部俊男



H24.4.22

津崎周治 渡辺了祐 狭間智一 杉田 壽



H25.4.21

清水 薫 塩井卓広



創立 65 周年記念式典表彰者



H27.5.24 安東鉄男 萱嶋 哲



H28.5.22



創立 70 周年 H29.5.28



奥田哲也



山内 一



菅 治三男



藤田孝次



首藤文教



渡辺 一 夫

第39回日整九州ブロック会柔道大会優勝報告会開催 13年ぶり V 6度目の頂点



祝勝会 参加者一同

平成28年8月27日19時より大分センチュリーホテルにて、第39回九州ブロック会柔道大会(長崎)優勝報告会並びに祝勝会を開催。ご来賓、会員多数の参加のもと、13年ぶり6度目の優勝の喜びを分かち合った。

参考資料

過去5回の本会優勝大会

- | | |
|----------|----------|
| 第2回大分大会 | 第3回福岡大会 |
| 第5回福岡大会 | 第21回沖縄大会 |
| 第26回大分大会 | |



優勝カップ



国広幸治監督



優勝旗

第40回日整全国柔道大会出場 九州ブロック会 ベスト8



安東鉄男会員の5回出場表彰

平成28年10月9日(日)、講道館にて上記大会が開催されました。本会より九州ブロック会代表として、監督に国広幸治会員、50代に安東鉄男会員が出場し、



準々決勝戦へ

初戦東京Bを4-0で破り、準々決勝で惜しくも北信越西に敗れベスト8となりました。

尚、安東鉄男会員は5回出場表彰を受けました。



安東鉄男会員の熱戦風景

(整骨“夢”おおいた8号より)

(日整柔道功労者表彰)

H28. 10. 9 安東 鉄男 (日整大会5回以上出場) P92, P97参照

(九州ブロック会長柔道表彰)

田 邊 順	H21. 6. 27	25回以上出場
国 広 幸 治	H25. 7. 27	〃
安 松 宏 幸	H26. 7. 20	20回以上出場
安 東 鉄 男	H28. 7. 30	〃
安 松 宏 幸	H21. 6. 27	15回以上出場
江 藤 正 男	H23. 7. 9	〃
安 東 鉄 男	H23. 7. 9	〃
酒 井 裕 治	H26. 7. 20	〃
重 石 雄 大	H27. 8. 9	10回以上出場
森 政 彦	H28. 7. 30	〃
永 竿 茂 男	H23. 7. 9	〃
高 橋 祥 三	H23. 7. 9	5回以上出場
金 堂 大 一	H24. 7. 15	〃
迫 野 哲 也	H24. 7. 15	〃



田邊 順会員
(25回出場)



国広幸治会員
(25回出場)

(九州ブロック会 柔道大会のあゆみ)

	監 督	審 判	選 手
第1回	S53. 6. 17 上野 勝幸 (宮崎)	福田 道雄 阿部 吉信	鎌田 実・岡部 義人 加藤 亨・今村 昭紀 森 満三 (団体戦)
第2回	S54. 6. 16 上野 勝幸 優勝 (大分)	福田 道雄 阿部 吉信	<50歳代>橋本 保範 <30歳代>森 萬三・岡部 義人・重石 一昭 <20歳代>今村 昭紀・宇都宮育郎・田邊 順
第3回	S55. 6. 21 上野 勝幸 優勝 (福岡)	鎌田 実 加藤 亨	<50歳代>橋本 保範 <30歳代>今村 昭紀・岡部 義人・重石 一昭・田邊 順 <20歳代>宇都宮育郎
第4回	S56. 6. 20 上野 勝幸 (長崎)	鎌田 実 加藤 亨	<50歳代>橋本 保範・武原 利雄 <30歳代>田邊 順・今村 昭紀 <20歳代>宇都宮育郎・矢黒 直義
第5回	S57. 6. 18 上野 勝幸 優勝 (福岡)	加藤 亨	<形>加藤 亨・武原利雄 <50歳代>橋本 保範・武原 利雄 <40歳代>建 光利 <30歳代>今村 昭紀・生山 佳雄・宇都宮育郎・田邊 順・岡部 義人 小林 三二 <20歳代>矢黒 直義・木谷 智一・高田 靖浩
第6回	S58. 6. 18 福田 道雄 (鹿児島)	加藤 亨	<50歳代>橋本 保範・藤原 謙次 <30歳代>今村 昭紀・宇都宮育郎・武原 誠 <20歳代>木谷 智一・高田 靖浩・矢黒 直義
第7回	S59. 6. 16 武原 利雄 (佐賀)	橋本 保範	<50歳代>藤原 謙次 <30歳代>岡部 義人・今村 昭紀・小林 三二・生山 佳雄・田邊 順 宇都宮育郎・矢黒 直義 <20歳代>木谷 智一・高田靖浩
第8回	S60. 6. 29 福田 道雄 (熊本)	橋本 保範	<40歳代>森 萬三 <30歳代>今村 昭紀・岡部 義人・宇都宮育郎・小林 三二・武原 誠 生山 佳雄 <20歳代>小原 範俊・安東 鉄男
第9回	S61. 7. 26 加藤 亨 (宮崎)	橋本 保範	<40歳代>森 萬三 <30歳代>岡部 義人・青木 敏夫・重石 一昭・小林 三二・今村 昭紀 宇都宮育郎・武原 誠・矢黒 直義・木谷 智一 <20歳代>小原 範俊・高田 靖浩・安東 鉄男

	監 督	審 判	選 手
第10回	S62. 7. 18 加藤 亨 (大分)	橋本 保範	<演武「投の形」>安東 鉄男・国廣 幸治 <40歳代>岡部 義人・衛藤 良一・青木 敏夫 <30歳代>河野 実・重石 一昭・狹間 智一・矢黒 直義・宇都宮育郎 小林 三二・田邊 順・江藤 正男 <20歳代>小原 範俊・安東 鉄男・国廣 幸治・高田 靖浩
第11回	S63. 8. 21 鎌田 実 (長崎)	橋本 保範	<40歳代>岡部 義人・重石 一昭・小林 三二 <30歳代>今村 昭紀・宇都宮育郎・田邊 順・矢黒 直義・武原 誠 狹間 智一・河野 実 <20歳代>安東 鉄男・国廣 幸治
第12回	H元. 9. 24 森 萬三 (熊本)	藤原 謙次	<40歳代>岡部 義人・重石 一昭・小林 三二 <30歳代>今村 昭紀・宇都宮育郎・狹間 智一・河野 実 <20歳代>安東 鉄男・国廣 幸治・江崎 博明
第13回	H2. 6. 16 森 萬三 (沖縄)	橋本 保範	<40歳代>中村 廣行・小林 三二・重石 一昭・岡部 義人・今村 昭紀 <30歳代>河野 実・狹間 智一・宇都宮育郎・安東 鉄男 <20歳代>国廣 幸治・江崎博明
第14回	H3. 6. 22 森 萬三 (長崎)	橋本 保範	<40歳代>武原 誠・宇都宮育郎・田邊 順・今村 昭紀・中村 廣行 小林 三二・重石 一昭 <30歳代>安東 鉄男・秋吉 昇・河野 実・狹間 智一 <20歳代>国廣 幸治・江崎 博明
第1回(通算15回手権)	H4. 7. 31 森 萬三 (熊本)	橋本 保範	<40歳代>村上 俊雄・武原 誠・宇都宮育郎・田邊 順・今村 昭紀 中村 廣行・小林三二・重石 一昭 <30歳代>江藤 正男・安東 鉄男・秋吉 昇・河野 実・狹間 智一 国廣 幸治 <20歳代>安松 宏幸・江崎 博明
第2回(通算16回手権)	H5. 7. 31 森 萬三 (鹿児島)	橋本 保範	<40歳代>村上 俊雄・武原 誠・宇都宮育郎・田邊 順・今村 昭紀 花田 秀昭・青木 敏夫・重石 一昭 <30歳代>江藤 正男・安東 鉄男・秋吉 昇・河野 実・狹間 智一 国廣 幸治・安松 宏幸 <20歳代>江崎 博明
第3回(通算17回手権)	H6. 7. 24 橋本 保範 (宮崎)		<40歳代>青木 敏夫・村上 俊雄・武原 誠・宇都宮育郎・田邊 順 今村 昭紀・重石 一昭 <30歳代>江藤 正男・秋吉 昇・河野 実・狹間 智一・国廣 幸治 安松 宏幸・江崎 博明
第18回	H7. 6. 24 橋本 保範 (大分)	花田 秀昭	<形演武「投の形」>鎌田 実信・武原 誠 <40歳代>衛藤 良一・狹間 智一・青木 敏夫・田邊 順・宇都宮育郎 重石 一昭・今村 昭紀 <30歳代>安松 宏幸・秋吉 昇・江崎 博明・国廣 幸治・河野 実 <20歳代>興田 尚玄
第19回	H8. 7. 20 森 萬三 (福岡)	花田 秀昭	<40歳代>青木 敏夫・今村 昭紀・田邊 順・宇都宮育郎・狹間 智一 江藤 正男 <30歳代>河野 実・秋吉 昇・国廣 幸治・安松 宏幸・江崎 博明 <20歳代>森 政彦・興田 尚玄
第20回	H9. 7. 12 重石 一昭 (佐賀)	花田 秀昭	<50歳代>衛藤 良一 <40歳代>青木 敏夫・今村 昭紀・田邊 順・宇都宮育郎・狹間 智一 江藤 正男・河野 実 <30歳代>秋吉 昇・国廣 幸治・安松 宏幸・江崎 博明 <20歳代>森 政彦・興田 尚玄
第21回	H10. 6. 27 重石 一昭 優勝 (沖縄)		<50歳代>青木 敏夫・重石 一昭 <40歳代>河野 実・江藤 正男・狹間 智一・宇都宮育郎・田邊 順 今村 昭紀 <30歳代>安松 宏幸・国廣 幸治 <20歳代>興田 尚玄・森 政彦

	監 督	審 判	選 手
第22回	H11. 6. 26 森 萬三 (長崎)	重石 一昭	<50歳代>青木 敏夫・衛藤 良一 <40歳代>秋吉昇(退)・江藤 正男・河野 実・狭間 智一・宇都宮育郎 今村 昭紀・田邊 順 <30歳代>興田 尚玄・森 政彦・江崎 博明・安松 宏幸・国廣 幸治 <20歳代>酒井 裕治
第23回	H12. 7. 8 今村 昭紀 (熊本)	重石 一昭	<50歳代>青木 敏夫・田邊 順・今村 昭紀 <40歳代>安東 鉄男・河野 実・狭間 智一・宇都宮育郎 <30歳代>興田 尚玄・森 政彦・江崎 博明・安松 宏幸・国廣 幸治 <20歳代>酒井 裕治
第24回	H13. 7. 14 今村 昭紀 (鹿児島)	重石 一昭	<50歳代>今村 昭紀・田邊 順・青木 敏夫・宇都宮育郎 <40歳代>狭間 智一・安東 鉄男・江藤 正男・河野 実 <30歳代>国廣 幸治・江崎 博明・安松 宏幸・興田 尚玄・森 政彦 <20歳代>酒井 裕治・永竿 茂男・重石 雄大・大谷 直人
第25回	H14. 7. 13 森 萬三 (宮崎)	重石 一昭	<50歳代>田邊 順・今村 昭紀・青木 敏夫 <40歳代>国廣 幸治・狭間 智一・河野 実 <30歳代>大谷 直人・永竿 茂男・酒井 裕治・興田 尚玄・森 政彦 江崎 博明・安松 宏幸
第26回	H15. 7. 26 宇都宮育郎 優勝(大分)	安東 鉄男	<50歳代>宇都宮育郎・田邊 順・今村 昭紀・青木 敏夫 <40歳代>安松 宏幸・国廣 幸治・江藤 正男・河野 実・狭間 智一 <30歳代>大谷 直人・永竿 茂男・川端 高智・酒井 裕治・興田 尚玄 森 政彦 <20歳代>重石 雄大
第27回	H16. 7. 18 宇都宮育郎 (福岡)	安東 鉄男	<50歳代>宇都宮育郎・田邊 順・今村 昭紀 <40歳代>江崎 博明・安松 宏幸・国廣 幸治・江藤 正男・河野 実 狭間 智一 <30歳代>大谷 直人・永竿 茂男・川端 高智・酒井 裕治・森 政彦 直人・永竿 茂男
第28回	H17. 7. 17 宇都宮育郎 (佐賀)	重石 一昭	<50歳代>狭間 智一・宇都宮育郎・田邊 順・今村 昭紀 <40歳代>江崎 博明・安松 宏幸・国廣 幸治・河野 実・江藤 正男 <30歳代>重石 雄大・酒井 裕治・川端 高智・大谷 直人・永竿 茂男 <20歳代>濱田 真介
第29回	H18. 7. 1 宇都宮育郎 (沖縄)	重石 一昭	<50歳代>狭間 智一・河野 実・田邊 順 <40歳代>江崎 博明・安松 宏幸・国廣 幸治 <30歳代>川端 昌智・酒井 裕治・川端 高智・大谷 直人・永竿 茂男 <20歳代>濱田 真介・高橋 祥三
第30回	H19. 7. 21 宇都宮育郎 (長崎)	鎌田 実信	<50歳代>江藤 正男・田邊 順 <40歳代>安松 宏幸・国廣 幸治 <30歳代>高橋 祥三・重石 雄大・永竿 茂男・大谷 直人・酒井 裕治 <20歳代>迫野 哲也・金堂 大一
第31回	H20. 6. 28 田邊 順 (熊本)		<50歳代>江藤 正男 <30歳代>金堂 大一・重石 雄大・大谷 直人・永竿 茂男・酒井 裕治 <20歳代>迫野 哲也・高橋 祥三
第32回	H21. 6. 27 田邊 順 3位(鹿児島)	鎌田 実信 安東 鉄男	<40歳代>国広 幸治・安松 宏幸 <30歳代>大谷 直人・高橋 祥三・金堂 大一・酒井 裕治・重石 雄大 永竿 茂男 <20歳代>迫野 哲也
第33回	H22. 7. 10 田邊 順 準優勝 (福岡) 宮崎	鎌田 実信	<50歳代>江藤 正男・安東 鉄男 <40歳代>国広 幸治・安松 宏幸 <30歳代>大谷 直人・高橋 祥三・金堂 大一・酒井 裕治・重石 雄大 <20歳代>迫野 哲也

(H19.7.21 第30回大会までは過去の創立記念誌より転載したもの。)

	監 督	審 判	選 手			
第34回	H23. 7. 9 田邊 順 第3位(宮崎)	重石 一昭	<50歳代>安東 鉄男 <40歳代>国広 幸治・安松 宏幸 <30歳代>迫野 哲也・高橋 祥三・永竿 茂男・金堂 大一・酒井 裕治 加藤 豪			
第35回	H24. 7. 15 田邊 順 準優勝(大分)	重石 一昭	<50歳代>国広 幸治・江藤 正男・安東 鉄男 <40歳代>大谷 直人・永竿 茂男・酒井 裕治・安松 宏幸 <30歳代>近藤 史章・加藤 豪・迫野 哲也・金堂 大一・高橋 祥三 <20歳代>梅崎 孝次			
第36回	H25. 7. 27 江藤正男 第3位(福岡)	鎌田 実信	<50歳代>安松 宏幸・国広 幸治・安東 鉄男 <40歳代>大谷 直人・永竿 茂男・酒井 裕治 <30歳代>迫野 哲也・金堂 大一・高橋 祥三・加藤 豪 <20歳代>梅崎 孝次・井本 佳太・近藤 史章			
第37回	H26. 7. 20 江藤正男 準優勝(佐賀)	森 政彦	<50歳代>安松 宏幸・国広 幸治・安東 鉄男 <40歳代>重石 雄大・酒井 裕治・大谷 直人・永竿 茂男 <30歳代>近藤 史章・迫野 哲也・金堂 大一・高橋 祥三・加藤 豪 <20歳代>森 一馬・河野 貴彦・梅崎 孝次・井本 佳太			
第38回	H27. 8. 9 江藤正男 準優勝 (福岡) 沖縄	森 政彦	<50歳代>安松 宏幸・国広 幸治・安東 鉄男 <40歳代>重石 雄大・大谷 直人 <30歳代>近藤 史章・金堂 大一・加藤 豪・高橋 祥三 <20歳代>森 一馬・星野 誠二・井本 佳太			
第39回	H28. 7. 30 国広幸治 優勝(長崎)	森 政彦	<50歳代>安松 宏幸・安東 鉄男 <40歳代>重石 雄大・酒井 裕治・大谷 直人・永竿 茂男 <30歳代>井本 佳太・近藤 史章・金堂 大一・高橋 祥三・加藤 豪 <20歳代>森 一馬・星野 誠二・梅崎 孝次			



第32回 祝！団体3位入賞



第35回 祝!!! 団体準優勝



第38回 祝!!!!!! 団体準優勝

九州ブロック会柔道大会参加会員



第33回 祝!! 団体準優勝



第37回 祝!!!!!! 団体準優勝



第39回 団体優勝 v(^ ^)v

(日整全国柔道大会のあゆみ)

	監 督	審判	選 手
第1回			
第2回	S53. 10. 28 (東京)		鎌田 実 今村 昭紀
第3回	S54. 9. 1 上野 勝幸 (京都)		今村 昭紀 重石 一昭 橋本 保範
第4回	S55. 8. 30 上野 勝幸 (東京)		今村 昭紀 橋本 保範 宇都宮育郎
第5回	S56. 10. 24 (横浜)		橋本 保範
第6回	S57. 8. 18 上野 勝幸 (愛知県)	(形) 武原 利雄 加藤 亨	今村 昭紀 橋本 保範
第7回	S58. 11. 5 (神戸)		橋本 保範
第8回	S59. 10. 27 (東京)		
第9回	S60. 10. 26 (新潟)	橋本 保範	
第10回	S61. 10. 25 (千葉)		重石 一昭
第11回	S62. 10. 24 (大阪)	橋本 保範	狭間 智一 岡部 義人
第12回	S63. 10. 22 (仙台)		重石 一昭
第13回	H元. 10. 28 (東京)		
第14回	H2. 10. 27 (浦和)		
第15回	H3. 10. 26 (岡山)		重石 一昭
第1回 選手権 (第16回)	H4. 10. 4 (東京)		
第2回 選手権 (第17回)	H5. 10. 3 (東京)		
第3回 選手権 (第18回)	H6. 10. 2 (東京)		
第19回	H7. 10. 15 (東京)		
第20回	H8. 10. 6 (東京)		森 政彦 (優秀選手)
第21回	H9. 10. 12 (東京)		安松 宏幸 森 政彦
第22回	H10. 10. 11 重石 一昭 (東京)		安松 宏幸 森 政彦

	監 督	審判	選 手
第23回	H11. 10. 11 (東京)		
第24回	H12. 10. 9 (東京)		
第25回	H13. 10. 8 (東京)		
第26回	H14. 10. 14 (東京)		森 政彦
第27回	H15. 10. 13 宇都宮育郎 (東京)	安東 鉄男	森 政彦
第28回	H16. 10. 11 (東京)		
第29回	H17. 10. 10 (東京)		
第30回	H18. 10. 9 (東京)		
第31回	H19. 10. 8 (東京)		
第32回	H20. 10. 13 (東京)		
第33回	H21. 10. 12 (東京)		大谷 直人
第34回	H22. 10. 11 (東京)		安東 鉄男
第35回	H23. 10. 10 (東京)		
第36回	H24. 10. 8 (東京)	安東 鉄男	
第37回	H25. 10. 14 (東京)		
第38回	H26. 10. 13 (東京)		森 一馬 安東 鉄男
第39回	H27. 10. 12 (東京)		安東 鉄男
第40回	H28. 10. 9 (東京) 国広 幸治		安東 鉄男



優秀選手となった森政彦会員 (中央)
(第20回 H8.10.6 講道館)

日整全国少年柔道大会のあゆみ

年度	回	会員監督	先鋒（4年生）	次鋒（5年生）	中堅（5年生）	副将（6年生）	大将（6年生）
H 4	第 1 回						
H 5	第 2 回						
H 6	第 3 回						
H 7	第 4 回	重 石 一 昭	清錬館道場チーム（九州ブロック代表）				
H 8	第 5 回						
H 9	第 6 回	鎌 田 実 信	鎌田道場チーム（当大会より 1 県 1 代表）				
H10	第 7 回	安 東 常 富	高田少年柔道クラブ				
H11	第 8 回	花 田 秀 昭	別府練心会道場				
H12	第 9 回	今 村 昭 紀	今村整骨院少年柔道クラブ				
H13	第10回	田 邊 順	会員道場選抜チーム（合同）				
H14	第11回	鎌 田 実 信	会員道場選抜チーム				
H15	第12回	重 石 一 昭	会員道場選抜チーム				
H16	第13回	重 石 一 昭	会員道場選抜チーム				
H17	第14回	鎌 田 実 信	会員道場選抜チーム				
H18	第15回	森 政 彦	吉良儀城（白 杵）	金山天地（USA）	岡田果穂（雄心館）	安部祥央（安 岐）	嵩田勝斗（USA）
H19	第16回	酒井裕治	佐 藤 誠（秀鋭館）	竹根佳風（中 津）	阿部将一郎（雄心館）	阿 部 敬 介（雄心館）	但馬総汰郎（真道館）
H20	第17回	大谷直人	赤嶺泰一（大 豊）	阿部ゆりか（雄心館）	長 野 修（大 豊）	阿 部 哲 也（雄心館）	平崎省吾（日 田）
H21	第18回	永竿茂男	中島大貴（雄心館）	高橋泰之郎（扶 間）	工 藤 祐 輝（扶 間）	阿部ゆりか（雄心館）	佐 藤 誠（秀鋭館）
H22	第19回	重石雄大	土谷颯太（USA）	嵩田恵介（USA）	中島大貴（雄心館）	高橋泰之郎（扶 間）	工 藤 祐 輝（扶 間）
H23	第20回	迫野哲也	林将太郎（自勝館）	吉田伊吹（杵 築）	土谷颯太（USA）	嵩田恵介（USA）	中島大貴（雄心館）
H24	第21回	酒井裕治	永竿慶弥（USA）	村上さくら（USA）	林将太郎（自勝館）	山 中 瞭（秀鋭館）	吉田伊吹（杵 築）
H25	第22回	永竿茂男	小仲周太郎（安 岐）	野地川友里（海 部）	永竿慶弥（USA）	佐藤正崇（豊後大野）	林将太郎（自勝館）
H26	第23回	永竿茂男	佐藤晴輝（安心院）	小仲周太郎（安 岐）	村田大起（秀鋭館）	姫野秀太（海 部）	猪俣雄風（国 東）
H27	第24回	永竿茂男	藤 原 菱（小倉塾）	中西洋貴（小倉塾）	佐藤晴輝（安心院）	矢野海里（小倉塾）	小 川 輝（小倉塾）
H28	第25回	永竿茂男	吉田太陽（森道場）	高木葉月（自勝館）	伊藤瑳紅（高 田）	長 澤 響（弥 生）	佐藤晴輝（安心院）

日整全国少年柔道形競技会のあゆみ

年度	回	会員監督	取	受
H24	第二回	安 東 鉄 男	遠藤 来未（臼杵市柔道連盟少年部）	伊藤 杏奈（庚辰館）
H28	第六回	安 東 鉄 男	林 優那（臼杵市柔道連盟少年部）	白根 新太（安東道場）



第 19 回大会出場選手

ベスト8



第 20 回大会出場選手

大分県整骨旗争奪少年柔道大会 栄光の記録 (団体・個人戦)

年度	回	学 年	優 勝	準 優 勝	第 三 位	第 三 位
H17	第一回	団体戦	U S A s. j. c A	高田少年柔道クラブA	高田少年柔道クラブB	雄心館道場B
H18	第二回	団体戦	中津少年柔道クラブA	高田少年柔道クラブA	雄心館道場A	青洞館A
		4年生	吉 良 儀 城 (白 杵)	安 藤 慎 平 (秀鋭館)	阿 部 将 一 郎 (雄心館)	時 枝 大 祐 (USA)
		5年生	金 山 天 地 (USA)	岡 田 果 穂 (雄心館)	但 馬 総 汰 郎 (真道館)	北 條 祐 貴 (安 岐)
		6年生	嵐 田 勝 斗 (USA)	安 部 祥 央 (安 岐)	阿 部 滉 平 (雄心館)	綾 部 真 太 郎 (中 津)
H19	第三回	団体戦	U S A s. j. c B	U S A s. j. c A	雄心館道場A	中津少年柔道クラブA
		4年生	佐 藤 誠 (秀鋭館)	北 條 和 弥 (安 岐)	津 行 勇 太 (清録館)	榎 本 寛 大 (中 津)
		5年生	阿 部 将 一 郎 (雄心館)	竹 根 佳 風 (中 津)	吉 良 儀 城 (白 杵)	平 崎 省 吾 (日 田)
		6年生	但 馬 総 汰 郎 (真道館)	阿 部 敬 介 (雄心館)	安 枝 香 奈 (USA)	辻 悠 太 郎 (中 津)
H20	第四回	団体戦	U S A s. j. c A	雄心館道場A	大豊学舎A	中津少年柔道クラブA
		4年生	赤 嶺 泰 一 (大 豊)	染 矢 稜 太 (大分南)	上 田 泰 成 (九 重)	高 橋 泰 之 郎 (挾 間)
		5年生	長 野 修 (大 豊)	阿 部 ゆ り か (雄心館)	羽 迫 京 平 (高 田)	廣 津 聖 直 (中 津)
		6年生	阿 部 哲 也 (雄心館)	平 崎 省 吾 (日 田)	安 藤 慎 平 (秀鋭館)	吉 良 儀 城 (白 杵)
H21	第五回	団体戦	U S A s. j. c A	U S A s. j. c B	安岐少年少女柔道クラブ	雄心館道場A
		4年生	中 島 大 貴 (雄心館)	嵐 田 恵 介 (USA)	奥 田 力 哉 (高 田)	羽 田 野 竜 輝 (豊後大野)
		5年生	工 藤 祐 輝 (挾 間)	高 橋 泰 之 郎 (挾 間)	清 永 大 輝 (USA)	松 永 泰 知 (日 田)
		6年生	佐 藤 誠 (秀鋭館)	辻 田 愛 佳 (USA)	阿 部 ゆ り か (雄心館)	長 野 修 (大 豊)
H22	第六回	団体戦	U S A s. j. c A	豊後大野少年柔道教室A	錬徳館道場A	高田少年柔道クラブ
		4年生	土 谷 颯 太 (USA)	吉 田 伊 吹 (杵 築)	近 藤 直 斗 (高 田)	竹 尾 美 咲 (安 東)
		5年生	嵐 田 恵 介 (USA)	中 島 大 貴 (雄心館)	羽 田 野 竜 輝 (豊後大野)	内 田 悠 真 (雄心館)
		6年生	高 橋 泰 之 郎 (挾 間)	工 藤 祐 輝 (挾 間)	佐 藤 誠 (高 田)	大 石 哲 平 (高 田)
H23	第七回	団体戦	U S A s. j. c	自勝館A	杵築市柔道連盟少年少女部A	中津少年柔道クラブB
		4年生	林 将 太 郎 (自勝館)	佐 藤 正 崇 (豊後大野)	名 郷 未 祐 (錬徳館)	池 田 彰 汰 (USA)
		5年生	土 谷 颯 太 (USA)	吉 田 伊 吹 (杵 築)	上 原 翔 希 (高 田)	水 間 夢 翔 (自勝館)
		6年生	嵐 田 恵 介 (USA)	中 島 大 貴 (雄心館)	村 上 一 騎 (USA)	神 鳥 聖 也 (杵 築)
H24	第八回	団体戦	自勝館A	秀鋭館道場A	錬徳館道場A	臼杵市柔道連盟少年部A
		4年生	永 竿 慶 弥 (USA)	後 藤 勇 楨 (安心院)	長 澤 樹 (弥 生)	野 下 創 来 (庚辰館)
		5年生	林 将 太 郎 (自勝館)	村 上 さ く ら (USA)	瀧 石 靖 弘 (雄心館)	佐 藤 将 幹 (自勝館)
		6年生	吉 田 伊 吹 (杵 築)	山 中 瞭 (秀鋭館)	上 木 陸 (豊後大野)	阿 部 泰 征 (雄心館)
H25	第九回	団体戦	安心院柔道クラブA	U S A s. j. c A	自勝館A	秀鋭館道場A
		4年生	小 仲 周 太 郎 (安 岐)	後 藤 駿 誠 (翔 南)	矢 野 海 里 (USA)	高 木 美 月 (自勝館)
		5年生	永 竿 慶 弥 (USA)	野地川 友里 (海 部)	長 澤 樹 (弥 生)	猪 俣 雄 風 (国 東)
		6年生	林 将 太 郎 (自勝館)	佐 藤 正 崇 (豊後大野)	村 上 さ く ら (USA)	井 上 裕 太 (庚辰館)
H26	第十回	団体戦	安心院柔道クラブA	U S A 小倉塾A	自勝館A	秀鋭館道場A
		4年生	佐 藤 晴 輝 (安心院)	嵐 俊 諒 (庚辰館)	富 沢 晴 紀 (雄心館)	西 澤 愉 貴 (青洞館)
		5年生	村 田 大 起 (秀鋭館)	小 仲 周 太 郎 (安 岐)	矢 野 海 里 (小倉塾)	大 戸 翔 悟 (白 杵)
		6年生	猪 俣 雄 風 (国 東)	姫 野 秀 太 (海 部)	永 竿 慶 弥 (小倉塾)	長 澤 樹 (弥 生)
H27	第十一回	団体戦	安心院柔道クラブA	U S A 小倉塾A	自勝館A	秀鋭館道場A
		4年生	藤 原 菱 (小倉塾)	山 中 廉 (秀鋭館)	後 藤 み す ず (安心院)	高 木 葉 月 (自勝館)
		5年生	佐 藤 晴 輝 (安心院)	中 西 洋 貴 (小倉塾)	富 沢 晴 紀 (雄心館)	長 澤 響 (弥 生)
		6年生	小 川 輝 (小倉塾)	矢 野 海 里 (小倉塾)	村 田 大 起 (秀鋭館)	佐 藤 和 明 (秀鋭館)
H28	第十二回	団体戦	安心院柔道クラブA	自勝館A	弥生柔道クラブA	尚武館田崎道場A
		1年生	角 沙 織 (小倉塾)	水 本 美 海 (自勝館)	植 山 栄 志 (小倉塾)	竹 下 良 治 (ゆふいん)
		2年生	衛 藤 健 作 (森道場)	高 木 大 夢 (自勝館)	大 戸 峻 瓦 (自勝館)	阿 部 桜 大 (安心院)
		3年生	坪 井 馨 (安心院)	崎 野 泰 (森道場)	後 藤 光 汰 (安心院)	重 石 佳 太 (清録館)
		4年生	吉 田 太 陽 (森道場)	吉 村 悠 之 介 (安心院)	河 野 空 (白 杵)	澤 永 一 豊 (小倉塾)
		5年生	高 木 葉 月 (自勝館)	伊 藤 瑳 紅 (高 田)	大 石 華 姫 (安心院)	山 中 廉 (秀鋭館)
		6年生	佐 藤 晴 輝 (安心院)	長 澤 響 (弥 生)	大 石 晋 太 郎 (安心院)	西 澤 愉 貴 (小倉塾)

公益社団法人 大分県柔道整復師会 定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、公益社団法人大分県柔道整復師会（以下「本会」という）と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を大分県大分市に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、日本の伝統医療である柔道整復学及び柔道整復術の進歩 発達と柔道整復師の資質の向上を図るとともに、保健・医療・介護に関する諸制度の円滑な運営と健全な発展に寄与することにより、県民福祉の増進に貢献することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の公益目的事業を行う。

- (1) 柔道整復師の医療保険受領委任制度の推進に関する事業
 - (2) 柔道整復師の資質の向上並びに柔道整復学及び柔道整復術の向上
発展人材育成に関する事業
 - (3) 柔道整復術の医学的研究に関する事業
 - (4) 県民の心身の健全な発展に関する事業
 - (5) 高齢者の福祉サービスの充実にに関する事業
 - (6) 介護保険法に基づく、居宅介護支援事業及び地域支援事業に関する事業
 - (7) 柔道整復術を活かした災害時等における救護活動に関する事業
 - (8) 柔道整復師並びに柔道整復学及び柔道整復術の普及啓発に関する事業
 - (9) 前各号の事業に附帯する事業
2. 本会は、前項の事業の公益目的事業の推進に資するため、次の収益事業等を行う。
- (1) 本会の所有する会館の運営に関する事業
 - (2) 居宅介護支援事業及び介護予防事業
 - (3) 会員の福祉増進並びに相互扶助に関する事業
 - (4) 前各号の事業に附帯する事業
3. その他本会の目的を達成するために必要な事業を行う。
4. 前3項の事業については、大分県において行うものとする。

第3章 会 員

(会員「法人の構成員」)

第5条 本会に次の会員を置く。

- (1) 正 会 員 大分県内において住所地又は勤務地を有し柔道整復師の資格を有するものであって、本会の目的に賛同して入会した者
 - (2) 準 会 員 柔道整復師の免許を有し本会の趣旨に賛同し入会した者
 - (3) 名誉会員 本会に対して功績があった者で、理事会の承認を受けた者
2. 前項の会員のうち、正会員をもつて一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号以下「法人法」という）上の社員とする。

(入 会)

第6条 本会に正会員又は準会員として入会しようとする者（以下「入会申込者」という）は、理事会が別に定める入会申込書に必要書類を添えて本会に提出するものとする。

2. 入会は、総会において定める入会及び退会規定に定める基準により、理事会においてその可否を決定し、これを入会申込者に通知するものとする。

(経費の負担)

第7条 正会員は、本会の活動に必要な経費に充てるため、総会において定める会費規定に基づき入会金及

び会費を支払わなければならない。

2. 準会員及び名誉会員は、本会の活動に必要な経費に充てるため、総会において定める会費規定に基づき会費を納入しなければならない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(懲戒)

第9条 会員が次の各号の一に該当したときは、第4項に定める理事会又は理事会及び総会の決議を経て、その会員を懲戒することができる。

- (1) 本会の定款又は規則その他の規定に違反したとき
- (2) 法令に違反して、刑罰に処せられ、又は行政処分を受けたとき
- (3) 本会の入会金及び会費を滞納し、かつ、催告を受けてなお納付しないとき
- (4) 本会又は本会の会員としての信用と名誉を傷つける行為をしたとき
- (5) その他の正当な事由があるとき

2. 懲戒は、次の各号に定める方法のうち、何れかの方法により行う。

- (1) 戒告
- (2) 各種医療保険の取扱いに関する権利の停止
- (3) 除名（前項第3号に該当する場合を除く）

3. 懲戒は、その事由に該当すると認められた会員に対し、決議の前に、理事会において、十分な弁明の機会を与えなければならない。また、前項第3号に定める方法（除名）による場合は、当該会員に対し、総会の1週間前までに、当該総会において除名を審議すること、かつ、その決議の前に弁明する機会を与えることを通知しなければならない。

4. 懲戒は、第2項第1号又は第2号に定める方法（戒告又は会員に与えられた権利の停止）による場合は理事会の決議により、また、第3号に定める方法（除名）による場合は、理事会の決議を経たうえ、総会において総正会員の半数以上であって、かつ総正会員の議決権の3分の2以上の多数決により、これを決する。

5. 入会金及び会費の滞納者に対しては、催告を行い、催告後1か月を過ぎても納入がないときは、第2項第2号に定める方法（各種医療保険の取扱いに関する権利の停止）による懲戒を行う。また次項に定める当該懲戒の通知後、1か月を過ぎてもなお未納の場合は、会員資格を喪失するものとする。

6. 第4項により懲戒が決議されたとき、又は前項により会員資格を喪失したときは、会長は、当該会員に対し書面によりその内容及び理由を通知する。

7. 本条に定めるもののほか、懲戒に関し必要な事項は、理事会の決議を経て、規則をもってこれを定めることができる。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 当該会員が死亡したとき
- (2) 柔道整復師の免許を失ったとき
- (3) すべての正会員が同意したとき

(既納の会費等の不返還)

第11条 既に納入した入会金、会費等は返還しない。

第4章 総会

(構成)

第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

2. 前項の総会をもって法人法上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認

- (5) 定款の変更
- (6) 解散、公益目的取得財産残額の贈与及び残余財産の処分
- (7) 前各号に定めるもののほか、法人法に規定する事項及びこの定款に定める事項

(種類及び開催)

第14条 総会は、定時総会及び臨時総会とする。

- 2. 定時総会は、毎年度1回、事業年度終了後3か月以内に開催する。
- 3. 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
 - (1) 理事会において開催の決議がなされたとき
 - (2) 議決権の5分の1以上を有する正会員から、会議の目的である事項及び招集の理由を記載した書面により、招集の請求が理事にあったとき

(招 集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。ただし、会長に事故あるときは、あらかじめ理事会において定めた理事が招集する。

- 2. 総会を招集するには、正会員に対し、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の1週間前までに通知を発しなければならない。

(議長及び副議長)

第16条 総会の議長及び副議長は、当該総会において会長が指名する。

- 2. 議長は、当該総会の公正かつ円滑な運営を確保するため、秩序維持及び議事整理を行い、副議長はこれを補佐する。
- 3. 議長は、その命令に従わない者その他当該総会の秩序を乱す者を退場させることができる。

(議決権)

第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(代理人による議決権の行使)

第18条 総会に出席することができない正会員は他の正会員を代理人として議決権を行使することができる。この場合において、次条の規定の適用については、出席とみなす。

(決 議)

第19条 総会の決議は、法令及びこの定款に別段の定めがある場合を除き、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2. 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
 - (1) 会員の除名
 - (2) 監事の解任
 - (3) 定款の変更
 - (4) 解散
 - (5) その他法令で定められた事項
- 3. 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。
 - (2) 理事会は選任規則に基づき事前に総会又は臨時総会において候補者選考方法を提案することができる

(議事録)

第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2. 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

(総会運営規則)

第21条 総会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、総会において定める総会運営規則による。

第5章 役 員

(役員の設置)

第22条 本会には次の役員を置く

- (1) 理事 7名以上11名以内
- (2) 監事 2名以内
- 2. 理事のうち、1名を会長、1名を副会長とする。
- 3. 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、理事をもって法人法第91条に定める業務執行理事とする。

(役員の選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2. 会長は、理事会において選定する。この場合において、理事会は総会の決議により会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。
3. 理事会は、その決議によって、理事のうちから副会長を選定する。
4. 監事は、本会の理事又は使用人を兼ねることができない。
5. 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は三親等内の親族その他法令で定める特別の関係にある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。
6. 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして法令で定める者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。
7. 理事又は監事に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記事項証明書等を添え、遅滞なくその旨を行政庁に届け出なければならない。

(理事の職務及び権限)

第24条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款の定めるところにより、業務を執行する。

2. 会長は、本会を代表し、その業務を執行する。
3. 副会長は、会長を補佐し、本会の業務を執行する。
4. 理事は、会長及び副会長を補佐し、本会の業務を執行する。
5. 会長、副会長、理事は、理事会において別に定めるところにより、本会の業務を分担執行する。

(監事の職務及び権限)

第25条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行の状況を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること
- (2) 本会の業務及び財産の状況を精査し、並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を監査すること
- (3) 理事会に出席し、必要あると認めるときは意見を述べること
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを理事会に報告すること
- (5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること
- (6) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告すること
- (7) 理事がこの法人の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれがある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生じるおそれがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること
- (8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること

(役員の任期)

第26条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。ただし、補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の残任期間とし、増員により選任された理事の任期は現任者の残任期間とする。

2. 理事又は監事は、第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお、理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第27条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員の報酬等)

第28条 理事及び監事に対して、総会において定める理事及び監事の報酬等の支給の基準に従い報酬及び費用を支払う。

2. 理事会の決議により役員の報酬等の基準を暫定的に減額適用することができる。

(顧問・相談役)

第29条 本会に、任意の機関として顧問・相談役を若干置くことができる。

2. 顧問・相談役・は学識経験者、又は特に本会の発展に寄与した会員（現職役員を除く）のうちから理事会の決議を経て会長が委嘱する。
3. 顧問・相談役は、会長の諮問に応じ、本会の各種会議に出席して意見を述べることができる。ただし、総会における会員としての表決を除き、表決に加わることはできない。
4. 顧問・相談役の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。
5. 顧問・相談役は、会長が特に必要と認めたときは常任とすることができる。
6. 顧問・相談役に対しては、理事及び監事の報酬等の支給の基準に準じ、理事会が別に定める報酬及び費用を支払うものとする。

第6章 理事会

（構成）

- 第30条 本会に理事会を置く。
2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

（権限）

- 第31条 理事会はこの定款に別に定めるもののほか、次の職務を行う。
- (1) 総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定
 - (2) 規則の制定、変更及び廃止
 - (3) 前各号に定めるもののほか本会の業務執行の決定
 - (4) 理事の職務の執行の監督
 - (5) 会長、副会長、の選定及び解職
2. 理事会は次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を、理事に委任することができない。
- (1) 重要な財産の処分及び譲受け
 - (2) 多額の借財
 - (3) 重要な使用人の選任及び解任
 - (4) 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
 - (5) 内部管理体制（理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他本会の業務の適正を確保するために必要な法令で定める体制をいう）の整備

（招集）

- 第32条 理事会は、会長が招集する
2. 理事会を招集するときは、会議の日時、場所及び目的を記載した文書もしくは電磁的方法により、開催日の7日前までに通知しなければならない。
 3. 前項の規定にかかわらず、理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく開催することができる。
 4. 会長が欠けたとき、又は事故あるときは、あらかじめ理事会において定めた順序による理事が招集する。

（議長）

- 第33条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

（決議）

- 第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

（決議の省略）

- 第35条 理事が理事会の決議の目的である事項を提案した場合において、当該提案につき、議決に加わることができる理事全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

（議事録）

- 第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
2. 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

（理事会運営規則）

- 第37条 理事会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか理事会において定める理事会運営規則による。
2. 理事会は会務遂行上必要に応じて会議を行うことができる。

第7章 事務局

(事務局)

- 第38条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。
- 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
 - 事務局長及び事務局次長は、理事会の決議により任免する。
 - 前項以外の職員は会長が任免する。
 - 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が別に定める。

第8章 資産及び会計

(資産の構成)

- 第39条 本会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。
- | | |
|------------------|-------------|
| (1) 財産目録に記載された財産 | (2) 入会金及び会費 |
| (3) 寄付金品及び助成金 | (4) 事業に伴う収入 |
| (5) 資産から生じる収入 | (6) その他の収入 |

(財産の管理及び運用)

- 第40条 本会の財産の管理及び運用は、会長が行うものとし、その方法は、理事会の決議により別に定める、財産管理運用規定によるものとする。

(事業年度)

- 第41条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第42条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、理事会の決議を経て、直近の総会に報告するものとする。これを変更する場合も、同様とする。
- 前項の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。

(事業報告及び決算)

- 第43条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| (1) 事業報告 | (2) 事業報告の附属明細書 |
| (3) 貸借対照表 | (4) 損益計算書（正味財産増減計算書） |
| (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書 | |
| (6) 財産目録 | |
- 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 第1項の書類については、毎事業年度の終了後3か月以内に行政庁に提出しなければならない。
 - 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告	(2) 理事及び監事の名簿
(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類	
(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類	
 - 本会は、第2項の定時総会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、貸借対照表を公告するものとする。

(会計規定)

- 第44条 本会の会計に関し必要な規定は、理事会の決議を経て別に定める。

(公益目的取得財産残額の算定)

- 第45条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、第43条第4項4号の書類に記載するものとする。

第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第46条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(合併等)

第47条 本会は、総会の決議その他法令に定めるところにより、他の法人法上の法人との合併又は事業の全部の譲渡を行うことができる。

(解 散)

第48条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により、解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第49条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1か月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公益団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第50条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第10章 公告の方法

(公告の方法)

第51条 本会の公告は主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第11章 補 則

(委 任)

第52条 この定款に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は、理事会の決議を経て会長が別に定める。

附 則

1. この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
2. 本会の運営に必要な規則、規定、細則は変更の決議がなされるまでは特例民法法人で用いた規則、規定、細則を準用する。
3. 本会の最初の会長、副会長、理事、監事、はそれぞれ次の通りとする。
会 長 加藤 和信
副会長 河野 靖久
理 事 鎌田 実信
理 事 福田 祐司
理 事 江崎 博明
理 事 安東 鉄男
理 事 野田 光広
理 事 首藤 彰典
理 事 土谷 恵一
監 事 宇都宮 育郎・塩井 卓廣
4. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第41条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

広報部10年のあゆみ

広報部長 野 田 光 広



本会が創立 70 周年・社団法人設立 40 周年を迎えられますことは、これまでの本会発展のために、長年の多くの業界関係諸先輩各位の、ご苦勞・ご尽力に感謝お礼申し上げます。

広報部は、本会行事の膨大な資料を記録、保存し、公益社団法人としての活動を皆様にお知らせするため、広報誌、HP を作成、更新しております。ここ 10 年の IT 化にアナログ世代は着いていくのがやっとであります、乗り遅れないようにしたいです。

患者さんはもとより県民の皆様、柔道整復師とは、整骨院・接骨院の仕事とはなにかを、より認識していただき、その架け橋となる手段として広報誌を 2010 年（平成 22 年）創刊しました。年 1 度のペースで発刊し今年で 8 号となりました。顧みますと創刊号を作成した時が一番大変でした。まずもって白紙の状態から始まりましたので、他県の広報誌など参考にし、役員会で相談しながら、写真を多めにまず目にとめていただいて、読んでいただけるような広報誌というポリシーのもと始めました。広報誌の名前も、ただ『柔整大分』では面白くないと、いろいろあった案より、夢のある業界、会になるようにと願い、『整骨“夢”おおいた』と名付けました。内容や構成も手探り状態でしたが徐々にかたちになり、まだまだですが、創刊号と 8 号を見比べると内容も年々少しずつ進歩、発展してきたように感じます。

今では、広報誌と会 HP は二人三脚で歩んでおり、広報誌は 1 年分の行事記録と論文などを紙媒体として発行し、会 HP は最新情報や会員検索及び行事、報告事項などの情報を随時更新し、業界ニュースとしてリアルタイムで、インターネット上で見られるようにしております。また過去の膨大な情報量の広報誌を、創刊号より最新号まで会 HP の広報誌ページの PDF で閲覧できます。

我々は公益社団法人として活動、存在意義などを広報することにより、県民の皆様により業界をご理解していただき、公益性の高い社会貢献をさせていただきながら、一步一步誠実なあゆみを積み重ねることをお約束申し上げます。



IT 委員会



本会 HP 画面

整骨“夢”おおいたバックナンバー

(会HPより閲覧できます)

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association JudoTherapy

整骨“夢”おおいた

社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 創刊号
MAR 2010



柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association

整骨“夢”おおいた

社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 第2号
MAR 2011



柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかすることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association

整骨“夢”おおいた

社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 第3号
MAR 2012



柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかすることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association

整骨“夢”おおいた

社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 第4号
MAR 2013



柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかすることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association

整骨“夢”おおいた

公益社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 第5号
APR 2014



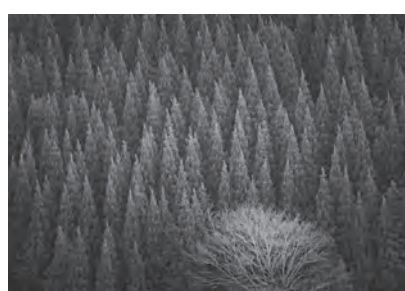
柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかすることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association

整骨“夢”おおいた

公益社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 第6号
http://www.seikotsu-oita.jp/ APR 2015



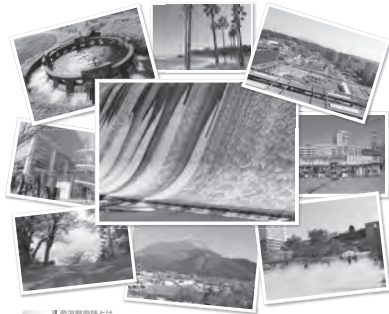
柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかすることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association

整骨“夢”おおいた

公益社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 第7号
http://www.seikotsu-oita.jp/ APR 2016



柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかすることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

WHO (World Health Organization) OITA Judo Therapist Association

整骨“夢”おおいた

公益社団法人 大分県柔道整復師会広報誌 第8号
http://www.seikotsu-oita.jp/ APR 2017



柔道整復師とは

【柔道整復師】とは、ほなつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（打、擦、打撲）、骨折、脱臼などの治療をする専門職の正式名称です。
柔道整復師は、大学卒業の資格がある者が3年以上、国が認定した学校・大学で専門知識を修得し、解部考、卒業論文と1科目の国家試験をパスして取得できる資格です。
柔道整復師が治療する接骨院や整骨院は公的に認められた機関であり、保険診療機関と同じように保険証でかかすることができます。また県立高等での治療やスポーツトレーナーとして、活躍の場を広げています。介護保険制度の中でも、ケアマネジャーや福祉介護指導員として福祉分野に貢献しています。

創立65周年
社団法人設立35周年
公益社団法人移行

記念誌



公益社団法人 大分県柔道整復師会

会員紹介

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(入会順・() 内は市町村名)



西 邑 伊三郎
(日田)



住 吉 壽 人
(杵築)



住 吉 幸 助
(中津)



清 田 洋 一
(別府)



今 村 昭 紀
(臼杵)



杉 田 洋 一
(由布)



手 寫 重 徳
(日田)



佐 藤 えいき
(大分)



重 石 一 昭
(大分)



宇都宮 育 郎
(竹田)



田 邊 順
(杵築)



土 谷 恵 一
(別府)



小 林 三 二
(大分)



藤 川 勝 雄
(別府)



吉 成 章
(宇佐)



加 藤 和 信
(国東)



奥 田 輝 重
(中津)



福 田 祐 司
(別府)



河 野 靖 久
(玖珠)



鎌 田 実 信
(佐伯)



武 原 誠
(別府)



渡 辺 了 祐
(別府)



狹 間 智 一
(大分)



杉 田 壽
(別府)



津 崎 周 治
(大分)



塩井卓広
(大分)



藤川敏行
(日出)



清水薫
(別府)



後藤進
(別府)



安部俊男
(大分)



奥田哲也
(津久見)



山内一
(別府)



堅田兼實
(津久見)



飯田尊
(大分)



萱嶋哲
(大分)



安東鉄男
(臼杵)



菅治三男
(佐伯)



藤田孝次
(中津)



江藤正男
(杵築)



安東常富
(豊後高田)



千房克彦
(竹田)



河野実
(日出)



園田智恵子
(別府)



帯刀啓貴
(別府)



首藤文教
(大分)



野田光広
(由布)



渡辺一夫
(別府)



安部幸一路
(大分)



国広幸治
(大分)



友松義治
(中津)



森 山 文 洋
(日田)



江 崎 博 明
(中津)



安 東 茂 富
(宇佐)



首 藤 彰 典
(大分)



中 村 廣 行
(大分)



西 原 清
(宇佐)



林 宗一郎
(別府)



南 徳 泰
(宇佐)



安 松 宏 幸
(国東)



武 原 修 造
(別府)



中 村 清 造
(大分)



長 野 哲 也
(大分)



古 長 三恵一
(大分)



佐々木 昭 仁
(大分)



前 川 羊 介
(別府)



興 田 尚 玄
(由布)



野 田 克 之
(大分)



永 岡 昭 善
(宇佐)



坂 本 光 治
(中津)



森 政 彦
(杵築)



藤 本 正 高
(佐伯)



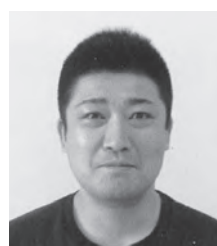
川 野 貴 義
(別府)



阿 部 幸 広
(由布)



恒 松 史
(別府)



酒 井 裕 治
(豊後高田)



入 江 政 樹
(竹田)



竹 野 智 晴
(別府)



長 岡 直 希
(宇佐)



永 竿 茂 男
(宇佐)



江 藤 公 博
(日出)



重 石 雄 大
(大分)



大 谷 直 人
(日田)



末 広 佳 代
(別府)



木 谷 充 良
(大分)



西 邑 幸 一 郎
(日田)



川 端 高 智
(大分)



西 邑 慎 司
(日田)



田 崎 尚 武
(大分)



嶋 澤 康
(中津)



永 岡 公 司
(大分)



尾 林 大 生
(別府)



古 田 慶 子
(大分)



工 藤 誉 司
(別府)



高 倉 正 作
(大分)



高 橋 祥 三
(日田)



阿 部 淑 子
(大分)



金 堂 大 一
(別府)



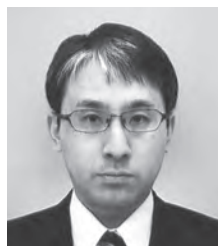
玉 木 良 一
(中津)



矢 野 祐 司
(大分)



迫 野 哲 也
(国東)



佐藤隆一
(宇佐)



法華津泰之
(大分)



安部良太郎
(大分)



衛藤真木
(由布)



堀太輔
(大分)



長田和博
(大分)



川野欣也
(別府)



薬師寺政充
(中津)



鎌田信之介
(津久見)



衛藤淳基
(大分)



甲斐陽一
(大分)



三浦真也
(佐伯)



安東拓哉
(別府)



杉田一紀
(由布)



山本倫之
(別府)



加藤豪
(日出)



仲泰三
(別府)



壹岐健弘
(中津)



安東亮
(大分)



合澤哲
(豊後大野)



近藤史章
(佐伯)



梅崎孝次
(大分)



妹尾尚子
(佐伯)



新山善信
(大分)



山下活秀
(臼杵)



亀井隆志
(中津)



雨川直樹
(由布)



岡崎美敏
(国東)



針宮克顕
(大分)



森澤賢仁
(大分)



平田康博
(大分)



岩木淳二
(日田)



井本佳太
(宇佐)



笠木和久
(佐伯)



福田康道
(別府)



溝部晋太郎
(日出)



中垣守弘
(日田)



水沼倫弘
(佐伯)



清水尋之
(大分)



池永武広
(日田)



杉田一壽
(大分)



五十川繁隆
(佐伯)



渡邊翔平
(大分)



上本裕紀
(大分)



森一馬
(豊後大野)



河野貴彦
(日出)



松本忠
(大分)



里見直樹
(豊後高田)



漆間大士
(大分)



高橋伊代
(別府)



久下 珠 美
(大分)



甲 斐 愛 子
(臼杵)



河 合 竜之介
(中津)



石 井 健二郎
(大分)



亀 安 千 夏
(中津)



星 野 誠 二
(大分)



近 藤 秀 一
(中津)



岩 尾 善 春
(別府)



鶴 原 由 隆
(大分)



後 藤 佑 輔
(大分)



清 田 達 也
(日田)



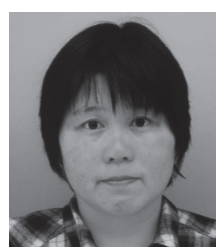
内 田 誠
(大分)



川 村 絵 梨
(大分)



平 井 龍 太
(大分)



坂 本 留 美
(大分)



廣 瀬 将
(大分)



花 田 陽 一
(別府)



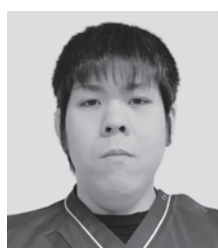
青 木 裕次郎
(大分)



西 村 敏 男
(別府)



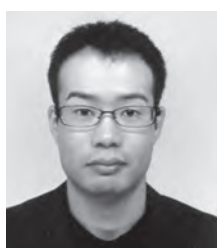
安 藤 正 純
(臼杵)



堀 皓 瑛
(大分)



森 周 平
(玖珠)



藤 川 利 仁
(日田)



藤 原 章 洋
(臼杵)



國 見 勇 希
(佐伯)

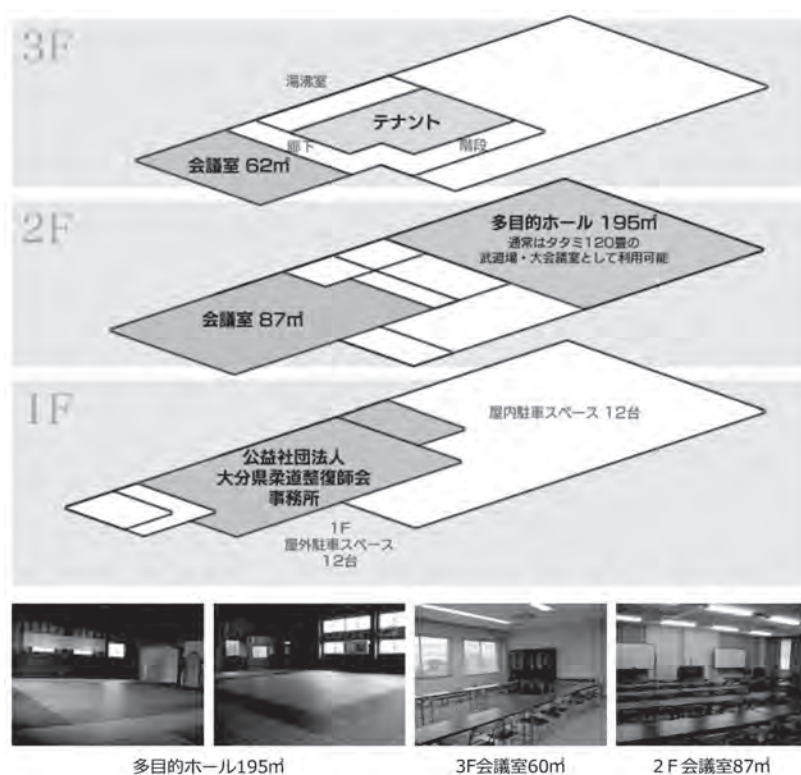


大 津 圭 輔
(大分)



中 尾 映 子
(大分)

会館案内



本会事務局

左より 事務員：佐々木 理 恵
パート：村 上 由 美
事務長：稲 葉 富士子
パート：広 瀬 敏 子

大分県柔道整復師会 会員施術所 (172箇所)

※平成29年5月31日現在

中津市 (14)

整骨・接骨院名	電話番号
あおば整骨院	0979-64-6074
いき整骨院	0979-53-9517
江崎整骨院	0979-24-6978
えびす堂整骨院	0979-64-6062
奥田整骨院	0979-22-1937
坂本整骨院	0979-23-9708
しまざわ整骨院	0979-26-0137
住吉鍼灸整骨院	0979-52-3558
整骨院たいよう	0979-64-7880
せんだい整骨院	0979-23-8256
たまき整骨院	0979-24-0720
東洋療法整骨院	0979-24-3291
友松整骨院	0979-24-1697
なかつ整骨院	0979-53-9242

宇佐市 (9)

整骨・接骨院名	電話番号
安東整骨院	0978-33-3770
いもと鍼灸整骨院	0978-32-5581
宇佐整骨院	0978-33-1961
さとう整骨院	0978-37-2872
永岡整骨院	0978-33-2210
ながさお整骨院	0978-44-1337
名倉堂長岡整骨院	0978-38-5866
南整骨院	0978-38-0446
吉成整骨院	0978-33-3301

日田市 (11)

整骨・接骨院名	電話番号
いけなが整骨院	0973-28-5716
いわき整骨院	0973-28-6900
大谷整骨院	0973-25-5711
きよた整骨院	0973-24-7232
たかはし整骨院	0973-22-9898
中央整骨院	0973-22-2013
手嶌整骨院	0973-24-0439
中垣整骨院	0973-22-2533
西邑整骨院	0973-22-4345
日田やどり木整骨院	0973-30-6465
森山整骨院	0973-22-1151

玖珠町 (2)

整骨・接骨院名	電話番号
河野整骨院	0973-72-0309
くす整骨院	0973-77-2522

竹田市 (3)

整骨・接骨院名	電話番号
いりえ整骨院	0974-64-4300
宇都宮整骨院	0974-63-0217
千房整骨院	0974-62-2110

豊後大野市 (2)

整骨・接骨院名	電話番号
杉田整骨院	0974-22-6987
森 整骨院	0974-22-5123

大分市

整骨・接骨院名	電話番号	整骨・接骨院名	電話番号
てあてん はぎわら整骨院	097-503-1110	あおき整骨院	097-578-8424
天神ヴィラ整骨院	097-535-8303	あべ整骨院	097-545-6459
長野整骨院	097-546-3930	安部整骨院	097-538-0369
中村整骨院	097-567-5255	いまごころ整骨院	097-558-5885
中村整骨院	097-523-0230	飯田整骨院	097-543-5173
長浜みらい整骨院	097-538-3567	今井慶整骨院	097-532-0686
なごみ整骨院	097-574-5421	上野の森整骨院	097-544-6070
なのはな鍼灸整骨院	097-552-9699	うえもと整骨院	097-592-3933
なみつき鍼灸整骨院	097-578-7300	大分いきいき整骨院	097-500-7058
にじが丘整骨院	097-576-7073	大分上野整骨院	097-546-0101
野田接骨院	097-567-5680	大分ごとう整骨院	097-535-0600
狭間整骨院	097-592-1713	大分整骨院	097-535-0201
ひだまり整骨院	097-547-9728	おおざい整骨院	097-592-5050
ひびの整骨院	097-576-8107	おおみち整骨院	097-573-6446
ひらた整骨院	097-507-7787	十八番接骨院	097-511-0008
へつぎ整骨院	097-597-5722	かえて整骨院	097-592-5435
堀接骨院	097-575-2356	春日浦整骨院	097-533-2777
みんなの鍼灸整骨院	097-574-5942	かたしま整骨院	097-578-7121
むなかた整骨院	097-542-7055	あけの整骨院	097-558-2216
やの整骨院	097-545-9119	国広整骨院	097-541-4122
ゆふらぎ接骨院	097-537-2531	健笑堂接骨院	097-522-4922
よつば整骨院	097-529-7922	健笑堂はりきゅう整骨院	097-574-8252
若草整骨院	097-574-7755	小林整骨院	097-545-0328
わさだ甲斐整骨院	097-541-2119	坂本接骨院	097-544-3627
わさだ整骨院	097-586-1175	ささき整骨院	097-547-9877

由布市 (6)

整骨・接骨院名	電話番号	整骨・接骨院名	電話番号
阿部整骨院	097-582-0881	重石整骨院	097-551-0399
えとう鍼灸接骨院	097-583-5570	清水整骨院	097-547-8333
おきた整骨院	097-583-5430	首藤整骨院	097-544-2866
杉田整骨院	0977-84-2803	首藤整骨院	097-567-7112
調和整骨院 挟間	097-583-4970	鍼灸整骨院Yutaka	097-573-6661
野田整骨院	097-583-0515	杉田整骨院	097-552-7037
		田崎接骨院	097-549-6162
		調和整骨院 南大分	097-546-4970
		津崎整骨院	097-593-0769

豊後高田市 (3)

整骨・接骨院名	電話番号
安東整骨院	0978-22-3702
さかい整骨院	0978-24-3995
さとみ整骨院	0978-22-3523

杵築市 (4)

整骨・接骨院名	電話番号
江藤接骨院	0978-63-2051
住吉整骨院	0978-62-3164
田辺整骨院	0978-63-2377
森整骨院	0978-62-5341

日出町 (5)

整骨・接骨院名	電話番号
えとう整骨院	0977-72-3011
かとう整骨院	0977-75-9655
河野整骨院	0977-72-2319
藤川整骨院	0977-72-0539
みぞべ鍼灸整骨院	0977-72-6343

国東市 (4)

整骨・接骨院名	電話番号
岡崎鍼灸整骨院	0978-67-0933
加藤整骨院	0978-72-4298
さこの整骨院	0978-67-0019
やすまつ整骨院	0978-72-4266

別府市 (31)

整骨・接骨院名	電話番号
あんどう整骨院	0977-75-9777
衛藤整骨院	0977-67-2920
尾林整骨院	0977-27-3150
かがやき整骨院	0977-27-5112
清田整骨院	0977-25-6222
くどう接骨院	0977-24-3218
クローバー整骨院あさひ	0977-75-9671
クローバー整骨院かわの	0977-21-7799
後藤整骨院	0977-23-3686
こんどう整骨院	0977-24-9111
末広整骨院	0977-24-9430
杉田整骨院	0977-67-3663
接骨院大別府清水	0977-23-7107
竹野整骨院	0977-66-5161
武原整骨院	0977-66-5730
帯刀接骨院	0977-21-8951
たんぼぼ整骨院	0977-67-3040
土谷接骨院	0977-21-6452
つねまつ整骨院	0977-25-7675
仲町整骨院	0977-66-3933
西整骨院	0977-22-0743
浜脇整骨院	0977-22-7856
林整骨院	0977-25-2628
にしむらほりきゅう整骨院	0977-22-6347
はなだ整骨院	0977-23-5737
ふじや整骨院	0977-22-6506
裕大整骨院	0977-26-1275
山内整骨院	0977-25-5580
ゆう整骨院	0977-75-9600
渡辺整骨院	0977-67-4275
渡辺整骨院	0977-67-8538

臼杵市 (5)

整骨・接骨院名	電話番号
安東整骨院	0974-32-3282
今村鍼灸整骨院	0972-63-3350
活 整骨院	0972-83-5671
うすき八町整骨院	0972-62-5525
三愛鍼灸整骨院	0974-32-7353

津久見市 (3)

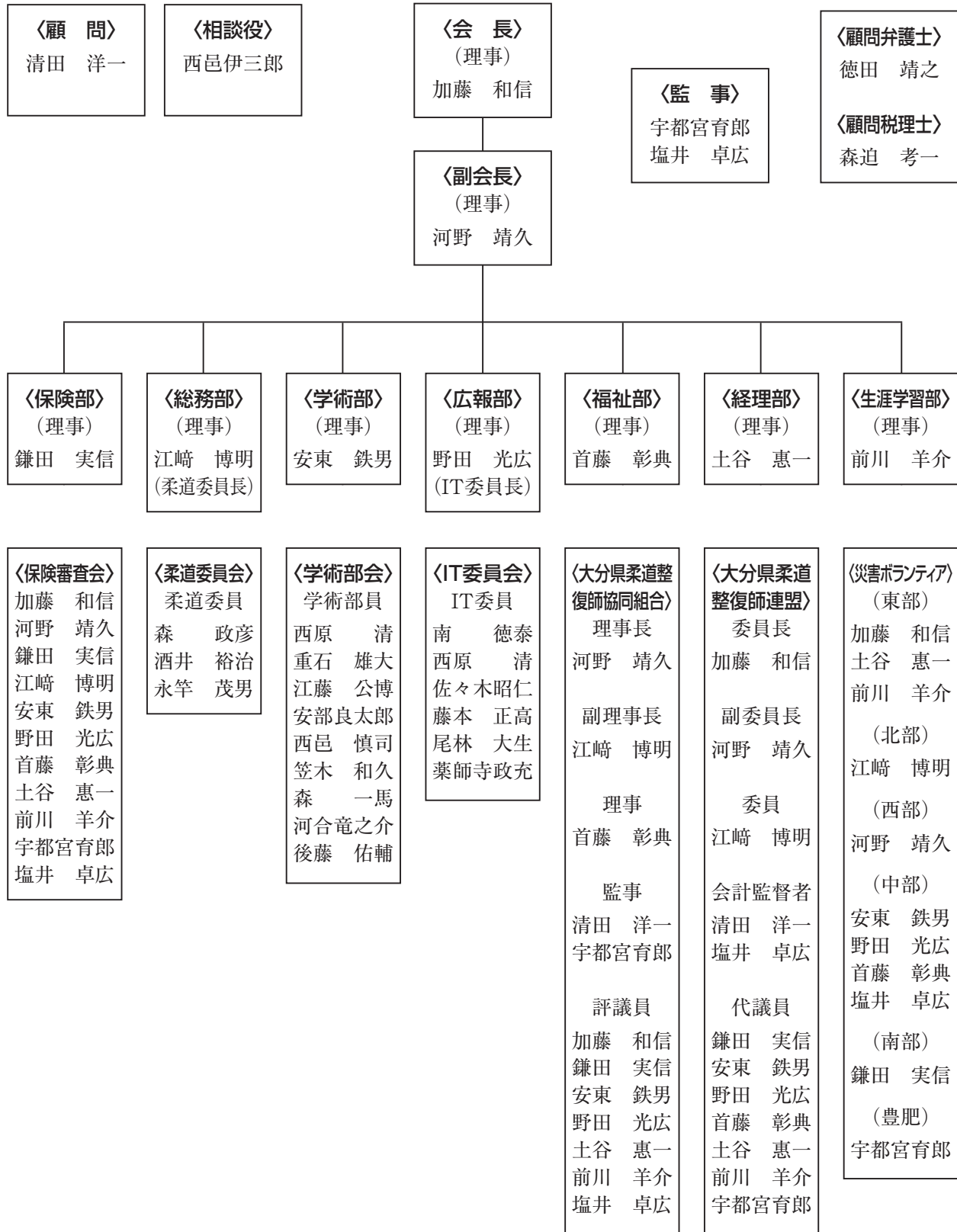
整骨・接骨院名	電話番号
おくだ整骨院	090-5084-5549
堅田整骨院	0972-82-8763
つくのみ倉整骨院	0972-83-5656

佐伯市 (10)

整骨・接骨院名	電話番号
いそがわ整骨院	0972-23-5177
鎌田整骨院	0972-22-0684
くにおみ整骨院	0972-22-5563
菅整骨院	0972-27-6384
さいき名倉整骨院	0972-24-1617
とがむれ整骨院	0972-24-0850
野田整骨院	0972-23-6834
藤本整骨院	0972-42-1275
水沼整骨院	0972-24-8011
やよい整骨院	0972-46-1753

公益社団法人 大分県柔道整復師会 組織構成図

(H29.3.31 現在)





編集会議



執行部

編集後記

創立70周年・社団設立40周年記念誌作成にあたり、役員会で過去4冊の周年記念誌を参考に社団法人設立した昭和21年からの記録を洗い出し、今後に繋がる記念誌にしようということとなりました。そこで今までの会員の栄誉、会務のあゆみ、学術発表記録、保険部の記録、柔道大会の記録、生涯学習の記録、会に寄贈された絵画、写真等をまとめて掲載しました。なかでも特筆すべきものはP74～P77に掲載しております安東鉄男・重石雄大会員による大分大学大学院医学系研究科の修士論文2題です。関係各位、特にインタープリンツ首藤さん・事務局には大変ご無理をおかけしましたが、よいものが出来ました。改めて一つひとつの行事を丁寧に記録、保存する重要性を思い知らされました。

わが業界がどのようにして戦後の混乱期を過ごし、高度成長の荒波に飲まれながら、皆で団結して来たこと。ここまで業界が認知され、保険取り扱いが出来るようになったことは既に鬼籍に入られた先輩の目に見えないご努力とご苦勞の賜物であり、それを我々が受け継いだことに過ぎないことも再認識させられました。

未来永劫、業界が存続するためには本会がひとつになり、柔道整復師として進歩発達、資質の向上を図り、公益社団法人として保健、医療、介護等の運営と発展に寄与する団体にならなければなりません。そして後世に本会のバトンを途切れることなく渡していかなければなりません。

本誌を発行するにあたり巻頭には、大分県知事広瀬勝貞様をはじめ衛藤征士郎様、岩屋毅様、穴見陽一様、衛藤晟一様、磯崎陽輔様、工藤鉄男会長よりご祝辞を賜り厚く御礼申し上げます。また記念講演を快諾していただいた馬見塚尚孝先生に於かれましても重ねてお礼申し上げます。

最後に記念誌執筆にご協力いただいた関係各位、会員の皆様に感謝申し上げます、ありがとうございました。

(広報部長 野田光広)

創立70周年 社団法人設立40周年 記念誌

発行日／平成29年9月

発行人／〒870-0921 大分県大分市萩原4丁目8番58号

公益社団法人大分県柔道整復師会

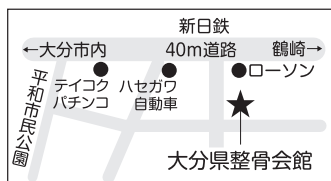
会長 加藤 和 信

TEL 097-503-3334 FAX 097-503-3338

<http://www.seikotsu-oita.jp/>

E-mail ju-sei@seikotsu-oita.jp

印刷所／株式会社インタープリンツ



整骨会館ギャラリー

(大分県整骨会館所蔵)



(43cm × 51cm)

「早春の由布岳」

福田 晃臣 作



(130cm × 95cm)

「麦畑」

河野 幸子 作
(河野喜重ご息女)